

Agribusiness Creation Fair 2015

アグリビジネス創出フェア

11.18(水)▶20(金) 東京ビッグサイト 東6ホール http://agribiz-fair.jp/



目次

主催者挨拶·····P.]
出展者一覧〈小間番号順〉·····P. 2
展示会案内図····· P. 3
コーディネーターによるマッチングについて・・・・・・・P.4
イベントスケジュール・・・・・・P.6
講演者等紹介 P. 9
出展者紹介P. 26
出展者一覧〈50音順〉·····P. 57

開催概要

名 称: アグリビジネス創出フェア2015 (Agribusiness Creation Fair 2015)

開催日時: 2015年11月18日(水)~20日(金) 10:00~17:00

(開会セレモニー 18日 9:45~10:00)

会場: 東京ビッグサイト 東6ホール

主 催:農林水産省

後 援: 内閣府/文部科学省/経済産業省/特許庁/(研)農業・食品産業技術総合研究機構/(研)農業生物資源研究所/(研)農業環境技術研究所/(研)国際農林水産業研究センター/(研)森林総合研究所/(研)水産総合研究センター/(独)家畜改良センター/(独)水産大学校/(研)科学技術振興機構/(独)高齢・障害・求職者雇用支援機構/(独)中小企業基盤整備機構/(独)種苗管理センター/(研)産業技術総合研究所/(独)日本貿易振興機構/(公社)農林水産・食品産業技術振興協会/(一社)日本経済団体連合会/(一財)食品産業センター/日本弁理士会/全国農学系学部長会議/日本農学会/特定非営利活動法人産学連携学会/全国農業新聞/日本農業新聞/日本食糧新聞社/日経バイオテク/フジサンケイビジネスアイ/日刊工業新聞社/(株)日本政策金融公庫※(研)は国立研究開発法人の略称

入場料:無料

開催主旨: アグリビジネス創出フェア2015は、全国の産学の機関が有する、農林水産・食品分野などの最新の研究成果を展示や

プレゼンテーションなどで分かりやすく紹介し、研究機関間や研究機関と事業者との連携を促す場として開催する「技

術・交流展示会」です。

開催内容: ①展示エリア

「生産」ゾーン ロボット、ICT、植物工場、新品種育成、ゲノム、栽培、畜産、ウィルス対策、水産等に関する技術シー

ズの展示

「食」ゾーン 食の機能性、流通、食品加工、品質保持、日本食の評価、国際展開等に関する技術シーズの展示

「環境」ゾーン 環境計測、環境創造、土壌診断、リサイクル、バイオマス利活用、低投入型生産、環境負荷軽減、

自然エネルギー、省エネルギー、高機能性素材等に関する技術シーズの展示

「地域」ゾーン 地域資源の活用、6次産業化、農山漁村の課題解決、地域の科学技術振興等に関する技術シーズ

の展示

「 人 」ゾーン 研究開発支援や技術移転等による研究者の支援、産学連携支援、人材育成等に関する展示

②基調講演・セミナー・シンポジウム・研究成果発表会・表彰式

③研究技術プレゼンテーション

④各種マッチングサポート

主催者挨拶

「アグリビジネス創出フェア2015」に御来場いただき、誠にありがとうございます。

本フェアは、産学の各機関が農林水産・食品分野に関する最新技術を持ち寄り、交流することを通じて、新たなビジネスの芽を創造するための技術交流・展示会で、今年で12回目の開催となります。

今回は、「知の集積と地方創生」をテーマとして掲げ、全国148機関に御出展いただき、 開催いたします。

さて、皆様御存知のとおり、TPP交渉が大筋合意に至ったところですが、重要5品目等を中心に関税撤廃の例外など、我が国農林水産物の重要品目に関し、交渉結果として最善のものを獲得出来たと考えており、関係の皆様への説明に全力を尽くして参ります。また、関係の皆様の御意見を伺いながら、農業の成長産業化に向けた支援策を作り上げ、農家の不安を払拭しつつ、我が国農林水産業・食品産業の競争力を強化し、強い産業としていくことが重要です。

農林水産省といたしましては、農林水産・食品分野でのイノベーションの推進とこれを通じた新産業・新事業の創出を強力に進めているところです。このようなイノベーションの推進には、「知の集積」、すなわち、農林水産・食品分野だけでなく、我が国の強みであるものづくり技術の活用、工学、医学などの様々な分野の方々の参画、関係者による連携が必要です。

また、「地方創生」の観点から、農林水産・食品分野のイノベーションを促進し、新たなアグリビジネスの創出、地域における新産業・新事業を創出することも大きな課題です。 そのためには、地域で展開される農林水産業・食品産業の多様な特性を踏まえ、地方創生の趣旨に沿って、農林漁業者、産業界、大学、公設研究機関、地方公共団体など、多様な関係者による主体的な連携が不可欠です。

このアグリビジネス創出フェアは、幅広い分野の研究者と農林漁業者、事業者の方々など、各分野の最前線で活躍されている皆様の交流会です。交流・連携を加速する契機として、本日のフェアを積極的に活用していただくことを期待いたします。

最後になりましたが、本日御来場の皆様及び御出展された皆様の交流の中で生まれた多数の組合せから多くのイノベーションが創出され、新産業・新事業が創出されることを祈念いたしまして、私からの挨拶とさせていただきます。



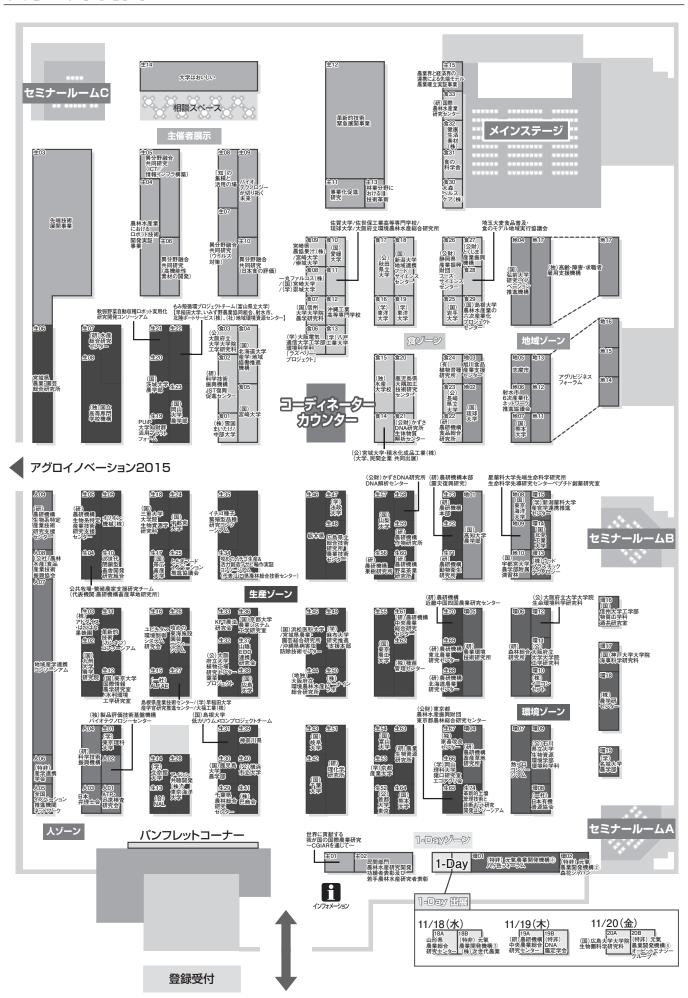
平成27年11月 農林水産大区 森山 裕

出展者一覧〈小間番号順〉

小間No.	出展者名	ページ
	生産ゾーン	
生01	(学)東京理科大学	P.26
£ 02	(国)九州大学農学研究院	P.26
生08	(株)アドダイス・はつはな果蜂園	P.26
# 04	公共牧場・繁殖農家支援研究チーム	P.27
	(代表機関:農研機構畜産草地研究所) (研)農研機構生物系特定産業技術研究支援センター	P 27
	宮城県農業・園芸総合研究所	P.27
	(研)水産総合研究センター	P.27
		P.27
_	(独)国立高等専門学校機構① (独)国立高等専門学校機構②	
		P.27 P.28
	(独)国立高等専門学校機構③	
	オリオン機械(株)	P.28
	次世代閉鎖型畜舎開発研究組合	P.28
	革新的技術(カンキツ)コンソーシアム	P.28
	(国)東京大学 国際情報農学研究室/水利環境工学研究室	
	(合)NAL	P.28
	(学)立命館大学	P.29
	(一社)ALFAE	P.29
生16		P.29
	(国)帯広畜産大学	P.29
	(国)三重大学大学院生物資源学研究科	P.29
	PUiP 大学知財群活用プラットフォーム	P.29
	(国)茨城大学農学部	P.30
#2 1	軟弱野菜自動収穫ロボット実用化研究開発コンソーシアム	P.30
<u>4</u> =22	もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、 北陸ポートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】	P.30
<u>#</u> 23	(国)岡山大学農学部	P.30
4 24	(国)宇都宮大学	P.30
4 25	とちぎフードイノベーション推進協議会	P.30
<u>#</u> 26	攻めの東海施設園芸コンソーシアム	P.31
£ 27	島根県産業技術センター/(学)早稲田大学 産学官研究推進センター/大福工業(株)	P.31
<u>#</u> 28	アイシン共聴開発(株)・(国)東京海洋大学	P.31
#29	千葉県農林総合研究センター	P.31
生30	(国)鹿児島大学 農学部	P.31
43 31	(国)島根大学 低カリウムメロンプロジェクトチーム	P.31
	(公)大阪府立大学植物工場研究センター 葉菜プロジェクト	P.32
4		P.32
4 234	攻めのイチゴ生産&活力創造ワサビ輪作実証 コンソーシアム(代表:山口県農林総合技術センター)	P.32
	イチゴ種子繁殖型品種研究コンソーシアム	P.32
	(国)京都大学 農業システム工学研究室	P.32
	山陰EOD連携研究会	P.32
	(国)広島大学	P.33
	神奈川県	P.33
	(公)横浜市立大学	P.33
	(株)巴商会	P.33
	(国) 杆葉大学	P.33
	(国)岐阜大学	P.33
\$345	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所 (国)浜松医科大学/宮城県農業·園芸総合研究所/	P.34 P.34
	沖縄県病害虫防除技術センター	
	栃木県	P.34
	(学)法政大学	P.34
	広島県立総合技術研究所農業技術センター	P.34 P.34
	(学)麻布大学 研究推進・支援本部 (株)ケーナインラボ	P.34 P.35
		P.35
	(研)理化学研究所	P.35 P.35
	(公)首都大学東京 (学)京都産業大学	
	(学)京都産業大学	P.35
	(国)富山大学	P.35
	(国)東京農工大学	P.35
	(研)農研機構 果樹研究所 (国)山梨大学	P.36 P.36
	(公財)かずさDNA研究所 DNA解析センター	
	ヘーハン クラー・スカー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カー・カ	

小間No.	出展者名	ページ
£ 59	(研)農研機構 作物研究所	P.36
4±60	(研)農研機構 野菜茶業研究所	P.36
生61	(研)農研機構 中央農業総合研究センター	P.36
£62	(独)種苗管理センター	P.37
— 4563	(研)農業生物資源研究所	P.37
<u>#</u> 64	(国)熊本大学	P.37
 4:65	(公財)東京都農林水産振興財団	P.37
2500	東京都農林総合研究センター	1.07
#66	(学)岡山理科大学 猪口研究室 エコアグリ会	P.37
467	(独)家畜改良センター	P.37
£63	(研)農研機構 北海道農業研究センター	P.38
£69	(研)農研機構 東北農業研究センター	P.38
生70	(研)農研機構 近畿中国四国農業研究センター	P.38
鑑71	(研)農研機構 動物衛生研究所	P.38
£ 72	(研)農研機構 本部 (震災復興研究)	P.38
#73	(研)農研機構 本部	P.38
 全74	革新的土壌管理技術と診断キット研究開発コンソーシアム	P.39
	食ゾーン	
食01	(株)雪国まいたけ/中部大学	P.39
食02	(研)科学技術振興機構 JST復興促進センター	P.39
食03	(公)大阪府立大学大学院 工学研究科	P.39
食04	(国)北海道大学 産学·地域協働推進機構	P.40
食05	(国)宮崎大学	P.40
食06	(学)大阪電気通信大学工学部 環境科学科	P.40
	「ラズベリー・プロジェクト」	
食07	(国)信州大学大学院農学研究科	P.40
食08	一丸ファルコス(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学	
食09	宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学	P.40
食10	(国)愛媛大学	P.41
食11	佐賀大学/佐世保工業高等専門学校/ 琉球大学/大阪府立環境農林水産総合研究所	P.41
食12	沖縄工業高等専門学校	P.41
食13	(学)八戸工業大学	P.41
食14	(公)宮城大学·積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展)	P.41
食15	(独)水産大学校	P.41
食16	(学)東洋大学	P.42
食17	(公)秋田県立大学	P.42
食18	(国)新潟大学 地域連携フードサイエンスセンター	P.42
食19	(学)東洋大学	
		P.42
食20	鹿児島県大隅加丁技術研究センター	
食20 食21	鹿児島県大隅加工技術研究センター (分財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター	P.42
食21	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター	P.42 P.42
食21 食22	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所	P.42 P.42 P.43
食21 食22 食23	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学	P.42 P.42 P.43 P.43
食21 食22 食23 食24	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43
食21 食22 食23 食24 食25	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43
食21 食22 食23 食24 食25 食26	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43
食21 食22 食23 食24 食25 食25 食26	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研) 農研機構 食品総合研究所 (公) 長崎県立大学 (有) 植物育種研究所 (国) 岩手大学 (公財) 静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財) とくしま産業振興機構	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43
食21 食22 食23 食24 食25 食26	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国) 呈手大学 (公財) 静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43
食21 食22 食23 食24 食25 食25 食26	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研) 農研機構 食品総合研究所 (公) 長崎県立大学 (有) 植物育種研究所 (国) 岩手大学 (公財) 静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財) とくしま産業振興機構	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食26	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株)	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株)	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31 食32	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31 食32	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株)	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31 食32 食33	(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31 食32 食33	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター 環境ゾーン	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31 食32 食33	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター 環境ゾーン (特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31 食32 食33	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター 環境ゾーン (特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム (特非)元氣農業開発機構② 森花ジャバン (研)農研機構 畜産草地研究所	P.42 P.43 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食29 食30 食31 食32 食33 環境 02 環境 04 類 05	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター 環境ゾーン (特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム (特非)元氣農業開発機構② 森花ジャバン (研)農研機構 畜産草地研究所	P.42 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食29 食30 食31 食32 食33 環境 02 環境 04 関係 05 長 06 長	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター 環境ゾーン (特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム (特非)元氣農業開発機構② 森花ジャバン (研)農研機構 畜産草地研究所 (研)農業環境技術研究所	P.42 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44 P.44 P.44
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食29 食30 食31 食32 食33 環境の2 環境の3 環境の3 環境の3 環境の3 環境の3 環境の6 関係の7	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター 環境ゾーン (特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム (特非)元氣農業開発機構② 森花ジャバン (研)農研機構 畜産草地研究所 (研)農業環境技術研究所 (研)森林総合研究所	P.42 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44 P.44 P.45 P.45 P.45 P.45
食21 食22 食23 食24 食25 食26 食27 食28 食30 食31 食32 食33 環間02 環間02 環間05	(公財)かすさDNA研究所 生体物質解析センター (研)農研機構 食品総合研究所 (公)長崎県立大学 (有)植物育種研究所 (国)岩手大学 (公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター (公財)とくしま産業振興機構 埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会 (国)島根大学 農林水産業の六次産業化 プロジェクトセンター 大森ヘルスケア(株) (株)食の科学舎 健康生活素材(株) (研)国際農林水産業研究センター 環境ソーン (特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム (特非)元氣農業開発機構② 森花ジャバン (研)農研機構 畜産草地研究所 (研)農業環境技術研究所 (研)森林総合研究所 熱プロコンソーシアム	P.42 P.43 P.43 P.43 P.44 P.44 P.44 P.45 P.45 P.45 P.45 P.46 P.46

小間No.	出展者名	ページ
環11	(公)大阪府立大学大学院 工学研究科	P.46
環12	(公)大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科	P46
環13	(株)ウッドプラスチックテクノロジー	P.47
環14	(国)北見工業大学	P.47
環15	(学)新潟薬科大学 産官学連携推進センター	P.47
環16	(国)信州大学 工学部 物質工学科 酒井研究室	P.47
環17	(国)神戸大学大学院海事科学研究科	P.47
環18	(株)農学研センター	P.47
環19	(学)名城大学農学部	P.48
123 I O	(于)石城八子展于即	1.40
	地域ゾーン	
地01	(国)高知大学 農学部	P.48
地02	(国)琉球大学	P.48
地03	旭川食品産業支援センター	P.48
地04	(国)弘前大学 研究・イノベーション推進機構	P.49
地05	志摩市	P.49
地06	射水市6次産業化ネットワーク推進協議会	P.49
地07	(国)熊本大学	P.49
地08	(国)東京海洋大学	P.49
	星薬科大学 先端生命科学研究所	
地09	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室	P.49
Deft - C		
地10	(国)宇都宮大学農学部附属演習林	P.50
地11	アグリビジネスフォーラム【玉川大学】	P.50
地12	アグリビジネスフォーラム【日本大学】	P.50
地13	アグリビジネスフォーラム【東京農業大学】	P.50
地14	アグリビジネスフォーラム【明治大学】	P.50
地15	アグリビジネスフォーラム【東海大学】	P.50
	アグリビジネスフォーラム	P.51
地17	(独)高齢·障害·求職者雇用支援機構	P.51
	人ゾーン	
101		DEI
人01	ATP·迅速検査研究会	P.51
人02	(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター	P.51
人03	日本弁理士会	P.51
人04	(研)科学技術振興機構	P.52
	,	
人05		P.52
人06	(特非) 産学連携学会	P.52
人07	地域産学連携コンソーシアム	P.52
80%	(公社)農林水産·食品産業技術振興協会	P.52
人09		
Vna	(研)農研機構 生物系特定産業技術研究支援センター	P.52
	1-day出展ゾーン	
18A	山形県農業総合研究センター	P.53
18B	(特非)元氣農業開発機構③(株)次世代農業	P.53
19A	(研)農研機構 中央農業総合研究センター	P.53
19B	(特非)DNA鑑定学会	P.53
20A	(国)広島大学大学院生物圏科学研究科	P.53
20B	(特非)元氣農業開発機構④ オービットエナジーグループ	r.54
	主催者展示	
± 01	世界に貢献する我が国の国際農業研究~CGIARを通じて~	P 54
主02	民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び	P.54
	若手農林水産研究者表彰	
主03	食料生産地域再生のための先端技術展開事業	P.54
主04	農林水産業におけるロボット技術開発実証事業	P.55
≟ 05	異分野融合共同研究(ICT)	P.55
	異分野融合共同研究(高機能性素材の開発)	P.55
主07	異分野融合共同研究(ウイルス対策)	P.55
主08	「知」の集積と活用の場	P.55
主 09		P.55
王10	異分野融合共同研究(日本食の評価)	P.56
主11	事業化促進研究	P.56
主12	革新的技術緊急展開事業	P.56
	林業分野における技術革新	P.56
主14	大学はおいしい	P.56
主15	農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業	P.56



コーディネーターによるマッチングについて

アグリビジネス創出フェアでは、ご来場の皆様のご要望に合わせて農林水産分野で活動実績のあるコーディネーターグルー プがマッチングをサポートします。

お気軽にコーディネーターカウンターまでご相談ください。

会場内のコーディネーターカウンターでは、コーディネーターが常駐し、皆様のご要望を踏まえた出展機関の紹介や、 具体的な技術相談等を通じ、出展者と来場者とのマッチングを支援いたします。皆様のマッチングのきっかけ作りを 全力でお手伝いいたしますので、積極的にご相談ください。

コーディネーターカウンタースケジュール

	10:00~12:00	荻本	武田	羽藤	
11月18日(水)	12:00~14:00	森岡	高橋	松井(正)	
	14:00~17:00	宮森	武田	田谷	
	10:00~12:00	田中	北村	佐藤	
11月19日(木)	12:00~14:00	八戸	森岡	山内	
	14:00~17:00	宮森	武田	野呂	梶谷
	10:00~12:00	高野	山内	梶谷	
11月20日(金)	12:00~14:00	野呂	小菅	北村	
	14:00~17:00	高橋	高野	松井(純)	

※一部シフトが変更になる場合もあります。ご了承ください。

(敬称略)

コーディネーターのご紹介

NDS 総研(株)

宮森 博康 取締役

域:北海道 活動分野:産学連携



带広信用金庫 地域経済振興部 田中 一郎

獣医学博士

域:北海道 活動分野:農畜産業全般、

産学官金連携、 地域活性化、 新製品開発



株川バネス

高橋 修一郎 代表取締役 COO

域:東京 活動分野:研究開発(バイ オ系)、産学連携、

科学教育、地域 活性化



岡山大学 戦略的プログラム支援ユニット 田近 穣

上級リサーチアドミニストレー

域:中四国 活動分野:産学官連携、 地域活性化



㈱三重ティーエルオー 三重大学 社会連携研究センター

松井 純

域:中部 活動分野:地域資源活用、 および環境、食 品関連産学連携

大阪大学 大学院工学系研究科 生命先端工学専攻細胞工学領域

小菅 喜昭 特任研究員

域: 近畿 活動分野:農林水産、バイ

オ環境商品の商 品開発支援



愛媛大学社会連携推進機構 南予水産研究センター

山内 晧平

南予水産研究センター長・ 教授

域:中四国 活動分野: 産学連携、水産 学一般、地域イ ノベーション

大分大学工学部 森岡 勝彦

客員教授 産学官連携コーディネーター

域:力州 活動分野:地域資源活用、 農業、林業、食品 環境、IT



(株)ヴェントゥーノ 荻本 賢治

研究開発・マーケティング顧問

域:全国 活動分野:機能性素材・機 能性食品・健康 食品実用化と海 外を含む市場開 発



農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

佐藤 龍太郎 農林水産省産学官

域:全国 活動分野:農薬(植物成長 調製剤)



農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

羽藤 公一 農林水産省産学官 連携事業コーディネーター

域:全国 活動分野:食品化学



NPO 法人グリーンテクノバンク 八戸 三千男

農林水産省産学官 連携事業コーディネーター

域:北海道 活動分野: 畑作、作物育種



注意 マッチングサポートツアー・

ガイド役のコーディネーターとともに、テーマに沿った出展ブースを訪問し、マッチングに向けたヒントを探るマッチング サポートツアーを実施します。ツアー参加希望の方は、会場内コーディネーターカウンターまでお越しください。(参加は 先着順とします。)

	18日 (水)	19日 (木)	20日 (金)
11:00	スマートアグリーロボット	スマートアグリー再生エネルギー	畜産技術
11:45	スマートアグリに貢献する ロボット技術の開発状況	農業における再生エネルギー等活用術	最先端技術を活用した新規酪農技術の紹介
	【高野 博幸】 病害虫駆除(ウイルス)	【宮森 博康】 機能性食品一全般	水産
13;30	新ウイルス防御技術	機能性食品と素材	
14:15	(武田 穣)	「一般には、現代を表現して、またものでは、現代を表現して、またものでは、現代を表現して、またものでは、またいのでは、またものでは、またものでは、またものでは、またりのでは、またものでは、またものでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりのでは、またりでは、またりのでは、またりので	ー海藻には健康成分がいっぱい 【山内 晧平】
	スマートアグリー異分野融合 ICT	畜産(食肉1)	畜産(食肉2)
14:00	「家族で大規模な農業経営を実現する」 実用化技術とは 【松井 純】	最新の牛肉生産技術と おいしい食肉加工技術の紹介 【田中 一郎】	ジビエを安全においしく食べるために活用できる研究成果 【田中 一郎】
14:45	新品種-カンキツ	機能性食品-日本食	新素材
	新品種果実と果実の新加工技術の紹介等 【高野 博幸】	ひと味違った食材・加工法は いかがですか 【北村 實彬】	異分野融合研究など、農林水産物由来の高機能性素材開発は今どこまで進んでいるのか 【羽藤 公一】
14:30	昆虫	新品種-稲・麦	スマートアグリー植物工場
15:15	最新の害虫防除の技術素材を知ろう!	新しい高機能性食品のコメ、オオムギや コムギ、ダイズやダッタンソバ等の紹介	植物工場の進化を支える要素技術を巡る
	【松井 正春】	【田谷省三】	【梶谷 浩一】
15:00	新品種-イチゴ	新品種-全般	機能性素材
\$	イチゴの遺伝子研究から	食生活を豊かにする	病気対策の素材紹介
15:45	栽培、加工流通までの新技術 【羽藤 公一】	新食材・新品種を巡るツアー 【八戸 三千男】	【小菅 喜昭】

東北地域農林水産・食品ハイテク研究会野呂治

農林水産省産学官 連携事業コーディネーター

地 域:東北

活動分野:地域資源利活用

農林水産・食品産業技術振興協会 (JATAFF)

高野 博幸

農林水産省産学官 連携事業コーディネーター

地 域:関東(北陸·沖縄)

活動分野:食品



NPO 法人東海地域生物系先端技術研究会 松井 正春

農林水産省産学官 連携事業コーディネーター

地 域:東海 活動分野:環境、昆虫管理

8

NPO 法人近畿アグリハイテク

北村 實彬

理事・事務局長 農林水産省産学官 連携事業コーディネータ

地 域:近畿 活動分野:先端科学、三次 産業



NPO 法人

中国四国農林水産・食品先進技術研究会

梶谷 浩一

農林水産省産学官 連携事業コーディネーター

地 域:中国四国 活動分野:産学連携、地域 資源活用、環境、

3:産学連携、地域 資源活用、環境、 競争的資金



九州バイオリサーチネット 田谷 省三

四日 自二 農林水産省産学官 連携事業コーディネーター

地 域:九州 活動分野:作物学



イベントスケジュール

10	ハフトスケラ			
200 新北は東京・上スイマーの北京地域 100 学の大阪では12世でも同様情報 200 学の大阪では12世でも同様		セミナールームA	セミナールームB	セミナールームC
		9:45▶10:00 開	会セレモニー	
(1971年) 大学の大学・大学・大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大	10:30 基調講演]	三重大学大学院生物資源学研究科 資源循環学専攻 教授	ストーブへの挑戦	能性
	11:00 次世代の農林水産・食品 導く「知」を創る~「知」の集 の場の構築:中間とりまとめを踏	を活用 えて〜 10:45 里山の生物多様性を未来遺産に 一社会的共通資本の持続的共同管理		
		才住文生代线 11.00 (学)麻布大学 生命·環境科学部 地域社会研究室/講師		
### 12-71年以(信) 国际的政府 (19年 2月 12日	世 12:30 農林水産・食品産業に 「知」の集積と活用	大きな成果! 大きな成果! 大きな成果! KFT農法研究会/九州大学大学院農学研究院 准教授	デムによる新規農業利用技術	マ 役立つ受容体研究
(株) 新川場所等 等級原接 (川田 田村 日刊	理事長 妹原 富士フイルム(株) 取締役	堅一郎 11:35 施設園芸における熱エネルギーの効率 地行役員 い	✓ ム濃度の変動	規健康機能
(19) 書書 日の企業を対象に同じ代替。 (19) 書書 日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に同じ代替。 (19) 書書 日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対象に同じ、日の企業を対象に可じ、日の企業を対	(株)前川製作所 専務取締役 キッコーマン(株)常務	村 邦明 行役員・ 松山 加 12:00 日本の野菜や花を新鮮なまま環境負荷の小さ		
たぞその特別技術 一次 12-10 12	中央農業総合研究 農業経営研究領域 上	1分代機構 センター お研究員 「日期間長コーディネーター/リザーチアドミニストレーター 特性教授 総合 弘徳 お研究員	19:15 #IDDID LIMITET HATTIMIES IN 1914 AM	
日本の 15-10 平成27年度(第16回) 日本の 15-10 日本の 15-1	0	たモモの輸出試験	富山県立大学/立田 真文	水稲の低コスト生産を実現
平成27年度(第11回)	015:00 平成27年度(第16回) 民間部門農林水産研究開	■ 展開技術 13:05 (国)宇都宮大学 柏嵜 勝	▼ 的財産活用のポイント	▼ 源化」領域のセミナー 13:50 北海道大学/三輪京子、石川県立大学/小村
13-01 子語子繁華型品種 (よのほし)の特徴と解放体験を実践した回収は		▼ る病害虫防除13:30 とちぎフードイノベーション推進協議会 加藤 第	本新的技術緊急展開事業 産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立に向けて一攻めの農林水産業の実現に向けた実証研究の紹介~	
14:05 IOTが変えるミツバチの管理と蜂蜜のレレッドビリティ 14:20 アドタイスはつはな実験圏 伊東 大輔 14:30 アボスト 14:30 14:30 アボスト 14:30 14:30 アボスト 14:30 14:30 アボスト 14:30 アボスト 14:30 アボスト 14:30 アボスト 14:30		徴と普及移転計画	(研)農研機構「革新的技術実証事業」運営委員会 寒地における革新的技術を実装した高収益 施設アスバラガス経営の実証 酪農学園大学農食環境学群 教授 園田 高広	
14:30		▼ レーサビリティ	(研)農研機構 野菜茶業研究所 野菜生産技術 研究領域 上席研究員 今日 成雄 移植翌年に収穫可能なニホンナシ根圏制 御栽培法による省力多収技術体系の美証 栃木県農業記録場研究開発部 果樹研究室長	▼ 16:00 ・ヤーコンを素材とした阿蘇地域
14:55 機作物アロマと芳香療法(認知症改善や	0	林(SGEC)材について	北信越地域における高性能機械の汎用利用と機械化一貫体系を基軸とした低コスト高収益水田輪作体系の美証 (研)屋研機構中央農業総合研究セクー 北陸農業研究監 兼、出租利研究領域長 松村 修	准教授 松田 靖 ・ミツバチとお花畑で農地を守る
15:10 講演 異分野融合共同研究(日本食評価) (日本食評価) (日本食評価) (日本食評価) (日本食の評価 (国)京都大学大学院医学研究科 教授 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部附属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院是 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的属病院。病院展 (国)京都大学医学部的用生物化学科教授 / 小島 康夫 (明)治大学〉植物工場基盤技術研究センター (国)信州大学先鋭領域融合研究群 カーボン科学研究所 特別特任教授 遠藤 守信 (国)信州大学先鋭領域融合研究群 カーボン科学研究所 特別特任教授 遠藤 守信 (国)信用大学先鋭領域融合研究群 カーボン科学研究所 特別特任教授 遠藤 守信 (国)原州大学先鋭領域融合研究群 カーボン科学研究所 特別特任教授 遠藤 守信 (国)原本学・大学主義といる。 (国)信州大学、大学連携といる。 (国)	0	緩和医療への可能性)	労・効率的作業管理技術を核とする水田作の実証 (研)最初機構 近第中国四国農業研究センター 営置・環境研究領域上席研究員 奥野 林太郎 温暖地大規模水田高度輪作体系における準 大頂衛星による精密測位や無人作業機を用	・早採りコンブやニジマス等地域 材を利用した新規食品開発
(国)京都大学大学院医学研究科 教授 (国)京都大学医学部附属病院 病院長 稲垣 鵯也 を食いえたランの東京展開 農業生産法人日本豊受自然農(株) 代表 由井 寅子 「たづま」 「たっぱい 「はいました」 「はいました」」 「はいまた」 「はいまた」」 「はいました」 「はいまた」」 「はいまた」 「はいまた」」 「はいまた」」 「はいまた	15:40 医学・栄養学との連携に	食評価)	(研)農研機構 中央農業総合研究センター 生産体系研究領域長 大下 泰生	食品生命学科 陶 慧・大学連携と地域づくり
15:50 講演 異分野融合共同研究(高機能性素材)	(国)京都大学大学院医学研究 (国)京都大学医学部附属病院	科 教授 15:35 農業生産法人日本豊受自然農(株)代表 由井 寅子	▼ バイオ原油トータルシステムの開発 15:55 国立大学法人新潟大学 大学院自然科学研究 科生命・食料科学専攻 農学部応用生物化学科	宮林 茂幸 ・都市近郊型農業としての植物コ 研究
(国信州大学先鋭領域融合研究群 カーボン科学研究所 特別特任教授 遠藤 守信 16:30 セミナー1 17:00 国産原料(スギ)由来のセルロース ナノファイバーの製造と利用 (研)森林総合研究所 主任研究員) 16:20 農林水産物由来物質とナノカー	ボンの"		研究センター
17:00国産原料(スギ)由来のセルロース ナノファイバーの製造と利用 (研)森林総合研究所 主任研究員合同マッチング交流会 17:30~19:00	(国)信州大学先鋭領域隔	合研究群		
ナノファイバーの製造と利用			合同マッチングな流会	
	ナノファイバーの製造と利用	研究員		

		Create Agribusine	『トンン(ンイン的中)エト
19日 メインステージ	セミナールームA	セミナールームB	セミナールームC
10.00	10:20 ICTを活用した植物の成長評価技術の開発	10:20 島根大学発 六次産品の紹介	農林水産業・食品産業科学技術研究 推進事業研究成果発表会2015 1020農林水産業・食品産業科学技術研究
10:30 10:30 基調講演2 11:30 地方創生と地域発イノベーショ	▼ 理化学研究所 環境資源科学研究センター 10:35 機能開発研究グループ/七夕 高也	10:35 ジェクトセンター センター長 板村 裕之	・ 展が小足業・民田産業・代子及制別元 10:30 推進事業の紹介 ・ る低コスト高付加価値食品の開発 ・ (研)農研機構 食品総合研究所
~アグリビジネス創出における 地方大学の役割~ おおき 11:00 小樽商科大学前	学長	10:45 低温・低ダメージのブラズマ殺菌による農産物の品質保持 11:00 佐賀大学大学院工学系研究科電気電子工学専攻 三沢 達也	ユニット長・上席研究員 杉山 純一 地域特産果実の真空・中高圧処理によ る新規迅速加工品の実用化 (研)農研機構 食品総合研究所
山本 眞	Ti.10 漂らさずに水やり!地下灌漑システム OPSISを用いた野菜生産 (研) 農研機構 野菜茶業研究所 野菜生産技術研究領域上席研究員 佐々木 英和	11:10 北限ユズ果汁の瞬間的高圧搾汁による ▼ 高付加価値化実証研究 11:25 沖縄工業高等専門学校 伊東 繁	食品工学研究領域 食品高圧技術 ユニット長 山本 和貴 農産物の有する機能性やその関与成 分に関する知見の収集・評価 (公)日本健康・栄養食品協会
11:30	11:35 落花生堀取機による収穫作業の省力化 中央農業総合研究センター 深山 大介	11:35 ・	技術参与 加藤 博 ポスターセッション(食品)
12:10 宮城県の新しい水産加工食品 12:00 (独)水産大学校 水産学研究科前田		12:00 新たな畜舎システム(閉鎖型プッシュ&	12:00 青色・多弁咲き・二重不稔シクラメン
	▼ 一水槽流れと仔魚生産率との関係— 12:20 大島商船高等専門学校 商船学科 教授 角田 哲也 12:20 分光反射スペクトルを用いた露地栽培	▼ ブルLPCV方式) 12:15 宇都宮大学/池口 厚男	14:00 の実用化と高効率パラエティ作出プログラムの開発 北興化学工業(株)開発研究所審議役 寺川輝彦 茶園における一酸化二窒素発生と炭
12:30	▼ 下での生産・品質管理手法 12:40 香川高等専門学校 電気情報工学科 准教授村上 幸一	12:25 畜産構造改革を目指す九州大学ブラン	「未園にのける」一般に一至来光王之次 素貯留を考慮した整せん枝残さ土壌 還元技術の開発 (研)農研機構 野菜菜業研究所 主任研究員 鷹野 祐平 きく生産・流通イノベーションによる
12:50 講演 異分野融合共同研究(ウイルス 13:00 13:20 革新的人工核酸結合タンパク質を		12:50 セミナー3 13:30 漁村のスマートコミュニティ化	国際競争力強化 (研)農研機構 花き研究所 花き研究領域 主任研究員 久松 完
13.00 13.20 たウイルス対策技術の確立と社会す たウイルス対策技術の確立と社会す (国)岡山大学大学院自然科学研 教授 世良	接 究科 ^{責史} 13:15 国産高アミロース米の健康価値および	技術実用化・実証研究について ミツイワ(株)マーケティング本部事業研究室	CO₂長期・長時間施用を核とした環境 制御技術を開発し東海の園芸産地を 活性化する (研農研機構野菜菜業研究所上席研究員 岩崎 泰永
13:30 13:30 セミナー4	▼ 利用 13:30 健康生活素材(株)		東北・北陸地域における新作型開発によるタマネギの端境期生産体系の確立 (研)農研機構東北農業研究センター上席研究員 山崎 篤
15:30 スマート農業の実現に向けて 1 ロボット・ICTを活用した新たな農 実現に向けて (国)北海道大学大学院 教授 野 2 スマート農業の実現に向けた研	業の 13:40 金製コーヒーノイルターの機能・効果と フィルター技術の応用 13:55 (株)オブトニクス精密代表取締役 絹田 精鎮	革新的技術緊急展開事業 産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立に向けて~攻めの農林水産業の実現に向け	中小規模園芸ハウスを対象とした複合エコ環境制御技術の確立 (国)高知大学農学部 准教授 宮内 樹代史 ポスターセッション(農業生産)
開発センター新規事業推進室 開発 課長 岡本	球夫 14:20 (有)植物育種研究所 岡本 大作	た実証研究の紹介~ 概要説明 (研)農研機構「革新的技術実証事業」運営委員会 九州における飼料生産組織、TMRセンター・子生育成センターが連携する地域分	
• 弁当感付ロボット等の開発	勝局 富美 14:30 茶成分「テアフラビン」の実力 ▼ 焼津水産化学工業(株) 営業本部 開発センター	(研)農研機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 主任研究員 服部 育男 ゲノム解析及び地域資源を活用した特産地	14:15 レギュラトリーサイエンス研究推進計 画
(株)武蔵野 エンジニアリング部 課長 小林 ・栽培管理や収穫物運搬を代替 小型自律型ロボットの導入実証 フューチャアグリ(株)代表取締役 蒲谷	する <u></u>	鶏「長州黒かしわ」の効率的、省力的な生産 技術体系の確立 山口県農林総合技術センター 畜産技術部 家畜改良研究室 特産開発グループ 専門研究員 伊藤 直弥	16:00 愛媛県農林水産研究所集制研究センター 病理昆虫室長 清水 伸一 臭化メチル剤から完全に脱却した産 地適合型栽培マニュアルの開発
15:00 野融合共同研究) (国名古屋大学大学院情報科学研 教授 北 3 農業情報創成・流通促進戦略の)	▼ 能性食品素材としての開発 究科 15:10 北海道大学農学研究院 教授 原 博 栄輔	養殖プリ類のストレスレス水揚げシステムと大型魚全自動高速魚体フィレ処理機開発 (国)鹿児島大学 学長補佐(社会貢献担当) かごしまCOCセンター長水産学部教授 木村 郁夫	(研)農研機構中央農業総合研究センター 上席研究員 津田 新哉 非虫媒ウイルス接種苗を利用したトマト黄化葉巻病の新規防除・蔓延防止
攻めの農業に資するデータ標準 内閣官房情報通信技術(IT)総合戦略室長 副政府CIO 神成		- 落花生の超省力生産体系の実証 (研)農研機構 中央農業総合研究センター 作業技術研究領域長 細川 寿 省力型樹形を基盤とする果樹の省力・軽労 型生産技術体系の実証	技術の実用化 (国)宇都宮大学農学部 教授 夏秋 知英
15:40 自動操縦システム ロボット漁船・垂 養殖による高品質アサリ 水産工学研究所 松田 秋彦 増養殖研究所 日向野 純也	下式 15:45 栄養機能性を富化した高圧加工米とそ の応用開発 16:00 信州/学大学院裏学研究科機能性科陽発学専攻教展 融田 智之	(研)農研機構 果樹研究所 栽培·流通利用研究領域長 別所 英男	除体系の実証
16:00			(rd 14)
16:30			

20日 メインステ	ージ セミ	ミナールームA	セミナールームB	セミナールームC
10:10 セミナー5	_			農林水產業・食品產業科学技術研究 推進事業研究成果発表会201510₁0 農林水產業・食品產業科学技術研究10₂20 推進事業の紹介
12:20 生産現場の夢トー会 本部道府県普及指導 る生産現場の課題 し、取組に協力いた	機関が構想す 選解決を紹介 10:35 石川県立大		10:20 昆虫の視覚世界を規範とした新しい害 ▼ 虫誘引・隠蔽技術 10:35 浜松医科大学/弘中 満太郎	10:20 沿岸域における効率的な深層地下水 ▼ 探査手法の開発 11:50 (研)農研機構 農村工学研究所 上席研究員 中里 裕臣
研究機関等を募集 都道府県普及指導機	します〜 関(普及指導員等) - 帝民は海典の課と ・ を可能と	とするビニールハウス	10:45 EOD技術による花きやイチゴの低コス ・ ト生産技術実証 11:00 山館COD連携所会/鳥頭県開芸試験場 花研究学室/ 岸本 真幸	農業用パイプラインの長寿命化・耐震 対策技術の開発 (研)農研機構 農村工学研究所 主任研究員 有吉充
11:00	11:10 農業用 ▼ 塵装置	水路を活用した小水力発電用除	11:10 熱ショックで病害抵抗性を誘導する温湯 ▼ 散布装置	津波被害軽減効果の高い海岸防災林 造成技術の開発 (研)森林総合研究所東北支所
11:30	11:25 農研機構:	生研センター 基礎技術研究部(日井 善彦)	11:25 茨城大学農学部附属フィールドサイエンス教育研究センター(生物生産科学) 佐藤 達雄	地域研究監 坂本 知己 センサーわなのネットワーク化による 野生動物捕獲システムの開発 (株)野生鳥獣対策連携センター
	▼ 築へ向	ナて	11:35 中山間地域の活力創造に向けた畑わさ での高収益輪作モデルの実証 11:50 山口県農林総合技術センター 日高 輝雄	取締役 阿部 豪 ポスターセッション(防災・鳥獣害対策等)
12:00	■▼■す技術の	の挑戦	12:00 ▼ 対する治療効果 12:15 中部大学 林京子	13:45 高精度資源情報を活用した森林経営 計画策定支援システムの構築と検証 (国)岐阜大学・流域圏科学研究センター 教授 栗屋 善雄
12:30 12:30 セミナー6 14:00 バイオテクノロジ-	▼ バイオコ 広島大学 介機能科	コントロール技術	12:25 機能性ナノ光デバイスを用いた超高感 使検査システムの開発 12:40 大阪府立大学大学院 工学研究科 遠藤 達郎	地域バイオマス利用によるきのこの 増殖と森林空間の活性化技術の開発 長野県林業総合センター 特産部長 増野 和彦 広葉樹資源の有効利用を目指したナ
未来 バイオテクノロジーを ベーション創出に向け 農林水産省 農林水産	て 検出する	5遺伝子診断技術	12:50 母ウシ由来活性化リンパ球投与による 世界初の子牛の免疫強化技術 13:05 (株)ケーナインラボ代表取締役 山口 智宏	ラ枯れの低コスト防除技術の開発 (研)森林総合研究所 森林昆虫研究領域 昆虫管理研究室長 所 雅彦 日本海沿岸域におけるリアルタイム
ゲノム編集技術を用い 最先端 (国)第波大	鈴木 富男 小た育種改良の 13:15 日向夏る て〜最新	断のデータをご紹介~	13:15 野生動物肉(ジビエ)中の食中毒・感染症 ず病原体簡易迅速検査法 13:30 岩手大学 山﨑 朗子	急潮予測システムの開発 (研)水産総合研究センター 研究開発コーディネーター 渡邊 達郎 地域特産化をめざした二枚貝垂下養殖システムの開発
13:30 新たなカイコ産業の創 (研)農業生物資源研	究所 瀬筒 秀樹 13:40 日向夏皇 13:40 からヒト	試験までのプロセス	13:40 同種および異種の倍数性植物の新たな ・ 作出法:配偶子の人為的融合 13:55 首都大学東方大学摩丁学研究社会的学専攻教授 岡本藤史	(研)水産総合研究センター 増養殖研究所 養殖システム部長 日向野 純也 ポスターセッション(林業・水産)
14:00	14:05 ミカン男		14:05 生鮮品のような風味を保ち、保存性も増大させるUV乾燥・貯蔵法	13:55 南西諸島の飼料自給率を高める飼料 用サトウキビとエコフィードTMRの 利用技術の確立 (研) 景研機構 九州沖縄農業研究センター
14:10 セミナーフ 革新的技術緊急展開事 産学の英知を結集した革新 立に向けて〜攻めの農林か た実証研究の紹介〜	第 14:20 国立大学 研究セン: 的な技術体系の確 定業の実現に向け	法人愛媛大学農学部附属食品健康科学 ター センター長・教授 菅原 卓也	14:20 八戸工業大学 青木 秀敏 14:20 産学連携とものづくり教育訓練の融合	主任研究員 服部 育男 南西諸島における家畜糞尿を核とした 地域バイオマス利活用モデルの構築 (研)農研機構 九州沖縄震業研究センター
概要説明 (研)農研機構「革新的技術実 コンテナ苗を活用した低: の実証研究 (研)森林総合研究所 植物	証事業」運営委員会 コスト再造林技術 14:45 大阪府立	<u>i</u>	14:45 住子 注係ともの グタス 自 副 赤 の 配 コーター 農業機械 装置の 開発 - 一農業機械 接面 の 開発 - 14:45 生産電子情報システム技術科 職業能力開発教授 浅野 博	上席研究員 田中 章浩 豚下痢性コロナウイルスの全ゲノム 解析ならびに検査法の確立 (研)農研機構 動物衛生研究所 主任研究員 大橋 誠一
15:00 セミスマートな二枚貝養殖(研)水産総合研究センタ	梶本 卓也 技術の開発と応用 7一 日本海区水産 部長 崎山 一孝	争化	14:55 ▼ 果と食品への用途開発 15:10 東京海洋大学大学院食品生産科学部門 教授 大島 敏明	食肉中放射性セシウムのと畜前推定 技術の検証と放射性物質の動態 (国)東北大学大学院農学研究科 教授 磯貝 恵美子 ウシのバイオバンク創設と最先端ゲ
生紅紅勿	』野菜茶業研究所 15:20 八ヶ岳中 探員 根角 厚司 マー 八ヶ岳 プート 大ヶ岳 プート プート プート でき生産における (特非)元	中央農業実践農業大学校で行う フォーラムについて 氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム		ノム解析戦略による学生虚弱発生防止の実用化 (公社)畜産技術協会 附属動物遺伝研究所所長 杉本 喜憲ポスターセッション(畜産)
(研)農研機構 花き研究 主任研				The state of the s
16:00				
16:30				



調 演 基 灩

基調講演 1

11月18日(水) 10:30 ▶ 11:00 │ メインステージ

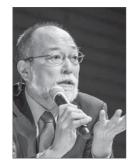
次世代の農林水産・食品産業を導く「知」を創る

~ 「知」の集積と活用の場の構築:中間とりまとめを踏まえて~

特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長

妹尾 堅一郎 氏

次世代の農林水産業・食品産業を創出するには、技術をはじめとする多様な「知」 を集結・融合・活用する必要があります。既存と新規、伝統と先端、同質と異質、 さらには国内と海外、産学官公民などの相互連携も不可欠です。本講演ではこれら について解説いただきます。



基調講演 2

11月19日(木) 10:30 ▶ 11:30 メインステージ

地方創生と地域発イノベーション ~アグリビジネス創出における地方大学の役割~

帯広畜産大学監事・小樽商科大学前学長

山本 眞樹夫 氐

日本経済の発展のためには、地方の知恵を活かした地域発のイノベーションが重 要です。特に、地方大学は優れた技術やアイデアを有しており、この効果的な活用 により、新たなビジネスの芽を生み出すことができると考えられます。本講演では、 このような点について解説いただきます。



シンポジウム

11月18日(水) 11:10▶12:30 | メインステージ

農林水産・食品産業における「知」の集積と活用

特定非営利活動法人産学連携推進機構 理事長 妹尾 堅一郎 氏 富士フィルム株式会社 取締役執行役員 浅見 正弘 氏 株式会社前川製作所 専務取締役 川村 邦明 氏

キッコーマン株式会社 常務執行役員・研究開発本部長 松山 旭氏

国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構中央農業総合研究センター農業経営研究領域上席研究員 門間 敏幸 氏

次世代の農林水産・食品産業の創出に向けて、農林水産・食品分野と異分野の知識・技術を結 集した、新たな産学連携研究の仕組みづくりが進められています。

この場から、安全で美味しい食を提供する日本の技術を活かし、オープンイノベーションを通 じて、新たなビジネスモデルを創出するため、他産業の関係者への期待や、知財戦略・プロデュ-サー的人材の必要性等について、農林水産・食品分野と他産業分野の有識者が議論します。







アグリビジネス創出フェア 2015 9

異分野融合共同研究 講演

11月 18日 (水) 15:10 ▶ 15:40 │ メインステージ

(日本食評価)

医学・栄養学との連携による日本食の評価

国立大学法人京都大学大学院医学研究科教授 国立大学法人京都大学医学部附属病院病院 病院長 稲垣 暢也 氏

「和食:日本人の伝統的な食文化」が世界文化遺産に登録され、国内外での日本食に対する期待や関心が高まっ ています。しかし、日本食とはどのような食事を指すのか、その食事をとることでどのような効果が期待され るのか、について根拠となるものが非常に限られている状況です。

本研究では日本食を科学的・多面的に検証することで、その根拠を明らかにしていく取組を紹介します。



11月 18日 (水) 15:50 ▶ 16:20 メインステージ

(高機能性素材)

農林水産物由来物質とナノカーボンの

"ナノ・ナノ"コンビネーションと応用

国立大学法人信州大学先鋭領域融合研究群 カーボン科学研究所 特別特任教授 遠藤 守信 氏

農林水産物由来の残済等を利用して各種ナノ素材を調製し、それを先進的なナノカーボンと融合して"ナノ ナノ"コンビネーション(nano・nano combination)による新規機能材料の創成が期待できます。

特にナノ構造を制御して高度な機能発現を実現し、複合材料やエネルギーデバイスなど広範な産業応用に繋 げ、これによって新たな素材産業の創出ならびに農林水産業の強化に繋げる取組を紹介します。



11月19日(木) 12:50 ▶ 13:20 │ メインステージ

(ウイルス)

革新的人工核酸結合タンパク質を用いた ウイルス対策技術の確立と社会実装

国立大学法人岡山大学大学院自然科学研究科教授 世良 貴史 氏

異分野融合共同研究のウイルス分野では、国際化の進展等に伴う植物や動物に係るウイルスの被害を防止す るための革新的ウイルス対策技術の開発及びその実用化等を行っています。

本発表では、抗ウイルス農薬、動物用医薬品、抵抗性植物品種等の開発や生産現場において迅速かつ正確に ウイルスを検知する技術の開発など、補完研究機関を含めたウイルス分野全体の活動内容についても紹介しま す。



セミナー 1

- 11月18日(水) 16:30▶17:00 │メインステージ

国産原料(スギ)由来のセルロースナノファイバーの製造と利用

国立研究開発法人森林総合研究所 主任研究員 林 徳子 氏

セルロースナノファイバーは木材などの植物細胞壁成分であるセルロースを究極までほぐしたもの(ナノ化し たもの)で、透明フィルムやプラスチックの補強材料としての利用など、新たな木材需要を創出するものとして、 応用研究が進んでいます。

森林総合研究所では、国産針葉樹を原料としてアルカリ蒸解によりパルプ化し、酵素処理と汎用の粉砕機を用 いた環境に低負荷なナノ化技術によるセルロースナノファイバーの製造法を提案しています。この方法は、セル ロースのみならずへミセルロースも利用できること、また、小規模な施設でセルロースナノファイバーが一貫製 造できることを特徴とするので、中山間地域での国産材からのナノファイバー製造を意図しています。



セミナー2

11月19日(木) 11:40▶12:10 メインステージ

宮城県の新しい水産加工食品

独立行政法人水產大学校 水產学研究科 教授 前田 俊道 氏

宮城県の水産加工業の震災復興を加速化するために、先端技術を用いて製造した新規水産食品を紹介します。 特に、通電加熱技術、酸ゲル化技術、発酵技術などを用いて製造した再成形組み立て食品、ヨシキリザメ肉から の加工食品、ツノナシオキアミ魚味噌様食品について紹介します。これらの技術や食品は、復興庁・農林水産省 の「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」で開発されました。



セミナー3

11月19日(木) 12:50 ▶ 13:30 | セミナールームB

漁村のスマートコミュニティ化技術実用化・実証研究について

ミツイワ株式会社 マーケティング本部 事業研究室 マネージャー 小田嶋 俊和 氏

水揚げ、天気、生産計画などにより変動が大きい水産業の主要施設(魚市場、製氷庫、冷凍庫、加工場)におけ る電力消費のモニタリングを行い、相関する要因(日射量、温度、ドア開閉数)を明らかにする事により各施設に 適用したエネルギー消費を抑える省エネ技術を導入すると共に、漁村全体(コミュニティレベル)の系統電力の購 買低減につながるスマート・コミュニティ化技術について、岩手県釜石市における実証事例について紹介します。



セミナー4

11月19日(木) 13:30▶15:30 メインステージ

スマート農業の実現に向けて

我が国の農林水産業をめぐる高齢化や人手不足等の問題を解決し、若者や女性など様々な主体が参画できる環境を創出する切 り札として、ロボット技術やICTの導入が期待されています。

このような中、政府が取りまとめた「ロボット新戦略」では、農林水産業がロボット活用を推進すべき重点分野に掲げられたほ か、農林水産省ではロボット技術やICTを活用した新たな農業を「スマート農業」と呼び研究開発や実証を進めるなど、その実現 に向けた動きが加速化しています。

本セミナーでは、こうした取組に参画してこられた企業や研究機関、農業者の皆様をお招きし、スマート農業の実現に向けた 研究開発や導入実証等の最新の状況、課題や解決のポイント、今後の展望などについてお話しいただきます。

(1) ロボット・ICTを活用した新たな農業の実現に向けて

国立大学法人北海道大学大学院 教授 野口 伸氏

農業生産現場へのロボット技術・ICTの導入により農業がどのように変わるのか、実現に向けた課題は 何か等について、トラクターの自動走行などのビークルオートメーションの研究開発や技術導入に向けた 取組などの具体例を挙げながら紹介します。



(2) スマート農業の実現に向けた研究開発・導入実証の状況

・トマト収穫ロボットの開発

パナソニック株式会社 生産技術本部生産技術開発センター新規事業推進室 開発一課 課長 岡本 球夫 氏

葉や茎などを区別し、収穫するトマトの位置や姿勢を正確に認識する3D認識技術と、ダメージレス で収穫するハンドリング技術により、収穫適期のトマトを傷つけずに収穫するとともに、裂開果を判定 する選別ユニットを備えたトマト収穫ロボットの技術開発の取組について紹介します。



・搾乳ロボットを用いた精密飼養管理システムの開発 農林水產省農林水產技術会議事務局 研究調整官 原田 久富美 氏

大規模化が進む酪農経営において、搾乳ロボットを効果的に活用するための給餌戦略の明確化及び搾 乳口ボットを利用して乳用牛の生体情報等を収集し利活用する精密飼養管理システム開発の取組につい て紹介します。



・弁当盛付ロボット等の開発

株式会社武蔵野 エンジニアリング部 課長 小林 明人 氏

弁当製造ラインにおいて人との共働作業により柔軟物を含む様々な具材の盛り付けを行うロボットや 弁当の包装・梱包工程における仕分けを行うロボットなどの技術開発の取組について紹介します。



講演者等紹介

・栽培管理や収穫物運搬を代替する小型自律型ロボットの導入実証 フューチャアグリ株式会社 代表取締役 蒲谷 直樹 氏

園芸用ハウス等において栽培空間内の様々な環境データ(温度、湿度、PAR、CO2等)を自律移動しな がら連続的に計測解析する栽培見回りロボットや、収穫作業時に作業者の動きに追従する収穫物運搬口 ボット等、施設園芸の省力・高品質生産の実現に寄与するロボットの導入実証の取組について紹介しま す。



農業情報インフラの社会実装(異分野融合共同研究) 国立大学法人名古屋大学大学院情報科学研究科 教授 北 栄輔 氏

「ICT活用農業 事業化・普及プロジェクト」では、農業の省力化と所得拡大に向け、圃場の作物生育 状況や生育環境等の情報をセンサー等によりサーバーに収集し、市場情報等とともに分析し栽培管理や 経営に関する情報としてウェブサービスで生産者等に提供するシステム開発を異分野融合共同研究で 行っています。



(3) 農業情報創成・流通促進戦略の展開 攻めの農業に資するデータ標準

内閣官房情報通信技術 (IT) 総合戦略室長代理/副政府 CIO 神成 淳司 氏

「農業情報創成・流通促進戦略」は、農業者の権利に留意しつつ、多様な農業情報の利活用による分野全 体の活性化・さらなる競争力強化を目的とした政府横断的な戦略です。本講演では、データ流通の基盤と なる標準化や情報の取り扱い指針による情報の相互運用性等の確保等を中心に戦略の取り組みを紹介します。



セミナー5

11月20日(金) 10:10▶12:20 メインステージ

生産現場の夢トーク

~都道府県普及指導機関が構想する生産現場の課題解決を紹介し、取組に協力いただける企業・研究機関等を募集します~ 都道府県普及指導機関(普及指導員等)(農林水産省生産局技術普及課)

北海道

農業者が喜ぶ、施設園芸省力化体系の確立に向けた普及活動の展開

北海道渡島総合振興局渡島農業改良普及センター 地域第二係 専門普及指導員 酒井 紀彰 氏

森町濁川地区は、地熱、温泉熱を利用したトマト周年栽培を行う道内屈指の施設野菜産地です。高齢化、後継 者不足による農業人口減少、長期連作による病害虫や生理障害の発生が課題です。そこで省力かつ既存施設を活 用した低コストの「ICTを活用した環境制御および省力栽培技術」、環境に負荷をかけない「濁川総合的病害虫管理 (N-IPM) |を体系化した施設園芸省力作業体系の確立に向け、連携いただける機関を募集します。



青森県

国民の健康づくりに向けた「アピオス」の作付振興

青森県三八地域県民局地域農林水産部農業普及振興室総括主幹 舘山 峰春氏

アピオスは北米原産の強壮作用の強いイモで、かつてはアメリカインディアンが主食としていました。現在は、 栄養豊富な健康イモとして消費者に知られるようになり、需要が拡大していますが、収量が少なく、機械化が進 んでいないことから作付が伸び悩み、供給不足となっています。そこで、生産拡大を図ることによって生産農家 の所得の向上と多くの国民の健康づくりに寄与したいと考えており、連携して課題の解決に取り組む機関を募集 します。



埼玉県

ご当地エダマメでおもてなし~暑い埼玉だから枝豆がうまい~

埼玉県 農業技術研究センター 農業革新支援専門員 担当部長 齋藤 仁氏

埼玉県では在来種の大豆が数多く栽培されていますが、「多くは利活用場面を待っています。」現地では栽培か ら加工・販売に取り組み、枝豆産地づくりのための準備を進めています。枝豆は収穫適期が短いため、風味豊か で甘味あふれる枝豆を長期に提供するためには、流通・加工・冷凍の技術解決による商品開発が必要ですので、 技術解決による商品開発に向けて連携いただける機関を募集します。なお、ネットでは「edamame」がネット検 索の上位に入る状況です。東京オリンピックでは「ご当地枝豆でおもてなし」日本食のPRが夢です。



長野県

効果的・省力的な鳥獣害対策技術の開発と普及

長野県農政部農業技術課 副主任専門技術員 岡部 知恭 氏

「電柵下の小型自動除草管理機」(電柵は柵下の除草が大きな負担で、特に傾斜地では作業に危険も伴います。 自動で動き回る小型除草機械による省力管理により柵の設置が進み被害防止が図られます。)及び「ドローン型鳥 獣追払い機」(鳥獣の侵入時に、音や光を発する装置を搭載したドローンが自動発進し、鳥獣を追尾し追い払う 機器。)など深刻化する鳥獣害対策に係る新たな機器の開発が期待されています。



滋賀県

イチゴ難防除病害虫対策の省力・軽作業・低コスト化のために

滋賀県湖東農業農村振興事務所農産普及課 副参事 森野 洋二郎 氏

イチゴ高設栽培における近年の難防除病害虫(うどんこ病・炭そ病・ハダニ類)発生等の問題は、経営意欲の低 下に繋がりかねません。そこで、低コストで安定した効果が得られる防除技術等(①UVB波によるハダニ・うど んこ病のダブル防除②炭酸ガス高濃度燻煙技術の低コスト化③天敵放飼④底面給水育苗技術)の確立に向けて連 携いただける機関を募集します。



兵庫県

新たな価値の創出による都市近郊型葉物野菜産地の育成

兵庫県神戸県民センター神戸農林振興事務所 経営課長 北村 紀二氏

兵庫県神戸市における葉物野菜産地の強化を図るため、神戸産業物野菜の価値を創出し、都市近郊の強みを活 かした新たな産地育成を推進しています。①播種情報から出荷計画を樹立し、計画的出荷を可能にする「出荷予 測システム」の開発と運用②新たな機能性や鮮度等の表示を活用した品質評価基準「神戸版スコア(仮称)」策定によ る他産地との差別化を目指しており、連携いただける企業や試験研究機関等を希望しています。



徳島県

きゅうりタウン構想~移住就農者募集で産地拡大による地域活性化へ~

徳島県美波農業支援センター 主査兼係長 黒嶋 敦 氏

産地・JA・行政が一体となり、移住就農希望者に、短期間で栽培技術が修得できる研修と定住環境を提供し、 就農を希望する若者の移住と育成を進めて産地再生を図る「きゅうりタウン構想」について、紹介します。県外か らの移住就農希望者を募集する具体的な手段や方法等をご提案いただける機関を募集します。



香川県

自家採種で成立する特産野菜の種子用高性能色彩選別装置の実用化

香川県西讃農業改良普及センター 次長 糸川 桂市 氏

管内には、伝統品種や独自の歴史により地域に定着し、自家採種で成立する特産品が僅かに守られています。 これらの伝統品種は、固定種であるため、生育の不揃いや発芽が不安定で、しかも栽培が難しいです。そこで、 種子の熟度を揃えることで、伝統品種の遺伝子を操作することなく、生育を安定させることに成功しました。こ れを実現できたのは高性能色彩選別機です。今回、種子選別の有効性について提案し、儲かる伝統野菜生産を確 立したいです。



愛媛県

未開発分野に知恵を!有害鳥獣捕獲を安全で快適に!

愛媛県中予地方局産業経済部産業振興課地域農業室 担当係長 西田 かおり 氏

愛媛県では、有害鳥獣の捕獲に、狩猟免許を取得した農業者が積極的に取り組んでいますが、熟練のハンタ-と違ってワナ猟中心の彼らは、技術不足はもちろん、ダニのSFTS対策、捕獲した獣の処理等、様々な課題に直 面しています。

そこで、ICTを活用した互いの情報の共有や効果的なワナの開発、簡易電殺器、ワナ猟用止め刺し器、ダニ防 護作業着、獣肉の処理方法や用具開発等の各種鳥獣被害対策の構築について、ご協力をお願いします。



講演者等紹介

長崎県

2020年東京オリンピックに向けた日本茶コンビニカフェの普及

長崎県農林部農産園芸課 技術普及班係長 渕 通則 氏 (農業革新支援専門員 (茶))

東京オリンピックに向けて和食回帰の流れがある中、国民だけでなく海外からの旅行者が気軽に温かい日本茶 を楽しめる環境をつくることで、日本茶の消費低迷を打破するとともに、後継者が誇りを持って茶業に専念する 機会を創出したいです。そのため、従来のものより品質や収量が優れる新品種を使って、コーヒーマシーンや給 茶機で一定の品質を効率よく抽出できる日本茶を開発するとともに、これら機械の改良・開発や生産・流通体制 の確立に向けて連携いただける機関を募集します。



見論宮

低コストでできる科学的な有機農業技術の開発と普及

宮崎県農政水産部営農支援課 主幹 黒木 修一 氏

低コストで科学的根拠のしっかりした有機農業技術を開発し、広く普及させたいです。対象とする作物は、茶 を含む露地作物だけでなく、施設作物全般です。病害虫対策は、微生物・天敵類だけでなく、被覆資材や機械類 など物理的防除法も活用し、認められた農薬も使用します。有機農業で使用が認めれている肥料であれば、作期・ 品目など適合するよう選択して使用します。一連の取り組みにより、品質が高く輸出にも対応できる作物生産体 制の確立に向けて連携いただける機関を募集します。



鹿児島県

牛は放して地域を繋ぐ!地域内一貫体制で生産力アップ!

鹿児島県北薩地域振興局農林水産部農政普及課出水市駐在 技術専門員 田上 美紀氏

出水は鶴の飛来地として有名で、九州新幹線の駅もあります。実は県内でも屈指の高級和牛肉の生産地域です。 個別の農家では良質堆肥を生産しているものの、堆肥の需要が少なく処理に苦慮している状況です。

そこで、堆肥を有効利用した飼料米栽培、飼料米給与技術、地域北部の冷涼な高原地帯を活用した放牧技術の 確立により、低コストで生産できる地域一貫体制を構築するとともに、地元牛を使った料理や加工品を開発して、 地域振興に取り組むため、連携いただける機関を募集します。



セミナー6

11月20日(金) 12:30▶14:00 メインステー

バイオテクノロジーが切り拓く未来 バイオテクノロジーを活用したイノベーション創出に向けて

農林水產技術会議事務局 研究企画課 技術安全室長 鈴木 富男 氏

農林水産業の成長産業化に向け、今後、国産農林水産物の「強み」を生み出す画期的な新品種の開発が重要です。 農林水産省では、現在、内閣府の「戦略的イノベーション創造プログラム(SIP) | 等を活用してゲノム編集技術等 の次世代育種システムの開発を推進しており、これら研究成果を活用して今後見込まれる新品種の開発事例を紹 介します。また、ゲノム編集技術等を用いて作出された新品種の遺伝子組換え規制上の取扱いに関する国内外の 検討情勢や、実用化に向けた今後の課題等について解説します。



ゲノム編集技術を用いた育種改良の最先端

国立大学法人筑波大学 教授 江面 浩氏

近年、ゲノム編集技術が発展し、遺伝子の一部を自在に改変できるようになったことで、病気に強くなったり、 腐りにくくなったり、甘くなったり、機能性が高まったりするなど、有用な形質をもった農作物を迅速に開発す ることが可能となってきました。トマトでは日持ち性遺伝子の研究から、その遺伝子の一部を改変することで、 大幅に日持ち性が向上し、完熟収穫しても流通・消費の過程でのロスが少ない美味しい品種を開発できる目途が 立ってきました。本講演では、このようなゲノム編集技術を使ったトマトの育種改良の事例を紹介します。



新たなカイコ産業の創出に向けて

国立研究開発法人農業生物資源研究所 瀬筒 秀樹 氏

かつて日本の経済を支えたカイコが今再び注目されています。昨年、富岡製糸場が世界遺産となり、さらに近年、 遺伝子組換え技術で光るシルクやクモ糸シルクなどの新素材が開発され注目されています。今年、MITのスプツ 二子!氏とのコラボによって光る西陣織の衣装が作られ話題となりました。また、カイコを生物工場として医薬 品や化粧品の原料を生産する方法が既に実用化されており、国産技術によるバイオ医薬品の開発にも期待が寄せ られています。本講演では、新たなカイコ産業の創出による「蚕業革命」に向けた様々な取組を紹介します。



セミナーフ

11月18日(水) 13:15▶15:15

セミナールーム B

11月19日(木) 13:40 ▶ 15:40

セミナールーム B

11月 20日(金) 14:10▶16:10 メインステージ

革新的技術緊急展開事業

産学の英知を結集した革新的な技術体系の確立に向けて ~攻めの農林水産業の実現に向けた実証研究の紹介~

発表テーマ:11月18日 園芸、果樹、水田作

寒地における革新的技術を実装した高収益施設アスパラガス経営の実証 酪農学園大学農食環境学群 教授 園田 高広 氏

寒地におけるアスパラ生産を対象に、出荷期間の拡大に向けたモミガラを燃料とする省エネ・省コスト型温水 ボイラーを用いた土中蓄熱暖房システムの構築や、フィールドサーバーシステムによるデータに基づく栽培管理 システムの構築等の実証試験の取組について紹介します。



半閉鎖型管理(SCM)による施設果菜・花き類の生産性向上技術の実証研究

国立研究開発法人農研機構 野菜茶業研究所 野菜生產技術研究領域 上席研究員 今田 成雄 氏

野菜・花き産地において、収量の伸び悩み等により、収益の向上が難しくなっている中で、大規模、先進的 経営を進めようとする法人・企業経営を行う生産者を支援すべく、CO₂施用効率を高める施設の半閉鎖型管理 (SCM)を高度環境制御により容易とし、生産力を向上させ、競争力を高めるための実証試験の取組を紹介します。



移植翌年に収穫可能なニホンナシ根圏制御栽培法による省力多収技術体系の実証

栃木県農業試験場研究開発部 果樹研究室長 大谷 義夫 氏

「幸水 | の導入から40年以上が経過し、老木化・萎縮症・土壌病害等による収量・品質の低下が深刻化してい ますが、成園化には約十年を要するため改植が困難となっています。そこで、収益性の向上による所得向上に加え、 省力化・軽労化の達成に向け、早期成園化・多収・軽労化・土壌病害等を総合的に解決できる「盛土式根圏制御 栽培法 | に、省力技術を組み合わせた高品質果実の安定生産技術体系の現地実証の取組について紹介します。



北信越地域における高性能機械の汎用利用と機械化一貫体系を基軸とした 低コスト・高収益水田輪作体系の実証

国立研究開発法人農研機構 中央農業総合研究センター 北陸農業研究監 兼 水田利用研究領域長 松村 修 氏

北信越の水田作における担い手の減少に伴う作付面積の拡大に対応するための高速でかつ高精度な作業が可能 となる機械作業体系の開発、生産コスト低減のための機械の汎用利用と作物の省力・安定多収栽培技術の確立、 経営の安定化・収益性向上のための野菜等を導入した作付体系の構築の取組を紹介します。



中山間地等条件不利地の集落営農法人における 軽労・効率的作業管理技術を核とする水田作の実証

国立研究開発法人農研機構 近畿中国四国農業研究センター 営農・環境研究領域 上席研究員 奥野 林太郎 氏

集落営農法人による中山間地等条件不利地の水田作を対象に、高畦畔率、小規模不整形圃場、高地下水位等の 様々な不利条件、収量・収益の低迷や労働力の高齢化・不足を克服する技術開発や加工適性品種の導入等による 6次産業化を通じた収益向上の取組を紹介します。



温暖地大規模水田高度輪作体系における準天頂衛星による 精密測位や無人作業機を用いた農作業の自動化・効率化に関する実証

国立研究開発法人農研機構 中央農業総合研究センター 生産体系研究領域長 大下 泰生 氏

準天頂衛星を活用した精密測位技術や、有人+無人作業機の協調作業、作物生育情報のセンシングと施肥制御 など、ICT/RT(情報通信技術/ロボット技術)を水田作の生産現場に導入し、作業の自動化や効率化を推進するた めの技術開発と実証の取組を紹介します。



発表テーマ: 11月19日 畜産、水産、地域作物、果樹

九州における飼料生産組織、TMRセンター、子牛育成センターが連携する 地域分業化大規模肉用牛繁殖経営の実証

国立研究開発法人農研機構 九州沖縄農業研究センター 畜産草地研究領域 主任研究員 服部 育男 氏

自給飼料の安定的確保、作業労働競合の軽減が急務である肉用牛繁殖経営を対象に、飼料生産の多収化、発酵 TMR原料費の削減、繁殖成績の向上、哺育育成における出荷日齢の短縮に係る技術開発を核として、生産部門 の専門化・外部化を可能とする地域肉用牛連携分業システムの開発の取組について紹介します。



ゲノム解析及び地域資源を活用した特産地鶏「長州黒かしわ」の 効率的、省力的な生産技術体系の確立

山口県農林総合技術センター 畜産技術部 家畜改良研究室 特産開発グループ 専門研究員 伊藤 直弥 氏

20種類以上の鶏の羽性遺伝子を調査し、それに基づくゲノム解析を活用した「長州黒かしわ」の簡易な雌雄鑑 別技術、水産加工品残渣等の地域資源を活用した飼料自給率50%以上の飼料を用いた「長州黒かしわ」の生産技 術体系の確立に向けた取組について紹介します。



養殖ブリ類のストレスレス水揚げシステムと 大型魚全自動高速魚体フィレ処理機開発

国立大学法人鹿児島大学 学長補佐 (社会貢献担当) かごしま COC センター長 水産学部教授 木村 郁夫 氏

日本の養殖ブリ類事業では水揚げ加工作業の非効率性に加え、鮮度維持やグローバル流通での冷凍品品質維持 に課題があります。このため、ストレスレス水揚げ・活きメシステム、全自動高速魚体処理システムや高濃度 ATP含有冷凍品の生産技術の開発を核とした、日本と世界市場において高品質で適切な価値評価が得られる養殖 魚商品の提供ができるスマート養殖魚加工事業の確立に向けた取組を紹介します。



落花生の超省力生産体系の実証

国立研究開発法人農研機構中央農業総合研究センター 作業技術研究領域長 細川 寿氏

落花生が輪作作物として支える地域畑作の発展を図る上で強く求められている落花生の機械化省力生産体系の 確立と低コスト生産の実現に向け、落花生栽培の労働時間の43%を占める収穫・乾燥・調製作業の機械化によ る落花牛の超省力牛産体系の開発・実証の取組を紹介します。



省力型樹形を基盤とする果樹の省力・軽労型生産技術体系の実証

国立研究開発法人農研機構 果樹研究所 栽培:流通利用研究領域長 別所 英男 氏

わが国の果樹栽培は、極めて長い労働時間を必要としていますが、担い手の高齢化や後継者不足が進んでいる ことから、作業の省力化による労働時間の短縮や軽労化による労働負荷の軽減が不可欠となっています。そこで 果樹の樹体ジョイント栽培等の省力樹形に自動走行車等の省力・機械化技術を組み合わせて、慣行栽培に比べて 労働時間を2割以上削減可能な栽培技術体系の確立に向けた取組を紹介します。



発表テーマ:11月20日 林業、水産、地域作物、園芸

コンテナ苗を活用した低コスト再造林技術の実証研究

国立研究開発法人森林総合研究所 植物生態研究領域長 梶本 卓也 氏

国産材の供給力増加に向け、効率的な再造林のための更新作業システム、高品質コンテナ苗の低コスト生産と 高度利用技術、下刈省略施業の適用条件解明、コンテナ苗の安定供給システムなど、地域の環境条件、林業事情 とニーズに合わせた再造林技術について紹介します。



セミスマートな二枚貝養殖技術の開発と応用

国立研究開発法人水産総合研究センター 日本海区水産研究所 資源生産部長 崎山 一孝 氏

国内外において、二枚貝類の需要は高く、輸出産業として新たな養殖産業の創出が期待されています。二枚貝 の安定生産のため、自然任せではなく養殖環境を監視する養殖環境自動監視装置や遊休施設の有効利用による低 コスト稚貝生産技術、複合養殖技術により、各海域の環境特性に対応した技術開発と普及の取組を紹介します。



海外輸出に対応できる日本茶生産体系の実証研究

国立研究開発法人農研機構 野菜茶業研究所 茶業研究領域 上席研究員 根角 厚司 氏

品種、物理的防除法および光制御技術による減農薬・高品質化栽培技術、新製茶ハイブリッドラインによる低 コストてん茶・CTC緑茶加工技術、新型揺青機など安定的香味発揚技術による高品質釜炒り茶加工技術など、新 しい栽培、加工技術による高品質で輸出ニー ズに対応できる茶生産体系について紹介します。



南西諸島地域でのきく等花き生産における新たな光源利用技術の実証研究

国立研究開発法人農研機構 花き研究所 花き研究領域 主任研究員 住友 克彦 氏

「きく類」の輸入品に対する競争力の強化に向け、「電力消費量1/10」、「化学合成農薬散布量20%削減」の達成 とニーズに対応した効率生産の導入による「収益50%増」を目指して実施している、耐候性LEDおよび平張施設 を活用したきく等の栽培実証の取組について紹介します。



レギュラトリーサイエンス研究推進計画

11月19日(木) セミナールーム C

講演者等:農林水産省消費・安全局

本年6月に策定された新たなレギュラトリーサイエンス研究推進計画を紹介するとともに、農林水産省が必要としているレギュ ラトリーサイエンスに属する研究の内容や課題等について情報提供します。

農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業 研究成果発表会 2015

11月19日(木) 10:20▶16:00 セミナールーム C 11月20日(金) 10:10▶15:40

発表テーマ: 11月19日 食品(加工、機能性)

高アミロース米のダイレクト糊化による低コスト高付加価値食品の開発

国立研究開発法人農研機構 食品総合研究所 ユニット長・上席研究員 杉山 純一 氏

自給率向上の基幹作物として、米は重要な品目であり、それを利用した加工食品の開発が様々行われています。 これら既存食品は、ほとんどが米粉を利用したものです。一方、米粉にせずに、粒のまま糊化をしてゲル(半固形状) にするという全く異なった発想で、コスト低減と加工の簡易化、高付加価値化を目標に開発されたのが高アミロー ス米のゲル転換技術(旧称:ダイレクト糊化)です。この「米ゲル」と称する食品素材の特徴から、それを用いたパン、 麺、洋菓子等、さまざまな2次加工品への応用を紹介します。



地域特産果実の真空・中高圧処理による新規迅速加工品の実用化

国立研究開発法人 農研機構 食品総合研究所 食品工学研究領域 食品高圧技術ユニット長 山本 和貴 氏

従来の熱加工果実シロップ漬は、保存性は高くても食感、風味が損なわれます。そこで、100 MPa程度の中 高圧処理を活用し、食感、風味、色調が良く、冷蔵長期保存可能な高圧加工果実シロップ漬の製造技術を開発し ました。リンゴ、ウメ、アンズ、カキ等の果実シロップ漬が、収穫期外でも冷蔵で経年供給できますので、和洋 菓子素材として、また、パフェ等のトッピング素材として、国産果実の新用途が期待されます。



農産物の有する機能性やその関与成分に関する知見の収集・評価

公益財団法人日本健康・栄養食品協会 技術参与 加藤 博氏

消費者庁の新たな機能性表示食品制度に準拠した新たな農林水産物の機能性評価システムを構築し、これまで に調査を終了した農林水産物20品目の機能性評価の中から7品目及び農林水産省平成26年度「農林水産業・食 品産業科学技術研究推進事業」の緊急対応研究課題において実施した4品のうち、2品を選定、エビデンスの高かっ た機能性に絞り、消費者庁の機能性表示食品の届出等に関するガイドラインに準拠した研究レビューについて経 過を報告します。



発表テーマ:11月19日 農業生産(花き、茶、野菜)

青色・多弁咲き・二重不稔シクラメンの実用化と 高効率バラエティ作出プログラムの開発

北興化学工業株式会社 開発研究所 審議役 寺川 輝彦 氏

遺伝子組換え技術を利用したバラ等の花きは、国内でも既に商品化されています。そこで、シクラメンの花器 官形成機構を解明し、CRES-T法を用いた遺伝子発現抑制により雄しべ、雌しべを花弁化することで、花粉が無 く花弁数が50枚以上になる青紫色の多弁咲きシクラメン新品種を開発して、生物多様性影響評価を行いました。 また、トレニアをモデル花きとして、簡便で効率的に花形質のみを改変させる花弁形質改変技術の開発を進めま した。



茶園における一酸化二窒素発生と炭素貯留を考慮した 整せん枝残さ土壌還元技術の開発

国立研究開発法人農研機構 野菜茶業研究所 主任研究員 廣野 祐平 氏

近年、整せん枝作業により土壌表面に刈り落とされた枝葉が、未分解のまま堆積した茶園が増加しています。 このような茶園では、枝葉中の成分が茶樹に再利用されない上に、施肥窒素利用効率の低下や、温室効果ガス発 生量の増加が問題となっています。本課題では、茶園土壌に堆積した枝葉を土壌と効果的に混和する技術を開発 し、さらにその土壌混和技術と効率的な施肥技術を組み合わせることで、茶の生産性の向上と、茶園からの温室 効果ガス発生量の大幅な削減が可能であることを明らかにしました。



きく生産・流通イノベーションによる国際競争力強化

国立研究開発法人農研機構 花き研究所 花き研究領域 主任研究員 久松 完氏

花き類の生産・流通場面においては国際化が急速に進行しており、海外産品の品質向上、安定供給体制の整備 を背景に輸入増加が続いています。国内消費の場面では、人口構成、景気の動向、ライフスタイルの変化等によ り花の需要にも変化が起こることが予想されます。そこで、きく類を対象に実需者ニーズとのマッチングを図り、 国内での安定効率生産・流通を目指した取り組み事例を紹介し、今後の方策について提案します。



CO。長期・長時間施用を核とした環境制御技術を開発し 東海の園芸産地を活性化する

国立研究開発法人農研機構 野菜茶業研究所 上席研究員 岩崎 泰永 氏

施設園芸の生産現場では、ハウス内の環境制御技術についての関心と期待がとても大きくなっています。しか し、国内ではハウス内の環境制御に関する事例や実績がまだまだ少なく、ノウハウの蓄積が不十分です。そこで、 東海地域の研究機関や民間企業が協力して、収益を向上する効果の高いCO。施用技術の確立に取り組みました。 本発表ではそれらの成果の一端をできるだけわかりやすく紹介します。



東北・北陸地域における新作型開発によるタマネギの端境期生産体系の確立

国立研究開発法人農研機構 東北農業研究センター 上席研究員 山崎 篤氏

東北・北陸地域におけるタマネギの新しい作型を開発しました。これらの地域では、積雪・低温などの要因で 慣行の秋まき栽培の生産性が非常に低く栽培面積も僅少で、地場の需要を満たすことができていません。そこで、 越冬をしない春まきの作型を東北・北陸向けに開発し、これら地域におけるタマネギの生産性向上を目指しまし た。播種を2月に、定植を4月に行うことで7~8月に収穫が可能であり、加工・業務用の端境期である時期に 出荷できること、在圃期間が3か月と短く輪作体系が組めることなどの利点が得られます。



中小規模園芸ハウスを対象とした複合エコ環境制御技術の確立

国立大学法人 高知大学農学部 准教授 宮内 樹代史 氏

太陽熱を活用したハウス暖冷房システム、局所加温システム利用技術、半閉鎖環境下での炭酸ガス施用技術、 の3つを組み合せた"複合エコ環境制御技術"の構築を試みました。その結果、昼間のハウス内余剰熱を効率的に 蓄える現場対応型ヒートポンプシステムの開発、低温性作物(イチゴ)における6割程度のエネルギーコスト削減、 炭酸ガス施用による増収効果の成果を得ました。さらに、開発技術を導入した現地実証試験を行い、普及に向け た課題点を明らかにしました。



- 発表テーマ: 11月19日 病害虫(果樹、野菜)

キウイフルーツの新系統かいよう病に対応した診断技術、対処方法の開発

愛媛県農林水産研究所果樹研究センター 病理昆虫室長 清水 伸一 氏

2014年5月、海外のキウイフルーツ産地で問題となっているかいよう病「Psa3系統」が国内で初確認されました。これを受け、国内外での防除技術の情報収集等を行い、多量・迅速診断技術の開発を行うとともに、本病の拡散や被害軽減のための暫定的な技術情報としてマニュアルやパンフレットを取りまとめ、生産者等へ提供しました。現在、関係機関が連携して、より効果の高いかいよう病の防除技術確立を目指して技術開発を行っています。



臭化メチル剤から完全に脱却した産地適合型栽培マニュアルの開発

国立研究開発法人農研機構 中央農業総合研究センター 上席研究員 津田 新哉 氏

土壌病害虫防除に卓効を示した臭化メチル剤は国連により地球のオゾン層破壊物質に指定され、我が国では2012年末に姿を消しました。本剤の使用を前提に栽培していたキュウリ、メロン、トウガラシ類およびショウガの生産は窮地に立たされました。臭化メチル剤を使用しなくてもそれらの作物を安定生産するために、新たな技術を開発し産地に適応した栽培マニュアルに仕上げました。現在、全国産地の生産者の皆様に技術講習会等を通してその情報をお届けしています。



非虫媒ウイルス接種苗を利用した トマト黄化葉巻病の新規防除・蔓延防止技術の実用化

国立大学法人宇都宮大学農学部 教授 夏秋 知英氏

トマト黄化葉巻病は近年のトマトの最重要病害で、病原のトマト黄化葉巻ウイルス(TYLCV)はタバココナジラミで伝搬し、感染トマトは黄化して生長が止まり減収となります。本病は世界的にも重要なエマージング病ですが、抵抗性品種はなく、実用化された耐性品種はウイルスが増殖して逆に伝染源になることが指摘されています。そこで本研究では、世界で初めて「タバココナジラミによって伝染されないトマト黄化葉巻ウイルス」を利用する新しい生物的防除法を開発しました。



「ウリ科野菜ホモプシス根腐病被害回避マニュアル」に基づいた 予防的な防除体系の実証

国立研究開発法人農研機構 東北農業研究センター 主任研究員 永坂 厚氏

東北地域ではウリ科野菜ホモプシス根腐病がキュウリを中心に5県51市町村まで拡大し、栽培上の問題となっています。加えて、現在被害が生じていないものの病原菌が侵入している潜在的汚染圃場が広範に確認され、産地では更なる被害拡大が懸念されました。そこで、2013年に発表した「ウリ科野菜ホモプシス根腐病被害回避マニュアル」に基づき、緊急に土壌遺伝子検査等による広域的な圃場診断を実施するとともに、その結果に基づき予防的対策の実践を行い、マニュアルの改善点を「追補版」として取りまとめたので紹介します。



発表テーマ:11月20日 防災(水利、海岸林)、鳥獣害対策

沿岸域における効率的な深層地下水探査手法の開発

国立研究開発法人農研機構 農村工学研究所 上席研究員 中里 裕臣 氏

農研機構、早稲田大学、株式会社日本地下探査は、電磁探査法の高能率化とノイズ処理の高度化等により、これまで計測が難しかった沿岸地域の地下水の塩分濃度を短時間で調査できる技術を開発しました。

開発技術により、津波や高潮などにより地下水に海水が浸入した際の営農再開や除塩のための代替水源の確保や、深層地下水の水源調査を短時間かつ低コストで行うことができます。



農業用パイプラインの長寿命化・耐震対策技術の開発

国立研究開発法人農研機構 農村工学研究所 主任研究員 有吉 充氏

経年劣化や地震による液状化等により農業用パイプラインの破損事故が発生しています。パイプラインの破損は、営農活動に支障を来たすだけでなく、交通障害などの二次被害を引き起こす場合もあるため、未然に事故を防止することが重要です。そこで、本研究では、パイプラインとして広く利用されているFRPM管を対象に、長期性能の解明を行い、ひずみを計測して安全性を定量的に評価する手法を開発しました。また、グラウトを用いて、液状化によるパイプの浮上を防止する工法などを開発しました。さらに、パイプの基礎材料の液状化判定や既設管の存在を考慮した更生管の設計手法に関する研究を行いました。



津波被害軽減効果の高い海岸防災林造成技術の開発

国立研究開発法人森林総合研究所東北支所 地域研究監 坂本 知己 氏

東日本大震災では、海岸林も津波によって消滅などの甚大な被害を受けました。被災地復興のために海岸林の 各種防災機能や保健休養機能を取り戻すにあたって、単なる海岸林の再造成ではなく津波に対して強く効果的で あることが求められています。そこで、海岸林再生を技術面から支援するために、数値シミュレーションに基づ いた目標林型と、それへの誘導法を明らかにし、海岸林の造成、維持管理の現場で使用できる冊子にとりまとめ ました。



センサーわなのネットワーク化による野生動物捕獲システムの開発

(株) 野生鳥獣対策連携センター 取締役 阿部 豪氏

シカ、イノシシ等を効率的に捕獲する装置を紹介します。この装置は、赤外線センサーからの入力データを分 析し、電子制御により、最も効果的なタイミングで捕獲を実行する装置です。特に、今回の開発では、個別のわ なの捕獲効率を向上させるだけでなく、ネットワークで情報を共有することで、地域全体の捕獲効率の向上を目 指すシステムを考案しました。これにより複数のわなの運用状況も容易に把握し、管理できます。



発表テーマ:11月20日 林業(きのこ、防除)・水産(急潮予測、養殖)

高精度資源情報を活用した森林経営計画策定支援システムの構築と検証

国立大学法人岐阜大学・流域圏科学研究センター 教授 粟屋 善雄 氏

デジタル空中写真などの高精度リモートセンシングによる精密森林情報図(森林タイプ、材積分布)の作成技術 を開発し、これと地盤高データ(DTM)を活用してGISによる経営計画策定支援システムを提案しました。同シス テムでは施業コスト試算などの支援ツールを整備しました。精密DTMにより路網設計の精度が向上し、精密森 林情報図によって間伐対象林分を正確に把握して、実効性の高い森林計画を策定することが可能になりました。



地域バイオマス利用によるきのこの増殖と森林空間の活性化技術の開発

長野県林業総合センター 特産部長 増野 和彦氏

長野県内の「カラマツ間伐手遅れ林分」を対象として、きのこによる森林の活性化及び森林空間の有効利用法の 開発に取り組みました。その結果、カラマツ間伐材を利用したクリタケ・ナメコの栽培技術を実証し、カラマツ 材に適したクリタケ菌株を選抜しました。また、ハナイグチ増産のため、カラマツ林における発生環境の整備技 術を開発しました。さらに、ホンシメジ・シャカシメジ菌根苗の林地定着技術を開発しました。これらは、自然 味に溢れたきのこ生産・森林所有者の意欲の向上に寄与します。



広葉樹資源の有効利用を目指したナラ枯れの低コスト防除技術の開発

国立研究開発法人森林総合研究所森林昆虫研究領域昆虫管理研究室長 所雅彦氏

近年日本全国に被害が広がっており、法定森林病虫害等であるカシノナガキクイムシが媒介するナラ枯れに対 して、我々がこれまでに取り組んできた防除対策としての殺菌剤の樹幹注入法及びおとり丸太法を、さらに高度 化した方法、殺菌剤微量注入法と大量集積型おとり丸太法、等を紹介します。さらに被害状況を現場よりリアル タイムにハザードマップに反映させて、速やかに行政の総合的な防除計画の策定に利用できるシステムの開発に ついて紹介します。



日本海沿岸域におけるリアルタイム急潮予測システムの開発

国立研究開発法人水産総合研究センター 研究開発コーディネーター 渡邊 達郎 氏

日本沿岸では、急潮(きゅうちょう)と呼ばれる突発的な強い潮の流れが発生することがあります。2004年の 台風15号に伴う急潮により、日本海沿岸域では180ヶ所以上の定置網が破壊され、甚大な被害が発生しました。 そこで、急潮の実態を把握すると共に、数値シミュレーションモデルを用いた急潮予測手法を開発し、それらの 情報をインターネットでリアルタイムに広く配信するシステムを構築しました。漁業被害の軽減や海上安全に貢 献しています。



地域特産化をめざした二枚貝垂下養殖システムの開発

国立研究開発法人水産総合研究センター 増養殖研究所 養殖システム部長 日向野 純也 氏

日本のアサリ漁業は生産量の減少により逼迫し、また輸入物が市場に多く出回る状況にあり、国産アサリを増 やすためにホタテやカキのような垂下養殖を導入する意義が増しています。本課題では、アサリの養殖用種苗の 確保のために網袋を用いた天然採苗手法や人工種苗育成法を開発すると共に垂下養殖の容器・基質および養殖施 設の改良を行いました。これらの技術により、地元で採苗し養殖した地域特産品としてアサリを生産するシステ ムを開発しましたので、養殖業者による販売までの実践例も交えて紹介します。



発表テーマ:11月20日 畜産(飼料、バイオマス、ゲノム)

南西諸島の飼料自給率を高める 飼料用サトウキビとエコフィードTMRの利用技術の確立

国立研究開発法人農研機構 九州沖縄農業研究センター 主任研究員 服部 育男 氏

南西諸島の肉用子牛牛産は、全国の13%を占め、サトウキビと並ぶ基幹産業ですが、飼料牛産基盤が脆弱で、 輸入飼料への依存度が高いという課題があります。そこで、飼料用に新たに育成されたサトウキビ品種を安定的 に多収栽培し、エコフィード(食品残渣)と組み合わせた発酵TMR(混合飼料)に調製し給与する技術の確立に取 り組みました。本事業で開発された飼料用サトウキビの栽培方法やエサとしての利用方法、普及の現状について 紹介します。



南西諸島における家畜糞尿を核とした地域バイオマス利活用モデルの構築

国立研究開発法人農研機構 九州沖縄農業研究センター 上席研究員 田中 章浩氏

南西諸島の基幹作物であるサトウキビは、有機物の施用不足等により収量が著しく低下し問題となっています。 また、畜産では副資材不足から堆肥化が進まない中、浄化処理の暫定排水基準の設定期限等からメタン発酵処理 の必要性が高まっています。そこで、サトウキビ用の堆肥生産やメタン発酵消化液の臭気対策・散布技術を開発し、 サトウキビ等の減化学肥料栽培を沖縄県金武町で実証しました。これらの成果をまとめて、地域バイオマス利活 用マニュアルVer.1「沖縄本島北部・金武町版 | を発行しました。



豚下痢性コロナウイルスの全ゲノム解析ならびに検査法の確立

国立研究開発法人農研機構動物衛生研究所主任研究員 大橋誠一氏

養豚産業の安定的な生産のために伝染病対策は必須です。平成25~26年にかけて、ウイルス性の伝染病であ る豚流行性下痢が全国で大流行し、約49万頭の子豚が死亡するという甚大な被害をもたらしました。本課題で は原因ウイルスの全ゲノム解析を実施し、今回の流行ウイルスの侵入経路を推定するとともに、新たに見つかっ た豚下痢ウイルスの検査法を確立し、専門検査機関への普及も行いました。これらの成果は今後の本病の対策向 上に貢献します。



食肉中放射性セシウムのと畜前推定技術の検証と放射性物質の動態

国立大学法人東北大学大学院農学研究科 教授 磯貝 恵美子 氏

我々は福島原発20km圏内(旧警戒区域内)の安楽死処分牛において、放射性セシウムが筋肉に蓄積しやすいこ とや血液と相関があることを報告してきました。このデータに基づき信頼性の高いと畜前推定技術として高線量 だけでなく低線量領域を含む血液からの推定プログラムを作成しました。放射性Csは経口的に取り込まれ、清 浄飼料切り替えによって体内から排出されました。被災家畜において生殖器等における異常や継世代影響は認め られませんでした。



ウシのバイオバンク創設と最先端ゲノム解析戦略による子牛虚弱発生防止の実用化

公益社団法人畜産技術協会 附属動物遺伝研究所 所長 杉本 喜憲 氏

和牛の子牛生産性を低下させている虚弱子牛症候群(WCS)の発生による年間損害額は50-100億円と推定さ ます。我々は和牛のバイオバンクを創設し、WCS症例について遺伝的な要因を解析しました。既知のイソロイ シルtRNA合成酵素(IARS)異常症はWCSの1/4を占め、その2倍に相当する胚性致死という隠れた損害が認めら れました。SNPマッピングによる家系解析と次世代シーケンシング/エクソーム解析により、新規のWCS因子で あるNOL6の変異を見出しました。NOL6などの不良因子をコントロールすることで、子牛生産性が向上し、生 産コストの減少で高級牛肉の価格の低下が期待できます。



彰 表

11月 18日 (水) 12:50 ▶ 15:00 │ メインステージ

1 平成27年度(第16回)民間部門農林水産研究開発功績者表彰

農林水産業その他関連産業に関する研究開発に関して優れた功績をあげた民間企業や農林漁業者に対して、農林水産大臣賞、 農林水産技術会議会長賞、JATAFF会長賞を授与するとともに、農林水産大臣賞受賞者による受賞講演を実施します。

【農林水産大臣賞】

遺伝子組換えカイコを用いたヒト及び動物の診断薬の開発

山下 隼・寺田 崇 (ニットーボーメディカル株式会社 研究開発部)

遺伝子組換えカイコを用いることで、これまで供給が困難であった体外診断用医薬品の原料である夕 ンパク質を製造する方法を開発しました。これにより、大量に原料を精製し、臨床現場に高品質な製品 を安定供給することが可能になりました。





マハタのウイルス病ワクチンの開発

黒田 丹 (日生研株式会社)

次世代の高級養殖魚マハタにおいて致死率の高いウイルス性神経壊死症の被害が問題化し、対策として本病に対 するワクチンの開発に取り組み、実用化に成功しました。本ワクチンによりマハタ養殖の生産性が向上し、マハタ のブランド化を図る地域産業の活性化に貢献しました。



倍数体育種技術を活用したリンドウ新品種の育成

瀬戸 堯穂・瀬戸 啓一郎 (有限会社スカイブルー・セト)

倍数体育種技術を活用して、花が大きく日持ちが良いという優れた特質を持っているリンドウの3倍 体品種の育成に世界で初めて成功しました。また、観賞性に優れた品種も多数育成し、国内の花き市場 の拡大とリンドウ産地の育成に貢献しました。





【農林水産技術会議会長賞】(民間企業部門)

簡単に施工できる穿孔暗渠機「カットドレーン」の開発

後藤 幸輝 (株式会社北海コーキ)

トラクターに装着して走行するだけで、農家自らが、資材を使用せず簡単・迅速に、深さ70cmまでの位置に暗 渠となる通水空洞を作ることができる穿孔暗渠機「カットドレーン」を開発・商品化しました。



牧草サイレージ不良発酵原因の解明とサイレージ用乳酸菌の開発

北村 亨 (雪印種苗株式会社 微生物研究グループ)

北海道の高水分牧草サイレージにおける不良発酵の原因が、草地の植生の悪化と堆厩肥などの過剰施用であるこ とを明らかにしました。さらに、こうした条件でも効果を発揮するサイレージ用乳酸菌の開発に成功し、不良発酵 の改善に貢献しました。



森林資源を利用したフルボ酸量産化技術の開発

田中 賢治・森 千夏 (国土防災技術株式会社)

水域や土壌中に微量に含まれるフルボ酸は、有限資源からの抽出物であることから大変高価で貴重な ものとなっていました。森林を間伐した時に産出される木質チップと木炭の生産過程で産出される有機 酸を利用して、人工的にフルボ酸を高純度で量産化することに成功しました。





スターチス・シネンシス「キノシリーズ」の品種開発

吉田 豊・村岡 孝徳・藤井 崇治・寺本 沙織 (福花園種苗株式会社)

藤田 和義 (元福花園種苗株式会社)

スターチス・シネンシスは開花に低温を必要とし、従来秋定植で 初夏に採花していましたが、春に定植しても開花する「キノシリー ズ」を育成しました。また、苗に人工的に低温処理することにより 冬期の栽培も可能で、周年切り花生産が実現しました。











【農林水産技術会議会長賞】(農林漁業者部門)

グロリオサの新品種育成と地域ブランドの開発

中島 義幸 (農業自営)

新規花き「グロリオサ」に注目し、高知市三里地区の栽培に適した市場性の高い優良品種を開発するとともに、グ ロリオサを三里のブランド品目に育成しました。さらに、これらの品種は、日本花きの世界的な評価を高めること に貢献しました。



【公益社団法人農林水産・食品産業技術振興協会会長賞】 温泉水と温泉熱を用いた完全循環閉鎖型トラフグ養殖システムの開発 野口 勝明 (株式会社夢創造)

塩化物温泉水(低塩分+温泉熱)を活用した完全循環閉鎖型養殖システムを開発し、生産経費の削減を図り、海な し栃木県の山間部において海産魚種「トラフグ」養殖の事業化に成功しました。現在、全国の温泉地6か所で本技術 が導入されています。



アカバネウイルス新規製造用株を用いた 牛異常産三種混合不活化ワクチンの開発

小林 貴彦・長野 史郎・宮原 徳治 (一般財団法人化学及血清療法研究所)

牛の流産、早産、死産や子牛の先天異常を起こすアカバネ病に対するワクチンとして、 従来のワクチン株に比べて抗原性が異なる株にも有効な新規製造用株を選出して、動物用 医薬品として実用化しました。







厳冬期でも凍結しない環境配慮型車両消毒装置の開発 内海 洋・山田 幸雄・関村 徹 (株式会社アクト)

田中 一郎 (元帯広畜産大学 (現:帯広信用金庫))

今まで厳冬期は凍結のため効果的な車両の消毒方法がありませんでした。開 発した製品には特殊なバルブを用いて-30℃でも必要な時に瞬時に作動して 車両の隅々まで消毒可能で、排水は浄化処理を行うことにより環境にも配慮し た装置です。









2 平成27年度(第11回)若手農林水産研究者表彰

農林水産業その他関連産業に関する研究開発に関して優れた功績をあげた若手研究者に対して、農林水産技術会議会長賞を授 与するとともに、受賞者による受賞講演を実施します。

気候変動と魚種交替をつなぐ生物学的メカニズムに関する研究

高須賀 明典 (国立研究開発法人水産総合研究センター中央水産研究所)

気候変動に伴ってカタクチイワシとマイワシの間で優占魚種が入れ替わる「魚種交替」現象の生物学的メカニズム の解明に独自の視点から取り組みました。魚種間での水温特性の違いに着目した「成長速度最適水温」仮説の提唱、 太平洋を越えた異なる海流域間での産卵特性の比較等により、環境に対する応答は海流域ごとに魚種特有であるこ とを示しました。



分光イメージングによる食品の品質評価技術の開発と実用化

蔦 瑞樹(国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構食品総合研究所)

膨大な情報量を特徴とする蛍光指紋及びそれを画像計測に拡張する分光イメージング手法の開発に挑戦し、マン ゴーの産地判別や食肉表面における微生物汚染の可視化に成功しました。また、実用化に向けて計測方式の簡易化 手法を新たに考案して特許出願したほか、一連の技術を応用した「もち米の胴割れ透視器」が市販されています。



森林内放射性セシウムの時空間変動モデリングに関する研究

橋本 昌司 (国立研究開発法人森林総合研究所)

チェルノブイリ事故後に開発された森林牛熊系放射性物質動態予測モデルを、福島の森林で得られた地ト観測 データと航空機モニタリングによる広域沈着量データなどの地理情報(GIS)データと組み合わせ、森林内での放射 性セシウムの分布の時間的空間的変化を広域で予測しました。



植木類輸出促進に向けた病害虫の防除手法開発に関する研究

山田(武田)藍(千葉県農林総合研究センター)

植木・盆栽類の輸出を妨げる病害虫の防除法を確立しました。検疫において輸出の阻害要因となるオオハリセン チュウの防除法を開発し、輸出の停滞リスクを大きく下げることに貢献しました。また、県内で初確認されたイヌ マキの害虫ケブカトラカミキリの発生予測法等を開発し、防除期間の短縮等、植木生産の安定化に寄与しました。



主要花きの老化機構の解明と品質保持技術の開発

湯本 弘子 (国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構花き研究所)

トルコギキョウ、リンドウ、ダリア切り花において、各品目の老化生理に基づき有効な品質保持技術を開発しま した。これらの成果は、民間企業による品質保持剤の開発および産地での品質保持剤の利用につながり、流通過程 での切り花の日持ち向上に貢献しました。



食べて応援しよう! 特別企画1

■ 11 月 18 日(水)~ 20 日(金) 10:00 ▶ 16:00 │ 食料生産地域再生のための先端技術展開事業ブース内

新たな加工品の試食ができます!

食料生産地域再生のための先端技術展開事業では、東日本大震災の被災地で行われている様々な実証研究の対象となっている 農産物や水産物等をご紹介するとともに、その研究成果である加工品について試食を行っていただきます。

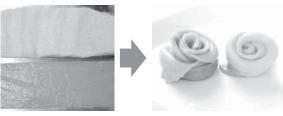
以下に、試食品の一部をご案内します。

未・低利用魚のすり身から作製した 「魚肉ゼリー」や「魚肉シート」を開発しました。





(魚肉ゼリーとサメ肉の入ったドレッシングの調理品)



(魚肉シートを花の形に成形した調理品)

サメ肉のアンモニア臭を抑制する加工技術を開発しました。





(アンモニア臭を抑制した半調理サメ肉とその角煮)



(サメ肉の干物)

特別企画2 大学はおいしい

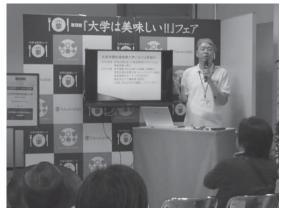
11月 18日(水)~20日(金) 10:00▶17:00 大学は美味しいブース内

『大学は美味しい!!』とは、"論文の代わりに製品で「食」の研究成果を伝える"ことをテーマに、全国の大学に まつわる研究成果を一同に集めています。今回、アグリビジネス創出フェア2015にて、販売(試食試飲)を行い ます。大学教授や学生たちの熱き想いを、是非味わってください。





筑波大学「ライスミルク|



共愛学園前橋国際大学「上州つけ麺」



三重大学「三重大学カレー」



千葉大学「千葉らぁ麺ごはん」



玉川大学「たまがわはちみつ」



信州大学「えのきパイ」

※当日は、チラシ掲載以外にも大 学発の食品が多数出品予定です。 ぜひ、大学発の食品の魅力を味 わいにきてください!



今年5月に開催された 「第8回『大学は美味しい!!』 フェア」の様子

※写真はすべてイメージです。

掲載内容の解説 (出展アピールポイント) (出展者・共同研究機関名 展示ゾーン・小間番号 研究開発段階アイコン 新品種●●●●の能力と機能性を利用した 環境問題、飼料、食品・医薬品応用の総合的技術の紹介 実用化・事業化段階の 技術や製品モデル等 研究開発プロジェクトや 開発途上技術を紹介する展示 ●●県●●●センター 00日(金) 15:00~15:15/15:15~15:30 研究・技術プレゼンテーション(会場/日時) ●お問合先: TEL. 03-3533-5223 FAX. 03-5548-2838 E-mail. agribiz-ex@fujiva-net.co.jp 問い合わせ先 http://agribiz-fair.jp/ 実演 あり 試飲・試食 あり 出展内容/実物展示・実演(試食)※「あり」or「なし」 ●●大学との共同研究の成果である新品種●●●●の●●●●能力の実証を発表し、この研究成果を利用して●●●●システムを提案します。 これらの研究成果を基に、地球環境問題や農業畜産業界、飼料や医薬品への応用について具体的にご提案ご説明を行ないます。 濃いグレーで表示されているものが、 希望している内容です。 マッチング目的 改良点を 把握するため 共同研究相手を みつけるため 製品化のため 【マッチング希望】 新品種●●●●の能力と機能性について、研究して下さる研究機関と、これまでの研究成果をもとに実証実験及び応用をして下さるところの産業界の方々とのお打合せを要望しています。



日本の野菜や花を新鮮なまま 環境負荷の小さな方式で、世界にお届けする!

技術の移転先を

みつけるため

マッチング希望内容

生 01

情報交換

(学)東京理科大学

研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA

11月18日(水) 12:00~12:15

資金提供元を みつけるため

●お問合先: TEL. 03-5228-7440 FAX. 03-5228-7441 〒162-8601 東京都新宿区神楽坂一丁目3 OURI: http://www.tus.ac.jp/

【出展内容】

サプライチェーン全体で農産物の新鮮さのリアルタイム解析・管理技術を開発し新鮮さを「見え る化」します。

①フードロス削減、環境調和、省エネの農業生産サプライチェーン熟練農家の目に替わる植物生 音管理

②能動学習型画像解析ソフト近赤外光バイオイメージング病害に対する植物免疫力の亢進植物 の香りコミュニケー ③アグリ・アロマ植物

【マッチング希望】







東京理科大学は多様な理丁学シーズを提供し、アグリビジネスにご 本いたピイスチルタマ球のほエチンー人で症状し、アンリニンイスにご 関心の高い企業様、農業法人様と農産学連携を進めて、生産、集荷、 輸送のサブライチェーン全体を通した鮮度維持管理、フードロス削減、トータルエネルギー・コスト削減、CO2排出量削減などを実現し、 サポックギンニチャル・ディー 農業の革新に貢献します。

食料・生活資材の安定供給、生物生存環境の保全、 人類の健康と福祉への貢献を目指した研究の紹介 生 02

(国)九州大学農学研究院

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB

11月19日(木) 12:25~12:40

〒812-8581 福岡県福岡市東区箱崎6-10-1 ●所在地: OURL: http://www.agr.kvushu-u.ac.ip/

【出展内容】

試飲・試食

九州大学で行っている3つの研究を紹介します。

- ●有用きのこセミタケ冬虫夏草 (Ophiocordyceps sobolifera)の新規栽培法と健康食品開発 ●九州大学ブランドビーフ「Q Beef」:ウシの体質制御と国内植物資源をフルに活用した革新的 牛肉生産システムの構築
- ●情報化農業支援システム 「Agri-eye」 および関連技術・製品の展示等

養蜂業にIoTと人工知能を適用し 生産性とトレーサビリティーを革新します。

生 03

(株)アドダイス・はつはな果蜂園



研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA

11月18日(水) 14:05~14:20

●お問合先: TEL. 03-6796-7788 FAX. 03-6796-7755

〒110-0005 東京都台東区上野5丁目4番2号 IT秋葉原ビル1階 ●所在地:

OURI: http://www.ad-dice.com/

あ り 試飲・試食

養蜂業にIoT人工知能を適用し、生産性を高めるソリューションの開発ベンチャーです。巣箱にセ ンサーを取付け管理用のスマホアプリと連携し巣箱を適切に管理し、①生産性と管理品質を向上し、②生産履歴を消費者と共有します。センサーデバイスを取り付けた養蜂用の巣箱、管理アプ リ、システムを利用して採取した蜂蜜を展示します。

【マッチング希望】



研究の進展、実用化に向けてのマッチングを希望しています。

【マッチング希望】



既存養蜂家、養蜂への新規参入者、地域振興のために地域特産品を 創出したい地方公共団体ないし地方企業による導入の商談をお待ち しています。また本システムにより生産されたビュアでブレンドされていないワインのように楽しめる蜂蜜の取扱いを希望される小売関 係者の方との商談をお待ちしています。

生 05

生 07

光

展示など最新の農業機械化技術をご紹介

中山間地用水田栽培管理ビークル、小水力発電用除塵装置の

(研)農研機構 生物系特定産業技術研究支援センタ

三菱農機(株)/(株)山本製作所/ヤンマーグリーンシステム(株)/

研究機関 みのる産業(株)/(株)やまびこ/日本エンヂニア(株) プレゼンテーション

●セミナールームA 11月20日(金) 11:10~11:25

●お問合先: TEL. 048-654-7030 FAX. 048-654-7130 ●所在地: 〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2 OURL: http://www.naro.affrc.go.ip/brain/index.html

【出展内容】

農研機構生研センター (農業機械化研究所)が開発した最新の農業機械化技術のうち、高能率水 福等種子消毒装置やイチゴバック詰めロボット、また、歩行用トラクタの事故防止に向けた実態調査など、開発機や調査研究の成果をパネルや動画でご紹介します。さらに、中山間地用水田栽培 管理ビークルの実機と小水力発電用除塵装置の模型を展示します。

【マッチング希望】





マグロ・ウナギだけではありません!

(研)水産総合研究センター

http://www.fra.affrc.go.jp/



水産業の未来を"科学"し、新たな産業の創出にも貢献します

●メインステージ

●お問合先: TEL. 045-227-2693 FAX. 045-227-2704

農業生産者、農業普及・指導者はもちろん、「イチゴパック詰めロボッ ト)は生産法人等と、また「中山間地用水田栽培管理ビークル」「高能率水稲等種子消毒装置」「エアアシスト式静電防除機」は製造・販売を希望する企業等と、さらに「小水力発電除塵装置」は自治体や NPO法人等との連携を考えています。

【マッチング希望】

●所在地: OURL:

【出展内容】







本研究で実証された新技術のうち、「草地管理支援システム」、「アフ トラップ」、「牛血液成分測定装置」は公共牧場関係や家畜衛生関係 機関での利活用を、「家畜飲水自動供給システム」や「新型牧柵」は 実用化を進め、畜産農家などに広く技術を移転することを目指しま

宮城県が開発した新たな農産物の品種や畜種 津波被災地における先端技術の実証試験の紹介

広大な草地の効率的管理技術、耕作放棄地放牧推進技術等に

より、畜産農家の生産性を向上させます

水自動供給システムや壊れにくい電気柵を展示します。

公共牧場・繁殖農家支援研究チーム

(代表機関:農研機構畜産草地研究所)

〒329-2793 栃木県那須塩原市千本松 768

http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/index.html

実演あり

畜産農家の収益性拡大に向けて、公共牧場等の広大な草地の管理を効率化する草地管理支援シ

ステム、放牧家畜の疾病発症リスクを低減化するアブトラップや迅速・簡便な牛血液成分測定装置を展示します。さらに、耕作放棄地放牧の取り組みを推進する新たな技術として、放牧家畜飲

●お問合先: TEL. 0287-36-0111 FAX. 0287-36-6629

生06

生 04

宮城県農業·園芸総合研究所



研究機関

宮城県古川農業試験場/宮城県畜産試験場

●お問合先: TEL, 022-383-8118 FAX, 022-383-9907 〒981-1243 宮城県名取市高舘川上字東金剛寺1 OURL: http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/res_center/

【出展内容】

試飲·試食 あり

1)食料生産地域再生のための先端技術展開事業関連の実証研究の概要について 土地利用型、施設園芸、露地園芸、及び果樹等の実証研究について紹介します。

2)みやぎの新たな品種や技術、種畜などについて 水稲・大豆の新品種、みやぎオリジナル品種のイチゴやリンゴ、西洋野菜、新たな栽培技術、種 雄牛や仙台牛等の畜種を紹介します。

【出展内容】

OURI:

試飲・試食 あり ・垂下式アサリ養殖の開発:産地が旧確で簡便な養殖方法による美味しいアサリの生産

11月19日(木) 15:40~16:10

〒220-6115 神奈川県横浜市西区みなとみらい2-3-3 クイーンズタワー B 15階

・ロボット漁船の自動操縦システム: 安全と省エネを両立する自律型自動操縦システムの確立 高鮮度イカ供給システムの開発:シャーベット氷による高鮮度技術と生産品の流通・販売

·高栄養餌料用微細藻類の保存と活用:有用海産微細藻類の特徴と用途、その保存及び配布

【マッチング希望】



1) 先端技術展開事業関連の実証技術の普及拡大

2)みやぎの新たな品種や技術、種畜などの普及拡大と実需との結 びつきと利用拡大

【マッチング希望】



研究・技術

プレゼンテーション

水産分野の研究開発について、基礎から応用実証まで行う我が国唯 一の総合的研究機関として、水産基本法に掲げられている「水産物 の安定供給の確保」と「水産業の健全な発展」という2つの基本理念 の実現に向けて、関係機関と水産業が抱える課題解決のために研究 開発を通じて貢献していきます。



生 08

研究者シーズを紹介 (独)国立高等専門学校機構①



井同 研究機関

共同出展機関:高専機構「一関高専・富山高専・奈良高専・大島高専」

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA

11月19日(木) 12:00~12:20

●お問合先: TEL, 03-4212-6705 FAX, 03-4212-6820

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター10階 ●所在地:

OURI: http://www.kosen-k.go.ip/



あり

全国51校の国立高等専門学校(高専=KOSEN)が設置されており、高専の強みを活かした様々 な分野の研究を進めています。今回、「水草・海藻とマイクロバブルの共生と排熱利用」「アルキメディアン・スクリューを有する水田用自律中耕除草ロボット」「農業環境センシングロボット」、「仔 魚飼育水槽内の流れ制御」を紹介します。

【マッチング希望】









農水、食品関係のシーズについて、開発段階〜実用化段階と、異なる 研究ステージを紹介します。共同研究、技術移転先を見つけ、製品化 に繋げて行きたいと考えています。

全国高専から農林水産・食品分野に関わる高専・学科の 研究者シーズを紹介

生 08

(独)国立高等専門学校機構②



井同 研究機関

共同出展:高専機構「苫小牧高専·長岡高専·小山高専·徳山高専」

●お問合先: TEL, 03-4212-6705 FAX, 03-4212-6820

〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター10階 ●所在地:

http://www.kosen-k.go.jp/

【出展内容】



あり

全国51校の国立高等専門学校(高専=KOSEN)が設置されており、高専の強みを活かした様々 な分野の研究を進めています。今回、「ホッキ貝からの魚醤油開発と商品化」 「玄米の湿熱処理による高付加価値化」 「発酵食品の開発と小山高専オリジナルブランド化推進」 「水耕栽培技術と新 開発の植物保護剤」を紹介します。

【マッチング希望】







農水、食品関係のシーズについて、開発段階~実用化段階と、異なる 研究ステージを紹介します。共同研究、技術移転先を見つけ、製品化 に繋げて行きたいと考えています。

全国高専から農業ICTに関わる高専・学科の 研究者シーズを紹介

生 08

(独)国立高等専門学校機構③



^{☆に} 研究機関 <mark>共同出展:高専機構「高専版 農業ICT普及プロジェクト」</mark>

プレゼンテーション

●セミナールームA

11月19日(木) 12:20~12:40

●お問合先: TEL. 03-4212-6705 FAX. 03-4212-6820

●所在地: 〒101-0003 東京都千代田区一ツ橋2丁目1番2号 学術総合センター10階

OURL: http://www.kosen-k.go.ip/

【出展内容】

実演 あり

全国に、51校の国立高等専門学校(高専=KOSEN)が設置されており、高専の強みを活かした 様々な分野の研究を進めています。高専版低価格なセンサーとして、簡易ウェザーステーショ 3次元計測カメラシステム、作業情報センサーの試作品を実物展示し、全国15ヶ所での実証試験 の様子をWebサーバを介してPCで展示します。

【マッチング希望】









日本の農業を支える中小規模農家におけるICT導入の大きな課題の 一つとして、農業分野のICT機材システムは、コストダウン・高信頼 化が進んでいないため、導入やメンテナンスのコストが高くなること があります。中小規模農家でも利用可能な簡便で安価なセンサーを 紹介し、普及させることが目的です。

●所在地: OURL:

【出展内容】



酪農での自動搾乳牛舎における

オリオン機械(株)

省力・精密飼養管理技術の確立と技術の実証

http://www.orionkikai.co.jp/

●お問合先: TEL. 026-248-1956(直) FAX. 026-245-5629 〒382-8502 長野県須坂市大字幸高246

質測定装置」の基礎試験装置の実機を展示紹介させていただきます。

酪農における自動搾乳装置と給飼関連機器、乳牛飼養管理装置の総合自動化システム導入によ

り、省力・無人化が図られ、生産コスト低減につながる実証試験を実施しています。今回の展示では、システム全体像をパネルや映像などで紹介させていただくとともに、課題の一つである「乳

本研究の実証後の製品化と合わせ、次期開発への展開を構想してい ます。精密飼養管理システムに関する評価を頂くことと合わせ、市場 のニーズや各研究機関・企業のシーズに関する情報交換をさせてい ただき、可能であれば、共同開発などの検討も希望します。

新たな畜舎システム(閉鎖型プッシュ&プルLPCV方式)で 酪農の生産性を向上

生10

次世代閉鎖型畜舎開発研究組合



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB

11月19日(木) 12:00~12:15

●お問合先: TEL. 028-649-5483 FAX. 028-649-5508

●所在地: 〒321-8505 栃木県宇都宮市峰町350 宇都宮大学農学部 池口研究室

【出展内容】

実演 あり

防暑、悪臭、防疫等の日本酪農の課題を網羅的に解決するため、世界的にも稀な閉鎖型ブッシュ &ブル横断換気搾乳牛舎システムを畜産法人農場に試作し、実証試験を実施しています。システ ムの概要と防暑効果、バイオフィルターによる脱臭等の成果をパネルにより公開し、映像、バ・ チャルリアリティーソフトにより牛舎内の散策を実演します。

日照りや豪雨を気にせず、おいしい果物を気苦労なしに育てる ことのできる技術の確立を目指して

生 11

革新的技術(カンキツ)コンソーシアム



研究機関

(研)農研機構(近畿中国四国農業研究センター・果樹研究所・農村工学研究所)/愛媛県/ 静岡県/三重県/香川県/山口県/越智今治農業協同組合/えひめ中央農業協同組合/ 中国紙工業(株)/NECソリューションイノベータ(株)/(株)ビジョンテック

研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA

11月20日(金) 12:00~12:15

●お問合先: TEL, 084-923-4100 FAX, 084-924-7893 ●所在地: 〒721-8514 香川県善通寺市生野町2575 (本所:広島県福山市西深津町6-12-1) OURI: http://www.naro.affrc.go.jp/warc/index.html

実 演

【出展内容】

あり

カンキツの高品質安定生産を実現する、「作業道造成機」「ソーラーポンプシステム」などの要素 技術を展示します。また、簡易指標で樹の状態を客観的に判断し、高品質生産を実現する技術、さ らに園地ごとに推定された環境情報を共有して産地単位の栽培支援を行うためのICT システム・ 園地環境推定技術、および開発中の生産資材等を紹介します。

【マッチング希望】







本コンソーシアムのメンバーであるパナソニック環境エンジニアリン グが、本システムの販売を予定しています。 酪農の生産者の皆様や 畜産の営農指導、畜産行政に携わっている方々にご来場頂き、本シ ステムを見て頂きたいです。

【マッチング希望】







高品質カンキッ牛産技術の導入・販売等に関心のある牛産団体や 農業資材メーカー、そして安価で高精度な園地気象推定技術および 産地内の情報共有技術に関心のある企業等とのマッチングを期待し ます。なお、カンキツだけでなく、広く農業生産現場で活用されるよ うなマッチングとなることを期待します。

1に体力、2に食欲 3・4がなくて 5にジョーク

生12

(国)東京大学 国際情報農学研究室/水利環境工学研究室



●お問合先: TEL. 03-5841-1606

〒133-8657 東京都文京区弥生 1-1-1 ●所在地:

http://www.iai.ga.a.u-tokyo.ac.jp/mizo/mizolab.html

当研究室が開発してきた独立型のリモートモニタリングシステムを展示・紹介します。日本を含 めアフリカ・東南アジア各国で順調に稼働しております。また、当システムを利用した水利サービ スについても展示しています。

自動給水式芽だし育苗加温システム



(合)NAL

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームC

11月18日(水) 10:20~10:35

●お問合先: TEL. 0772-72-2628 FAX. 0772-72-2628 〒629-3104 京都府京丹後市網野町浅茂川 1861-86 ●所在地:

OURI: http://nal-svs.com/

冬季育苗が農業生産の課題です。既存の加温方法は栽培環境を維持するため栽培空間を開閉す る作業が必要となります。この開閉作業の自動化と、水やりを自動化することで作業手間の軽減を目指しています。展示品は加温部及び給水部は一部をスケルトンとし構造をわかりやすくして います。自動開閉部は空気の流れなども見られるようにしています。

【マッチング希望】



企業・農業法人との共同開発を目指しています。

【マッチング希望】





個人農家や農業生産法人で既存の加温システムと並行、もしくは単 独で運用を行える事業者さまをお待ちしています。共同開発により 数年内に実用化を目指して取り組める事業者さんをお待ちしていま

産学官+農連携の美味しい成果とこれからの研究を伝えます。

(学)立命館大学

立命館大学発!

●お問合先: TEL. 077-561-2802 FAX. 077-561-2811 〒525-8577 滋賀県草津市野路東 1-1-1 ●所在地: びわこ・くさつキャンパス テクノコンプレクス OURL: http://www.ritsumei.ac.jp/research/

【出展内容】

試飲・試食

生 14

- ★生物指標による「土づくり」の技術、SOFIX (土壌肥沃度指標)の解説や「必勝の酒勝馬米」等 SOFIXを活用した商品紹介
- ★京都の老舗企業の「知恵」に大学のスポーツ栄養学の「知」を加え開発したアスリートスイーツ 「SOY DELIIの試食提供
- ★コンブやワカメの品種改良に活用できる、藻類で発見された転写因子型光受容体の研究紹介

OURL: 【出展内容】

●所在地:

ALFAEは「食・農・環境」の豊かな発展を目指す産学官民連携組織です。協働で得られた最新 の成果や取組概要を展示します。

11月18日(水) 10:20~10:35

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅3丁目24番8号 三立ビル3F

「食・農・環境」の豊かな発展を目指した産学官民連携による

●セミナールームA

- 1. ALFAEの紹介
- 2. 食・農・環境・文化・教育を繋いで考える「食のアカデミー」

●お問合先: TEL. 080-4223-7380 FAX. 059-231-9249

- スマート6次産業化と「地域&バイオマス」の共創
- 4. 戦略的イノベーション創造プログラムの取組み
- 5. 農業ICTにおけるセンサー体系等

農業ICT関連取組みについて展示

http://alfae.org/

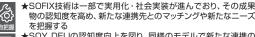
(一社)ALFAE

プレゼンテーション

【マッチング希望】



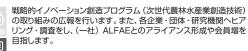




- ★SOY DELIの認知度向上を図り、同様のモデルで新たな連携の きっかけを作る
- ★本学の基礎的な研究について連携企業とのマッチング、ニーズを 把握する

【マッチング希望】





施設園芸情報の標準化を目的として活動する UECS研究会の持つ技術シーズを展示いたします。

生16

ユビキタス環境制御システム研究会



●お問合先: TEL. 086-251-8304 FAX. 086-251-8304 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1丁目1番1号 岡山大学農学部野菜園芸学研究室内 UECS研究会事務局

IIRI · http://www.uecs.jp/

【出展内容】

施設園芸用自律分散型環境制御システムであるUECSに対応するにはどのようにすればよいの かを示すために、試作品などによるUECS対応機器の実物展示を行います。具体的には複合環境 制御盤、各種センサのUECS対応機器、ソフトウェアの展示を行います。また、UECSに関するポ スター展示を行います。

本学は農場から食卓までの食の安全確保に係る 人材の育成により社会に貢献します。

生 17

(国)帯広畜産大学



●お問合先: TEL. 0155-49-5829 FAX. 0155-49-5775 〒080-8555 北海道帯広市稲田町西2線11番地 IIRI · http://www.obihiro.ac.jp/

【出展内容】

牛が出産後、起立不能を発症し、その約6割は低Ca血症に起因します。心電図の波形を解析する ことで血中のCa濃度を推定し、牛舎での低Ca血症の迅速な非侵襲診断を実現し、試作機を展示 します。また、ウレタン分解菌によるウレタンリサイクル粉砕物に関する展示、畜産施設への光触 模型プレコート細板の曝露試験による効果検証結果を紹介します。

【マッチング希望】



新たなUECS対応機器の開発メーカーを見つけることが目的です。

【マッチング希望】



1.非侵襲血中Ca濃度測定装置の紹介。 2. ウレタンリサイクル粉砕物の紹介と新たな用途開拓。 3. 光触媒プレコート鋼板の新たな用途開拓。

「山の頂から海の底まで」を対象とする 食・環境・農林水産に関する研究シーズと地域連携の紹介

生 18

(国)三重大学大学院生物資源学研究科



研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB

11月18日(水) 10:45~11:00

●お問合先: TEL. 059-231-9502 FAX. 059-231-9634 〒514-8507 三重県津市栗真町屋町 1577 ●所在地: OURI: http://www.bio.mie-u.ac.ip/

【出展内容】

あり

三重大学が誇る「食・環境・農林水産」に関するシーズを紹介します。

- ①『骨粗鬆症予防効果』
- ②『未利用柑橘類からのバイオ燃料製造』
- ③『海洋生物由来の『美と健康』を創る物質の探索と活用』
- ④『ICT 活用農業事化・普及プロジェクト』
- ⑤『電解次亜水を用いた空間清浄化技術』
- ⑥ 『大学附属農場の生産品[改良版梅酒の梅の実ジャム]』他

【マッチング希望】











ズを活用し地域や社会に貢献するため、自治体や企 業、外部機関との連携・協力の推進を希望しています。研究成果を 発表し、技術や知的財産を必要とする企業や外部機関との相互理解 を深めることにより、共同研究や新産業創出のための協力体制を構 築することを目指します。

「農業」をキーワードとし、複数大学の知を結集・活用した 3つのアプリケーションをご紹介します

PUiP 大学知財群活用プラットフォ

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA

11月20日(金) 10:45~11:00

●お問合先: TEL, 0268-25-5181 FAX, 0268-25-5188 〒386-8567 長野県上田市常田3-15-1 ●所在地:

信州大学繊維学部内 SVBL棟 (株)信州TLO内 PUiP事務局 OURL: http://www.chizaigun.org/

【出展内容】

将来あるべき農業をイメージし、その実現に必要な課題解決に向けた研究を3つご紹介します。

①太陽電池フィルムを使った発電ビニールハウス:植物の生育と発電を両立させる。

②多目的二輪ビークル:農作業現場での移動・運搬・センシング等に。

③栽培管理情報システム: 生育の画像情報とセンサネットワークにより、時空を越えた情報を管 理。

【マッチング希望】









当会では、学-学の連携に、事業化を考える企業及び農業関係者に もご参加頂き、生産性向上、省エネ、生産現場等のニーズに直結し た共同研究を戦略的に進めて参ります。また、地域への貢献を果た せるよう、生産者、公設試、金融機関等との連携を強め、農業分野に おける強固な研究体制構築を目指します。

地域密着型の実用的な研究を通して 地元企業や農業を活性化させる循環型社会に貢献します。 生 20

(国)茨城大学農学部

プレゼンテーション

●セミナールームB 11月20日(金) 11:10~11:25

●お問合先: TEL. 0298-88-8702 FAX. 0298-88-8715

●所在地: 〒300-0331 茨城県稲敷郡阿見町阿見4668-1 農学部付属FSCセンター

OURL: http://www.agr.ibaraki.ac.ip/index.html

【出展内容】

実演 あり 試飲・試食

「地域再生の拠点となる大学」をめざして、茨城大学は地元の企業・学校・自治体等と連携して様々

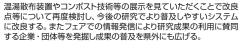
な研究に取り組んでいます。特に農学部で取り組んできた事業のうち、地域内での資源循環をめ ざした竹や汚泥等の産業廃棄物の再資源化、施設栽培に貢献する「熱ショックで病害抵抗を誘導 する温湯散布装置」、近隣の医療系大学との共同事業である「農医連携プロジェクト」で取り組ん できた「食と健康との関わり」等を中心に展示・発表します。私たちの研究成果をより多くの生産 者の皆様へ情報発信し、技術移転や今後の研究へ還元できればと思っています。

【マッチング希望】









ホウレンソウなどの軟弱野菜を、

挟まず、掴まずハンドリングし、野菜を傷つけずに自動収穫

生 21

●お問合先: TEL. 026-269-5150 FAX. 026-269-5150 〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

軟弱野菜自動収穫ロボット実用化研究開発コンソーシアム

信州大学工学部機械システム工学科 千田研究室 OURL: http://www.mech.shinshu-u.ac.jp/laboratories/a/member/chida.html

●所在地:

ホウレンソウ自動収穫ロボットの開発状況についての紹介です。人手による収穫でも葉や茎を傷 める軟弱野菜を、挟まず、掴まずハンドリングすることにより、野菜を傷つけずに収穫するための 技術を紹介します。パネルと圃場実験の動画などを展示し、技術の効果を確認していただきます。

【マッチング希望】





現在、製品化に向けて検討中です。収穫ロボットを広く活用していた だくよう生産者の要望を調査し、広く普及させたいと考えています。



もみ殻シリカは、更に進化を続ける

生 22

もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学)【早稲田大学、いみず野農業 協同組合、射水市、北陸ポートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB

11月18日(水) 12:25~12:40

●お問合先: TEL. 0766-56-7500 FAX. 0766-56-0362 〒939-0398 富山県射水市黒河5180 ●所在地:

OURL: http://www.pu-toyama.ac.jp/

試飲・試食

もみ殻からの肥料生産には、一定の目処が着いたが、異分野にもその可能性を追求していきま す。もみ殼から次世代コンクリートを作製することで、環境に配慮した、耐久性のある建設・土木 資材を社会に提供します。

岡山大学で行われている研究のなかで

生産現場への普及を期待している成果を展示します。

生 23

(国)岡山大学農学部

研究・技術

●セミナールームA

11月18日(水) 12:25~12:40

●お問合先: TEL. 086-251-8282 FAX. 086-251-8388 〒700-8530 岡山県岡山市北区津島中1丁目1番1号 OURL: http://www.okayama-u.ac.ip/user/agr/index.html

【出展内容】

*間欠冷蔵処理によるイチゴの花芽分化促進に関する技術の紹介です。

*東アジア中秋節をターゲットにした日本産高級モモの輸出流通システムの構築に関する技術の 紹介です

*ICTを活用した暖地施設園芸における環境制御技術およびクラウド利用技術開発に関する紹介 です

*イチゴ栽培用環境制御コントローラの紹介です。

【マッチング希望】



肥料化への後押し、次世代コンクリート利用の促進を目指していま

【マッチング希望】



間欠冷蔵処理によるイチゴの花芽分化促進を導入したい生産者へ の技術提供をおこないます。

日本産高級モモの輸出流通システムを利用した新たな販路拡大につ いて説明いたします。

ICTを利用した環境制御技術に関するソフトウェア開発者を求めま

イチゴ生産者への環境制御コントローラの生産者への紹介をおこな います。

日本産の大型完熟イチゴを超高品質で世界展開するための 技術と大学発水稲品種ゆうだい21の紹介

生 24



(国)宇都宮大学



(合)工農技術研究所

研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA

11月18日(水) 12:50~13:05

●お問合先: TEL. 028-649-5009 FAX. 028-649-5026

〒321-8085 栃木県宇都宮市峰町350 ●所在地: OURI: http://www.utsunomiva-u.ac.ip/

実演あり

本学開発の個別包装容器「フレシェル」に格納した日本産大型完熟イチゴの研究成果について、 ベルギーへの輸出試験や国際味覚審査機構へ出品し優秀味覚賞を受賞した報告も交えてご紹介します。また、イチゴを識別する能力が格段に向上したイチゴ収穫ロボットの実演や宇都宮大学 が開発した水稲品種「ゆうだい21」のご紹介と試食を行います。

【マッチング希望】





大型の日本産完熟イチゴの積極的な海外展開の支援を目指し、高品 質維持の海外流通を可能にする包装容器や輸送ノウハウを提供し、 資本計りの場が加速を引起にすると数す品で考慮とファインではたく、 日本産イチゴは海外において「Strawberry」ではなく「lchigo」と して、「フルーツ」ではなく「スウィーツ」としてをモットーに1件でも 多くの海外展開を成功させたいと考えております。

"フードバレーとちぎ"を実現するため、

地域の強みや特性を活かした技術・製品開発を推進。

生 25

とちぎフードイノベーション推進協議会



研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA 11月18日(水) 13:15~13:30

●お問合先: TEL, 028-689-9747 FAX, 028-689-9748 〒321-3226 栃木県宇都宮市ゆいの杜 1-5-40 ●所在地:

公益財団法人 栃木県産業振興センター OURL: http://www.tochigi-iin.or.jp/

【出展内容】

とちぎフードイノベーション推進協議会で検討している実用化段階の①高濃度炭酸ガス処理によ るイチゴ苗のハダニ駆除のパネル説明と試験装置の展示、研究開発段階の②イチゴウイルスベ 一、③イチゴ果実の長期輸送中の成分変化の検討、④イチゴに含まれる機能性成分の研究、 についてのパネルによる紹介を行います。

【マッチング希望】



実用化段階の技術として高濃度炭酸ガスによる害虫駆除を紹介しま す。イチゴ等の栽培農家、駆除業者の皆様に見て頂きたいです。ま 9。イテコ寺の私中展示、那の末日の日ぼに元こにことととた開発段階として、イチゴの機能性成分の探索、長期保存包装の検討、ウイルスベクターの開発を行っています。共同研究の可能性の ある研究者にぜひお越し頂きたいと思います。

攻めの東海施設園芸コンソーシアム

施設園芸の生産性を飛躍的に向上する半閉鎖型管理技術を

●お問合先: TEL. 059-268-1331 FAX. 059-268-1339

〒514-2392 三重県津市安濃町草生360 農研機構 野菜茶業研究所 内 ●所在地:

わかりやすく紹介!

日本の施設園芸でCO2の施用効率を高め、病害虫の侵入を抑制する施設の最新の生産管理技術 のひとつである半閉鎖型管理を紹介します。高度環境制御をより容易とし、ICTを利用して作業性 も改善させる事ができます。「半閉鎖型管理 (SCM)による施設果菜・花き類の生産性向上技術 の実証研究」での取り組み内容と得られた成果の紹介を行います。

島根県産業技術センター/ (学)早稲田大学産学官研究推進センター/大福工業(株)

大気中から高濃度CO。ガスを生成する装置を紹介/

農作物の生育アップ、品質向上を図ります!

●お問合先: TEL. 0852-60-5141 FAX. 0852-60-5144 〒690-0816 鳥根県松江市北陸町1番地 テクノアークしまね ●所在地:

http://www.pref.shimane.lg.jp/industry/syoko/kikan/shimane iit/ OURL:

【出展内容】

大気中のCO。を回収し濃縮する装置「ゼオコレクト」の展示を行います。島根県産天然ゼオライト (フェリエライト)を利用した装置であり、4000ppm以上に濃縮したCO2ガスを生成し、最適濃 度で農作物に供給します。CO2ガスを施用することで、農作物の光合成促進、品質向上等の効果

があります。

【マッチング希望】



大規模施設園芸を進めている、或いは取り組もうとしている生産法 人に本技術を導入していただきたいと考えています。また、企業によ る本制御技術のさらなるパッケージング化を進めたいと考えていま す。

【マッチング希望】



植物工場関係企業等とのマッチングによる研究成果の普及や、大学 等研究機関とのマッチングによるCO。濃縮装置の効果分析または、 開発の促進を目的としています。

エルゴチオネインを含む機能性食材の生産技術

生 28

生 26

アイシン共聴開発(株)・(国)東京海洋大学



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB

11月20日(金) 14:55~15:10

●お問合先: TEL. 042-462-7111 FAX. 042-462-7112 〒188-0014 東京都西東京市芝久保町4-6-2 ●所在地: http://www.aishinkk.co.jp/kankyo/ OURL:

【出展内容】

ラジカル消去能を有するエルゴチオネインを含有する機能性食材の生産技術として、流動層乾燥 と気流乾燥との組み合わせの連続乾燥方式と、これにより生産した食材の機能性を紹介します。 流動層乾燥と気流乾燥との組み合わせの連続乾燥方式による乾燥機械 (試作機)を設置し、これ により生産したきのこおよび食品の乾燥品を展示します。

千葉県農林総合研究センターが開発した技術や 育成品種(コメ・ネギ・シバ)を紹介します。

生 29

千葉県農林総合研究センター



H

●お問合先: TEL. 043-291-0151 FAX. 043-291-5319 〒266-0006 千葉県千葉市緑区大膳野町808 OURL: http://www.pref.chiba.lg.jp/lab-nourin/

【出展内容】

当研究センターで開発した技術や育成品種について、パネル紹介や実物(一部)の展示を行いま









主に高品質な牛と豚を主とする肥育畜産業、高機能鶏卵生産業にお ける機能性飼料サプリメントの利用展開を図ります。これら業種の生産現場への生産蔵置の導入および機能性飼料サプリメントの生産・ 販売を拡大します。

【マッチング希望】



開発技術の実用化、育成品種の普及・活用機会の増大を図りたいと 思っています。

産学官連携した研究・実用化事業の紹介し、 地方大学が両立すべき、教育と社会貢献を考える

生30

(国)鹿児島大学 農学部



井同 鹿児島県大隅加工技術研究センター 研究機関

●お問合先: TEL, 099-285-8606 FAX, 099-285-89606 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-24 E棟 4階 ●所在地:

【出展内容】

鹿児島大学にて特許申請した研究成果を発表し、地方大学が行っている先進性を感じてくださ

- 特許の概要
- ・花栽培における色素の変化法
- ・排水処理水を用いた低カリウム野菜の栽培法
- 循環型電解方式を用いた水耕栽培養液の微生物制御法

透析患者用低カリウムメロンの開発とその実用化



(国)島根大学 低カリウムメロンプロジェクトチーム

●セミナールームA 11月19日(木) 12:50~13:05

●お問合先: TEL. 0852-34-1817 FAX. 0852-34-1817 〒690-1102 島根県松江市本庄町2059 ●所在地: http://www.shimane-u.ac.ip/

研究・技術 プレゼンテーション

透析患者はカリウムなど厳しい食事制限を受けています。その中で、カリウムを多く含むメロンは 食べてはいけないもののひとつです。島根大学では、メロンのカリウム濃度を低くする栽培技術 を研究し、透析患者でも食べることが出来る低カリウムメロンを開発しました。 今回の出展は販売 先、利用先の開拓が主な目的です。

【マッチング希望】







排水処理水を用いた低カリウム野菜の栽培法は、河川や海に流せる 程度まで浄化した下水処理水を水耕栽培の養液として使用すること で低カリウム野菜を栽培する方法で、腎臓病患者への低カリウム野 菜を提供できます。このことにより腎臓病患者のQOLが向上するこ とを期待します。

【マッチング希望】

OURI:







島根大学で研究開発した低カリウムメロンの販売先、利用先の開拓 を行い、島根産の低カリウムメロンの確立と地域活性化に繋げます。

人工光型植物工場について、プロジェクトで取組んできた 実用的な技術を紹介します。

生32

(公)大阪府立大学植物工場研究センター 葉菜プロジェクト

エスペックミック/ダイキン工業/三進金属工業/ダスキン/ 研究機関 大和真空/椿本チエイン

●お問合先: TEL. 072-254-9409 FAX. 072-254-7692 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 ●所在地: OURL: http://www.plant-factorv.21.osakafu-u.ac.ip/

【出展内容】

大阪府立大学植物工場研究センター C21棟 (農水省棟)でのこれまでの葉菜PJの研究成果の 紹介 (栽培、空調、環境計測、衛生管理等)と栽培モデルの展示、それらの試験研究から生産用途 等での水平展開を展示します。

KFT農法研究会

燃料費や収穫量に大きな成果!

生 33

プレゼンテーション

●セミナールームA 11月18日(水) 11:10~11:25

遠赤外線を活用したKFT農法が、ビニールハウス栽培等での

●お問合先: TEL. 092-281-1200 FAX. 092-282-8166 ●所在地: 〒812-0025 福岡県福岡市博多区店屋町6-3

【出展内容】

KFT農法研究会は、九州大学、西部ガス㈱、KFTアグリ㈱の産学連携で構成されています。建物 用に開発した遠赤外線で室内環境を管理する「光冷暖システム」を、農業分野に応用したのがKF T農法です。 ①高い省エネ性、 ②収穫量の増大、 ③収穫物の品質向上、 ④高い設備 (温度管理)能

力がアピールポイントです。

【マッチング希望】

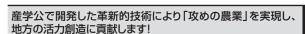


植物工場分野での、新しい共同研究のニーズ、シーズ等を抽出でき、 新たな研究活動から、より実践に向けた取組を行いたいと考えてい

【マッチング希望】



農水省の平成26年度生産環境総合対策事業推進補助金を得て進 めている実験では、暖房費80%ダウン、収穫量14%アップのデー (従来温風機との比較)が出ています。暖房用燃料費の高騰や作物 の病気発生に苦戦するハウス栽培農家にとって、KFT農法は経営面 の解決策になり得ると考えています。



生34

攻めのイチゴ生産&活力創造ワサビ輪作実証コンソーシアム



(代表:山口県農林総合技術センター) (研)農研機構近畿中国四国農業研究センター/佐賀県農業試験研究センター/(地独)山口県産業技術センター/

研究機関

(有)ほうえい堂/佐藤産業(株)/カネク島根工場(株)/ハウス食品グループ本社(株)/オイシックス(株)/ (株)サンポリ/(株)瀬戸内ジャムズガーデン/宇部工業高等専門学校/長山電機産業(株) ●セミナールームB

プレゼンテーション

11月20日(金) 11:35~11:50

●お問合先: TEL. 083-927-0211 FAX. 083-927-0214 ●所在地: 〒753-0231 山口県山口市大内氷上一丁目 1番 1号

http://www.nrs.pref.yamaguchi.lg.jp/hp_open/a17201/0000001/index.htm

【出展内容】

試飲・試食

農水省所管「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技術緊急展開事業」及び「農林水産業の 革新的技術緊急展開事業」並びに委託プロジェクト「熱プロ」等において実施している産学公の共 同研究の取り組みや研究成果を幅広く紹介します。さらに、超促成ワサビを原料に加工したわさ び饅頭の試食を行います。



①技術移転を行う生産法人等の先進的な生産者との出会い ②実用化、製品化を進めるための共同開発者・企業との出会い ③事業化を進めるためのパートナー企業との出会い

イチゴ種子繁殖型品種「よつぼし」がデビューします

生35

イチゴ種子繁殖型品種研究コンソーシアム



研究機関

種子繁殖型イチゴ研究会/野菜茶業研究所

研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA 11月18日(水) 13:40~13:55

●お問合先: TEL, 0598-42-6357 FAX, 0598-42-1644

〒515-2316 三重県松阪市嬉野川北町530 三重県農業研究所内 ●所在地:

OURL: https://www.miyoshi-agri.co.jp/

【出展内容】

従来のイチゴと異なり、病害虫リスクが小さく大量の種苗を容易に得られる種子繁殖型品種につ いて、新品種開発と利用技術の研究を進めてきました。このたび、その待望の品種「よつぼし」が、 いよいよ来年から一般販売される見込みになりました。本出展では、「よつぼし」の実用普及を目 的に、栽培技術や種苗供給計画等の情報を紹介します。

【マッチング希望】



研究内容に関することは三重県農業研究所で、「よつぼし」の種苗販 売に関する情報や種子繁殖型イチゴ研究会の入会等については、研 究会事務局の三好アグリテック(株)(URL参照)を対応窓口として、 お問い合わせ等お受けします。

受粉作業の完全自動化が実現します!

生36

(国)京都大学 農業システム工学研究室



井同 名古屋工業大学/エスペックミック(株)/愛媛大学/ローム(株) 研究機関

●お問合先: TEL. 075-753-6163 FAX. 075-753-6165 〒606-8502 京都府京都市左京区北白川追分町 ●所在地:

http://energy.kais.kyoto-u.ac.jp/lase/index.php/jpn/



超音波放射圧を利用してイチゴやトマトの花を振動させることで、花粉を飛散させ受粉を行なう 超音波受粉装置の展示・実演を行ないます。50cm程度離れていても受粉させることが可能なので、植物工場や温室において搬送装置に取り付けることで受粉作業の完全自動化が実現しま す。もう授粉用のハチは必要ありません。

EOD光照射および加温は冬季低日照地域の 花き生産向上および燃料費を削減できる技術です。

山陰EOD連携研究会

生 37

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB 11月20日(金) 10:45~11:00

●お問合先: TEL. 0857-31-5353 FAX. 0857-31-5353

〒680-8553 鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地 (国)鳥取大学) ●所在地:

【出展内容】

日本の冬季低日照地域における花き類等の生産性向上を可能にしたEOD光照射および加温技術 を全国にアピールします。EOD技術の光照射に関しては、ボスター・バンフレットおよび実物を定覧いただきながら燃料コスト削減等を含めて解説します。特に実物展示では、EOD技術による花 き類の生育促進効果を実感してもらえたらと考えています。

【マッチング希望】





現在ハチ受粉によってイチゴやトマトの栽培を行っている生産者の 方、是非本ブースにお越しいただき、超音波授粉装置の実演をご覧 ください。

【マッチング希望】







本研究は農林水産省「攻めの農林水産業の実現に向けた革新的技 術緊急展開事業」で行っており、冬季低日照地域における施設園芸 ハウス内での光・加温制御の開発に従事している企業体と協働で、 より緻密な環境制御システムを構築し、生産現場での利益を見据え た栽培技術にしていきたいと考えています。

(国)広島大学



プレゼンテーション

●セミナールームA

11月20日(金) 12:25~12:40

●お問合先: TEL. 082-257-5427 FAX. 082-257-1567 ●所在地: 〒739-8526 広島県東広島市籍山1の3の1 OURL: http://www.hiroshima-u.ac.ip/index-i.html

【出展内容】

カンキッかいよう病予防剤およびカンキッかいよう病の予防方法 (プレゼンあり、20日予定)、及 び光フェントン試薬を用いた植物防除(光フェントン反応を応用した新規農薬の開発を目指す)技 術について紹介します。

神奈川県

●お問合先: TEL. 0463-58-0333 FAX. 0463-58-4254 〒259-1204 神奈川県平塚市上吉沢 1617 ●所在地:

樹木の樹体ジョイント仕立て法、イチゴの果実部局所加温技術

OURL: http://www.pref.kanagawa.jp/

【出展内容】

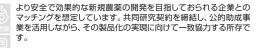
神奈川県の農畜水産試験研究機関における研究成果を展示し、技術の普及をはかることを目的と しています

- 果樹の樹体ジョイント仕立て法:多くの樹種で早期成園化・大幅な省力化を可能とします。
- イチゴの果実部局所加温技術: イチゴ高設栽培における省エネルギー高生産システムです。

【マッチング希望】







【マッチング希望】



果樹の樹体ジョイント仕立て法は多くの樹種で早期成園化・大幅な 省力化を可能とします。イチゴの果実部局所加温技術はイチゴ高設 栽培における省エネルギー高生産システムです。

横浜市立大学 木原生物学研究所における 最新の研究の成果を紹介

生 40

(公)横浜市立大学

●お問合先: TEL. 045-787-2063 FAX. 045-787-2025 〒236-0027 神奈川県横浜市金沢区瀬戸22番2号 OURL: http://www.yokohama-cu.ac.jp/kihara/index.html

【出展内容】

横浜市立大学木原生物学研究所・植物応用ゲノム科学研究室が農研機構・果樹研究所と共同で 開発した桃の日持ち性を向上する鮮度保持剤について、ポスターによる展示を行うとともに、当 研究所における最新の研究を紹介します。

高効率酸素溶解方式を用いた溶存酸素濃度の 高度制御システムによる高収益型養殖実証試験の紹介

生 41

(株)巴商会



国立大学法人北海道大学

●お問合先: TEL. 03-3734-1125 FAX. 03-3739-1049

〒144-8505 東京都大田区蒲田本町 1-2-5 ネクストサイト蒲田ビル ●所在地:

OURL: http://www.tomoeshokai.co.jp/

【出展内容】

瀬戸内海の塩田跡地を利用したクルマエビ養殖池において、生産性の向上 (従来比2倍以上)を 目標として、「溶存酸素濃度の高度制御システム」の実証試験を実施中です。システムのキ である高効率・高濃度酸素溶解装置(実機展示)と実証試験の概要をご説明します。自然環境下 をはるかに上回る30ppm以上の酸素溶解能力をご覧頂けます。

【マッチング希望】



桃は樹上で完熟させて収穫するため傷みやすく、出荷、流通段階で ロスになる割合も多くあります。新たに開発した鮮度保持剤を企業 等が実用化することで、安定供給に向けた日持ちの向上という課題 解決を目指します。

【マッチング希望】



ターについて紹介

(国)岐阜大学





本技術は、水産養殖に幅広く応用でき、陸上養殖やマグロ、ウナギな どの特徴ある種の安定生産にも寄与でき、本システムで育てた魚類は、無投薬の安心・安全な水産物です。本システムをご活用いただ ける生産者、本システムで育てた水産物を取り扱っていただける流 通業者との打ち合わせを希望します。

新しい型の農業ビジネスの提案! あなたのまちの地域創生をお手伝いいたします。

生 42

(国)千葉大学

●お問合先: TEL. 043-251-1111

〒263-8522 千葉県千葉市稲毛区弥生町 1-33 ●所在地:

http://www.chiba-u.ac.jp/

【出展内容】

①小面積でも栽培可能なイチジクの養液栽培システムの周年栽培技術の実証

●所在地:

(1)岐阜大学発ブランド野菜である仙寿菜の栄養成分、特長などを紹介します。

●お問合先: TEL. 058-293-3359 FAX. 058-293-2022

〒501-1193 岐阜県岐阜市柳戸1番1

大学発ブランド野菜「仙寿菜」とアユの鮮度状態のシミュレー

(2)アユの鮮度状態のシミュレーターについて紹介します。

http://www.gifu-u.ac.jp/

②屋上緑化に貢献する矮性シバ展示 ③千葉大学で育成・出願した鉢花類の紹介

④プレゼント用 (鉢花、トマト等)

【マッチング希望】







今回の出展により、イチジクの養液栽培システムによる新たな農産 業の開拓や、メンテナンスフリーのシバを活用した緑化方式で人と 地球に優しい環境都市を実現し、地域の活性化につなげていきま す。

【マッチング希望】



仙寿菜の販路拡大と、新たな加工メーカー先の発掘等を目指してい

アグリビジネス創出フェア 2015 33

生 43

生 44

(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所



●お問合先: TEL. 072-979-7070 FAX. 072-956-9790 〒583-0862 大阪府羽曳野市尺度442 ●所在地: OURL: http://www.kannousuiken-osaka.or.jp/

【出展内容】

大阪府立環境農林水産総合研究所は、農林業の振興並びに農空間の保全・都市緑化等の総合的 な調査研究を展開するとともに、残留農薬の分析、農産物の・食品の品質評価などを行っています。このような研究の過程で開発された、農林畜産物の効率的な生産技術、さらに生産現場に密 着した技術について実物や製造工程のビデオ映像を用いて紹介します。

沖縄県病害虫防除技術センター

光を用いた害虫の行動制御技術をご提案します。 (国)浜松医科大学/宮城県農業・園芸総合研究所

昆虫の視覚世界に学ぶ新技術をご紹介!

生 45

プレゼンテーション

11月20日(金) 10:20~10:35

●お問合先: TEL. 053-435-2681 FAX. 053-435-2179

E-mail. chizai@hama-med.ac.jp (浜松医科大学 知財活用推進本部) ●所在地: 〒431-3192 静岡県浜松市東区半田山 1-20-1 浜松医科大学

OURL: https://www.hama-med.ac.jp/uni ip.html

【出展内容】

昆虫の行動を光により制御する3つの新技術を紹介しています。 ①昆虫走光性の「エッジ注視仮説」に基づき、光源の視覚的エッジを人為的に制御して多くの虫を 誘引できます。

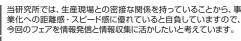
②対象物の周囲を、それに近い波長特性をもつ資材で覆うことで対象物を昆虫の目から隠蔽しま

③複数の光刺激を配置することで、昆虫を複雑なルートで誘導します。

【マッチング希望】







【マッチング希望】







3つの技術それぞれについて、共同研究による製品化、ライセンス 契約による技術移転を希望します。①と③では農業・畜産現場で用 いる光捕虫器の製品化をご検討の企業様を、②では製品化に興味を お持ちの農業資材メーカー様をお待ちしております。また、新しい使 用場面等に関する議論も歓迎します。

栃木県農業試験場で開発した品種や技術を紹介します。 また、共同研究者を探しています!

生46

栃木県

●お問合先: TEL. 028-623-2313 FAX. 028-623-2315

〒320-8501 栃木県宇都宮市塙田 1-1-20 栃木県庁 農政部経営技術課

試飲・試食

OURL: http://www.pref.tochigi.lg.jp/index.html

【出展内容】

栃木県農業試験場の

①育成品種 (水稲 「なすひかり」 「とちぎの星」、大麦 「HQ10」)を紹介します。

②栽培技術等(梨の根圏制御栽培、にらのネダニに対する温湯消毒法、いちごの高品質栽培技術、いちごのDNAマーカー等)を紹介します。

③大麦「HQ10」、梨「にっこり」、にっこりのフリーズドライの試食を行います。

植物病自動診断システム~葉の画像を用いて植物の病気を自 動診断するシステムを紹介します~

(学)法政大学

共同 研究機関

埼玉県農業技術研究センター

●お問合先: TEL. 042-387-6248 FAX. 042-387-6335 〒184-8584 東京都小金井市梶野町3-7-2

●LIRI · http://www.hosei.ac.jp/

【出展内容】

実 演

あり

農作物の葉などを撮影するだけで、対象が何らかの病気にかかっているのか、あるいは健全状態 なのかを瞬時に自動判定する技術を開発しました。識別器にはDeep Convolutional Neural Networkを独自に応用し用いて行い、現時点でキュウリの典型的な4種類のウイルス病株と、健 全株に対して識別精度約9割を達成しました。

【マッチング希望】











①大麦「HQ10」や梨「にっこり」等を用いた商品開発や、栃木県農 業試験場で育成した品種の取扱いをしていただける食品 (菓子等)製造業者・レストラン・商社

②共同研究(なし根圏制御栽培、DNAマーカー、温湯消毒、その他 栽培技術等)をしていただける研究機関・資材業者等との打合せ を希望します。

【マッチング希望】









当グループでは植物病の画像による自動診断システムのシー 持っています。これを、スマートフォン等を用いて画像を取得し、アプリで診断するという形での展開を考えています。また、農業施設に 設置したカメラで画像を取得し、植物の健康を監視する総合システ ムへの応用も考えています。

園芸作物での省力・軽労働化、栽培システムの高度化により、 人や環境にやさしい技術を開発

生48

広島県立総合技術研究所農業技術センタ

●お問合先: TEL. 082-429-0522 FAX. 082-429-0551 〒739-0151 広島県東広島市八本松町原6869 ●所在地: http://www.pref.hiroshima.lg.jp/soshiki/30/

【出展内容】

実用化段階の4つの技術を紹介し、新たな活用に向けたマッチングを目指します。

・LED防蛾灯: 低消費電力で持続性の高い防蛾効果 ・ネイキッド培地: 気化潜熱で根域を涼しくし、イチゴの収穫前進化に有効

・ワケギの種球調製機&植え付け機:省力・軽労働化できる機械を商品化

・モモ樹体ジョイント仕立て:管理作業の単純化と早期成園化に有効

獣医学部と生命・環境科学部を持つ麻布大学の特色を活かした 研究成果を発表・展示いたします。

生 49

(学)麻布大学 研究推進・支援本部

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA

11月18日(水) 10:45~11:00

●お問合先: TEL, 042-754-7111 FAX, 042-850-2511 〒252-5201 神奈川県相模原市中央区淵野辺 1-17-71 ●所在地:

OURI: http://www.azabu-u.ac.ip/

①「子牛や育成牛、豚などを対象とした機動性と機能性に富む保定装置の開発」

② 「里山の生物多様性を未来遺産に |

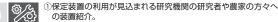
③「食肉の赤色化に関するリサーチ: 発色剤低減のために」

について展示・発表します。



生産者様や販売業者様には、技術 (製品)を導入または販売に関す る具体的なご相談に応じます。それぞれの技術の活用について、担 当者が説明、アドバイスを致します。研究機関様や企業様とは、我々 の技術力を活用した新たな技術展開や新規開発のご相談やご提案 をお受けいたします。

【マッチング希望】









②里山コミュニティビジネスに賛同、参画してくださる団体の発掘。

③食肉加工法の開発、製造、販売会社の発掘。

生 50

(株)ケーナインラボ



プレゼンテーション

●セミナールームB 11月20日(金) 12:50~13:05

●お問合先: TEL. 042-401-2291 FAX. 042-382-7384

●所在地: 〒184-0003 東京都小金井市緑町2-7-24 メゾン・ネクスト1F

OURL: http://wwww.canine-lab.ip/

【出展内容】

試飲・試食

子牛の疾病予防には、最初の免疫機能の強化が重要です。今回は他家 (母牛)由来活性化リンパ 球を出生直後の子牛に輸注することで子牛の免疫機能を確実に強化する技術を紹介します。子 牛の免疫機能強化は疾病発症を予防し、その後の健全な育成を実現し、ひいては安全な食肉の 提供を可能にします。

【マッチング希望】





本技術により得られる活性化リンパ球は、最終的には再生医療等製 品として開発します。製薬メーカーや関連企業との共同開発や技術 導出により、世界初の他家由来活性化リンパ球を主成分とした再生 医療等製品を上市します。

~持続可能社会を目指して~ (研)理化学研究所

植物科学とバイオリソースの最先端



プレゼンテーション

●セミナールームA

11月19日(木) 10:20~10:35

●お問合先: TEL. 045-503-9471 FAX. 045-503-9113 〒230-0045 神奈川県横浜市鶴見区末広町 1丁目 7-22 ●所在地:

OURL: http://www.csrs.riken.ip/

【出展内容】

- ・理研におけるSIP関連研究の紹介・新規化合物の植物バイオテクノロジーや植物分子農業への
- 植物の転写因子やエピジェネティック制御因子の利用による、分化細胞の効率的なリプログラミ ングの達成について・作物研究を支援するイネやトマトなどの培養細胞株や、産業上有用な微 生物株の紹介
- 農業における植物ホルモン研究の活用例

【マッチング希望】



農業関連企業や研究機関との共同研究・連携/遺伝子組み換え植 物の作成が困難な栽培品種への形質転換による新品種の創生/除 草剤や植物成長調整剤などの開発を進める企業との連携研究/国 内の園芸・種苗産業関連企業との連携による、優良株の量産や形質 転換や有用物質生産などの応用転換

同種および異種の倍数性植物(3倍体,4倍体,6倍体,8倍体)を 効率的に作出する手法を紹介

(公)首都大学東京

研究・技術

●セミナールームB

11月20日(金) 13:40~13:55

●お問合先: TEL. 042-677-2759 (首都大学東京URA室)

〒192-0397 東京都八王子市南大沢 1-1 プロジェクト研究棟2F ●所在地:

OURL: http://www.tmu.ac.jp/

植物配偶子の電気融合を用いて同種および異種の倍数性植物 (3倍体,4倍体,6倍体,8倍体)を 効率的に作出する新しい手法を確立しました。これらの技術を用いれば、より大きな鑑賞花や可 食部分の大きな果物などを開発できると考えています。これらの研究成果を園芸や農業の分野に 応用展開を希望しています。

植物と環境の関係に着目して 次世代シークエンサーを駆使した統合オミックス研究を展開

生53

(学)京都産業大学



●お問合先: TEL. 075-705-1778 FAX. 075-705-1966 〒603-8555 京都府京都市北区上賀茂本山

IIRI · http://www.kyoto-su.ac.jp/

【出展内容】

京都産業大学生態進化発生学研究センターでは、次世代シークエンサーを駆使した統合オミック ス解析により、植物が環境変化に応答する仕組みについて発生学的な観点から研究しています。 得られた成果は環境ストレス耐性植物の作出などに役に立つものです。今回の出展では、本セン ターの研究成果や技術的基盤を紹介することを目的にしています。

【マッチング希望】





①倍数性植物の作出技術を用いた新しい鑑賞花や果物 (苺など)の 開発、②異種配偶子の受精による新形質植物の開発などの共同研究 や技術移転がスタートし、将来的には新しい植物や農薬物等の創出 を目指しています。

【マッチング希望】









本プロジェクトの成果は将来的に、温暖化、冷害、乾燥(砂漠化)、水 没(洪水)などの環境ストレスに耐性のある植物を作出するために有 用であると考えています。環境ストレス耐性植物や不良環境でも生 育できる植物の作出などの応用研究を展開することで、新品種の開 発などにつながると期待されます。

「富山大学ゴマ遺伝資源コレクション」の紹介。 種子をお分けすることも可能です。

生 54

(国)富山大学

●お問合先: TEL. 076-445-6392 FAX. 076-445-6939 ●所在地: 〒930-8555 富山県富山市五福3190 http://www3.u-toyama.ac.jp/totlo/

【出展内容】

富山大学理学部では50年以上にわたってゴマ属植物の遺伝資源を維持しており、現在1,000 種以上を保有しています。コレクションには日本や外国の栽培種、野生ゴマなどを含んでおり、植物の形態も様々です。これら多様なゴマの保存・分類を行うと共に、ゴマの様々な形態が遺伝子 レベルでどのようにコントロールされているか解析を行っています。

-都市環境にマッチした循環型有畜複合農場を目指して~



生 55

●お問合先: TEL. 042-388-7550 FAX. 042-388-7553 E-mail. suishin@ml.tuat.ac.ip

●所在地: 〒184-8588 東京都小金井市中町2-24-16 先端産学連携研究推進センタ

http://www.rd.tuat.ac.ip/

(国)東京農工大学

【出展内容】

近年話題の持続可能な農業を志向する取組みである循環型農業について本学の研究事例を紹介 します。

①バイオマスで拓く新たな循環型都市農業と関連ビジネス

②家畜堆厩肥をベースにした畑作物輪作体系の構築 ③水田畦畔へのハーブ類導入による雑草制御

④我が国独自の低投入型ブルーベリー栽培技術の開発

⑤乳用後継牛の確保と和牛素牛の生産性拡大

【マッチング希望】



MTAのうえ、種子をお分けすることも可能です。

【マッチング希望】







生産家への技術提供、技術指導、あるいは補助事業等を活用した共 同研究体制の構築を目的としています。その結果として我が国の循 環型農業の発展へ寄与することを目指しています。

果樹を病害虫から守る -遺伝子診断技術や有用微生物などを 活用した新しい環境保全型果樹栽培-

生 56

(研)農研機構 果樹研究所

プレゼンテーション

●セミナールームA 11月20日(金) 12:50~13:05

●お問合先: TEL. 029-838-6453 FAX. 029-838-6440 ●所在地: 〒305-8605 茨城里つくば市藤木2-1 OURL: http://www.naro.affrc.go.ip/fruit/index.html

【出展内容】

多雨で病害虫の発生が多い我が国の果樹栽培では、病害虫防除は重要な作業です。さらに、温暖 化による病害虫分布域の拡大にも対応する必要があります。農研機構果樹研究所は、これらの防 除に有効な遺伝子診断技術、微生物利用技術、複合病害抵抗性のナシ新品種 'ほしあかり'の展示

(国)山梨大学

●お問合先: TEL. 055-220-8754 FAX. 055-220-8757 〒400-8510 山梨県甲府市武田4-4-37 ●所在地:

ワインを中心に、栽培、醸造、機能性といった観点で

OURL: http://www.yamanashi.ac.jp/

更なる研究の展開を模索していきます。

【出展内容】

試飲・試食

今回の出展では、山梨大学生命環境学部の研究成果に焦点を当てて、成果の つである「ワイン」 を中心に情報発信することで、ブドウ栽培、醸造、機能性といった観点から、企業ニーズの情報収集と連携企業等の発掘を図り、更なる研究の展開を模索していきます。

を行い、技術や品種の実用化・普及を目指しています。





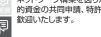


遺伝子診断技術をキット化する事業者等とのマッチングの結果、技 術の実用化が進みます。また、有用微生物の資材化に関するパート -が見つかり、実用化に向けた新たな共同研究が醸成されます さらに、病害抵抗性の新品種を導入する生産者が見つかり、品種の 普及が進みます。

【マッチング希望】







産学官連携(共同研究、受託研究、MTA等)に興味を持つ機関との ネットワーク構築を図りたいと思います。その他、研究の推進、競争 的資金の共同申請、特許の実施・譲渡等の具体的なお話についても

ゲノム情報を有効に活用したいあなたの第一歩に

生 58

(公財)かずさDNA研究所 DNA解析センタ



●お問合先: TEL. 0438-52-3900 FAX. 0438-52-3901 〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-6-7

http://www.kazusa.or.jp/ OURL:

【出展内容】

DNA解析センターは、かずさDNA研究所が高度な基礎研究で培ってきたゲノム解析の先端的技 術やノウハウを最大限に活用し、受託サービスを承っています。出展ブースでは、我々が保有する DNAマーカーの開発技術や利用法 (品種の識別・純度検定、DNAマーカー選抜による品種改良) の紹介、それらを活用した受託分析のご相談を承ります。

もち小麦、高βグルカン含有大麦、極小粒黒大豆などの 新品種を紹介します。

生59

(研)農研機構 作物研究所



●お問合先: TEL, 029-838-8260 FAX, 029-838-7488 〒305-8518 茨城県つくば市観音台2-1-18 http://www.naro.affrc.go.jp/nics/ IIRI ·

【出展内容】

試飲·試食

あり

もち小麦「うららもち」は新需要を探るため、粉を配布し、「バウムクーヘン」の試食を行います。 高βグルカン含有大麦「ビューファイバー」は高機能性大麦の需要拡大を図るため、粉配布と「シ フォンケーキ」の試食を行います。極小粒黒大豆新品種「くろこじろう」は、新需要を創出するた め、加工用生産物配布と甘納豆の試食を行います。

【マッチング希望】



DNA解析センターの受託業務のPRをはじめ、ご相談いただいたご 要望に対し、これまでの解析事例を提示しながら提案をいたします。

【マッチング希望】







小麦「うららもち」は、「もち性」を活かした新需要が創出されると期 待されます。大麦「ビューファイバー」は高機能性大麦の更なる需要 拡大が期待されます。黒大豆「くろこじろう」は、製品化が検討中で ある「豆餅」の他に、「黒豆茶」や「黒豆コーヒー」などの新たな需要 が期待されます。

単為結果性ナス品種・加工時に黄変化しないダイコン品種・ 畑地用地下灌漑システムOPSIS

生60

(研)農研機構 野菜茶業研究所



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA 11月19日(木) 11:10~11:25

●お問合先: TEL, 059-268-1331(代表) FAX, 059-268-1339 〒514-2392 三重県津市安濃町草生360 ●所在地:

OURI: http://www.naro.affrc.go.ip/vegetea/index.html

省力生産が可能な単為結果性ナス品種とたくあん臭のしないダイコン品種の紹介及びそれを用 いた加工品 (漬け物)の試食、地下潅漑システム (OPSIS)、統合オミクス情報を利用したトマトの体系的最適栽培管理技術の研究開発について紹介します。

播種機や収穫機などの超省力生産体系による 国産落花生の栽培拡大

生 61

(研)農研機構 中央農業総合研究センタ



千葉県農林総合研究センター/松山(株)/茨城県農業総合センター/(有)朝日製作所/ NPO法人ちば農業支援ネットワーク/千葉県落花生商工組合連合会/ 研究機関

千葉県農林水産部生産振興課および担い手支援課/茨城県中部落花生組合/茨城県南落花生組合

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA

11月19日(木) 11:35~11:50

●お問合先: TEL. 029-838-8481 FAX. 029-838-8484 〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1 ●所在地: OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/narc/

落花生の国内栽培面積はピーク時の1/8に激減し、国内流通量の9割は中国からの輸入です。 栽培面積の減少は、栽培全般の機械化の遅れが要因の一つです。そこで、現在開発を行っている 収穫機、播種機、乾燥機等について紹介します。また、近年需要が高まっている落花生新品種の 試食を行い、国産落花生の消費拡大につなげたいと考えています。

【マッチング希望】



農研機構野菜茶業研究所が育成した新品種や技術などの研究成果 内容について、広く来場された方へ紹介するとともに生産者や実需 者へ向け成果を普及したいと考えています。



国産落花生の消費拡大と生産量の増加を目指します。

(独)種苗管理センター

●お問合先: TEL. 029-838-6587 FAX. 029-838-6583 〒305-0852 茨城県つくば市藤本2-2 ●所在地:

OURL: http://seed.ncss.go.jp/

【出展内容】

種苗管理センターで実施している品種保護相談窓口等の業務紹介とともに、供給しているばれい しょ原原種 (約80品種)及び植物遺伝資源の展示等を予定しています。

(研)農業生物資源研究所



プレゼンテーション

11月18日(水) 12:00~12:15

●お問合先: TEL. 029-838-8469 FAX. 029-838-8465 ●所在地: 〒305-8602 茨城県つくば市観音台2-1-2

「蛍光シルク」で作った衣服や布をご覧ください!

OURL: http://www.nias.affrc.go.ip/

【出展内容】

遺伝子組換えカイコが紡ぐ「蛍光シルク」で作った衣服をご覧下さい。遺伝子組換えカイコで作っ た検査薬や、シルクの電子材料など、カイコの新しい使い方もご提案します。また、植物を病原菌から守る「植物保護細菌」をご紹介。菌を接種した植物で、その防除効果をご確認下さい。遺伝子

の働きから行う「イネの健康診断」の試みもご紹介します。

【マッチング希望】





健全な種苗の流涌及び新品種の保護・活用並びに地域資源を生か した6次産業化をサポートします。また、国内で流通しているばれい しょ品種を展示し、新品種等の活用を促進します。

【マッチング希望】







カイコ・シルク研究については蛍光シルクなど新機能シルクの製品 化、植物保護細菌については微生物農薬として製品化する農薬企業 への技術移転を目指します。また、イネの健康診断については、実現 に向けた技術開発を行う企業との共同研究を希望します。

受容体に働く安全な農薬・機能性食品の開発や カイコのヒト疾患モデルに関する研究を紹介します。

生64

(国)熊本大学

研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームC

11月18日(水) 11:10~11:25

●お問合先: TEL. 096-342-3274 FAX. 096-342-3239 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1

【出展内容】

特定の害虫種の受容体にのみ作用する農薬の開発、天然成分による安全な害虫防除と食品廃棄物の利活用、ヒト受容体に作用する機能性食品成分(抗肥満、抗アレルギー、胃腸改善などの作用)の効率的なスクリーニング技術、カイコを利用したヒト疾患 (パーキンソン病、摂食障害、精神 障害など)モデルに関する研究内容を出展します。

育てます豊かな食とみどりの東京

生65

(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センタ-



●お問合先: TEL. 042-528-5216 FAX. 042-523-4285 〒190-0013 東京都立川市富士見町3-8-1 OURL: http://www.tokyo-aff.or.jp/center/index.html

【出展内容】

2020年の東京オリンピックに向けて、海外から数多くの観光客が訪れます。東京都農林総合研究センターでは、都内産の農畜産物で「おもてなし」を可能とする新品種の育成や生産技術の向 上に取り組んでいます。今回の出展は、当センターで育成した野菜や果樹、畜産物を中心とした、 東京ブランドの農畜産物を紹介します。

【マッチング希望】







新しい作用点・害虫種特異的な殺虫剤の開発や、天然成分による安 全な害虫防除に興味がある、食品廃棄物の新たな利活用を考えてい る、作用機構が明確な機能性食品・サプリを開発したい、神経疾患 の治療薬リードを安価で効率的にスクリーニングしたい企業や研究 者の方々とのマッチングを希望しています。

【マッチング希望】



新たな流通・販売ルートの開拓や食品加工への活用など、都内産農 畜産物の取扱量が増加します。

自然の成分で植物の生長促進を活性化する

生66

(学)岡山理科大学 猪口研究室 エコアグリ会

●お問合先: TEL, 086-472-0821 FAX, 086-472-0890 〒711-0906 岡山県倉敷市児島下の町4丁目13-46 ●所在地:

http://www.ous.ac.jp/dept/dbc/

【出展内容】

竹の水蒸気分解抽出液による植物成長促進活性について出展します。竹材を高温高圧の水蒸気 で抽出した液体です。植物の成長に対する抽出液の効果を無菌環境で栽培した植物や圃場での各種作物を用いて検討し、現在までに様々な指標について促進的な効果を観察しています。また 廃棄の対象である自然素材を使うので環境負荷も小さいことが特徴です。

家畜改良センター所有の技術・家畜・フィールドを使った 共同研究、調査等の事例を紹介

生 67

(独)家畜改良センター



●お問合先: TEL. (0248) 25-6162 FAX. (0248) 25-3982

〒961-8511 福島県西白河郡西郷村大字小田倉字小田倉原1番地 ●所在地:

http://www.nlbc.go.jp/

家畜改良センター所有の技術・家畜・フィールドを使った共同研究、調査等の事例を紹介し、新 規共同研究・調査等の相手を募集します。

【マッチング希望】







温室栽培、畑栽培などで既存の肥料との併用で肥料効果が増大し、 収穫量が増やせたり、収穫時期が早まるなどの効果を期待します。

【マッチング希望】



遺伝子解析機関との家畜の改良に資する共同研究等を目指してい

「満天きらり」は世界で初めての、 苦みがほとんどなく食味に優れるダッタンソバ新品種です

生 68

(研)農研機構 北海道農業研究センタ



●セミナールームA プレゼンテーション 11月19日(木) 10:45~11:00

●お問合先: TEL. 011-851-9141 FAX. 011-859-2178 ●所在地: 〒062-8555 北海道札幌市豊平区羊ヶ丘1 OURL: http://www.naro.affrc.go.ip/harc/index.html

【出展内容】

試飲・試食

ダッタンソバは苦味があるのが特徴ですが、そのために広く普及するには至りませんでした。新品 種「満天きらり」は強い苦味が無くなり、食味が大幅に改善されています。また、ルチンを分解す る酵素をほとんど含まず、ルチンが加工品中にそのまま残るようになりました。このような特徴を 持つダッタンソバは前例が無く世界で初めての品種です。

【マッチング希望】





和食、洋食、和洋菓子向けに、世界で初めての良食味ダッタンソバ 「満天きらり」の特徴を生かした新しい商品開発と利用拡大を目指 します。また、生産地向けに、省力栽培が可能なダッタンソバ「満天 きらり」の導入による地域特産品の開発と6次産業化、耕作放棄地の 解消など地域の振興に貢献します。

水稲の低コスト生産、畑の除草効率化を目指して開発中の、 2つの革新的な作業技術を紹介

生 69

(研)農研機構 東北農業研究センタ・

プレゼンテーション

●セミナールームC 11月18日(水) 12:25~12:40

●お問合先: TEL. 019-643-3414 FAX. 019-643-3588 ●所在地: 〒020-0198 岩手県盛岡市下厨川字赤平4 OURL: http://www.naro.affrc.go.ip/tarc/

【出展内容】

農研機構東北農研が、農林水産省の革新的技術展開事業において現地実証中である以下の2つ の技術について、パネル、作業映像等によりご紹介します

- ①東北日本海側多雪地域における水稲の生産コスト低減をめざして開発中の、無コーティング種 子代かき同時播種機
- ②難防除雑草対策や有機栽培、特産作物、採種圃場などで雑草種子を駆除するために開発中の、 白走式蒸気処理防除機

【マッチング希望】



- ・開発中の無コーティング代かき同時播種機の普及に向けた情報提 供
- 開発中の自走式蒸気処理防除機の普及に向けた、特にモニター希 望者への情報提供

条件不利と言われる中山間地域で培われた、 施設園芸、自動灌水、放牧技術のピリ辛技術を紹介

生70

(研)農研機構 近畿中国四国農業研究センタ



●お問合先: TEL. 084-923-4100 FAX. 084-924-7893 ●所在地: 〒721-8514 広島県福山市西深津町6丁目12-1

【出展内容】

試飲·試食

あり

農研機構近畿中国四国農業研究センターが取り組む中山間地域向けの3つの研究成果をご紹介

- します。 ①断熱性の高い 「布団資材」とハウス模型展示
- ②小型のソーラーボンブを利用した自動点滴灌水システムの利用事例紹介 ③黒毛和種経産牛を放牧で仕上げた脂肪が少なく食味の良い「放牧仕上げ熟ビーフ」をビーフ ジャーキー提供などでPRします。

ここには、牛の繁殖・飼養管理を向上させる技術と 新しい抗菌剤があります。

生7

(研)農研機構 動物衛生研究所



●お問合先: TEL, 029-838-7705 FAX, 029-838-7907 〒305-0856 茨城県つくば市観音台3-1-5 OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/niah/index.html

【出展内容】

- 1. 牛のウエアラブル生体センシング技術を活用した繁殖管理・飼養管理技術の開発状況を広く 紹介すると共に、技術の実用化・普及に向けた情報交換や協力・連携先を求めています。
- 2.私たちは組換え型ブタリゾチームを大量生産させることに成功しています。ブタリゾチームを 感染症治療のための抗菌剤などとして製品化する企業を捜しています。

【マッチング希望】







生産現場での実績のある断熱性の高い布団資材やソーラー自動灌 水システムを紹介することで、技術利用の裾野が広がり普及の加速 化が図られると期待されます。また、中山間地域の耕作放棄地解消 の一助となる放牧仕上げ熟ビーフの取り組みへの理解を広げたいと 考えています。

【マッチング希望】





技術に興味を持つ機関・個人、技術の実証試験に協力可能な機関、 技術の商業化に意欲的な連携先をさがしています。感染症治療薬・食品保存剤・抗癌剤・抗菌繊維製品 (ガーゼ・シーツ・包帯)・人工 血管等についての共同開発以上を希望します。

東日本大震災の被災地域等で取り組んでいる原発事故対応と 復興支援のための研究開発を紹介

生72

(研)農研機構 本部 (震災復興研究)



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB 11月18日(水) 11:35~11:50

●お問合先: TEL. 029-838-8285 FAX. 029-838-7262

〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 ●所在地: OURI: http://www.naro.affrc.go.ip/disaster/index.html

【出展内容】

- 1. 放射性セシウムの農地等除染技術、動態解明技術、作物への吸収抑制技術や除染廃棄物の減 容・安定化技術等に関する農研機構の取組状況について、パネルや映像にて、展示・紹介しま
- 2.被災地域における高効率な農業経営を実現するための先端技術の現地適用化に向けた農研機 構の取組状況について、パネルで展示・紹介します。

農研機構の概要と産学官連携の取組のご紹介

(研)農研機構 本部



●お問合先: TEL. 029-838-8935 FAX. 029-838-8982 〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1 ●所在地: https://www.naro.affrc.go.jp/inquiry/sangaku.html

農研機構の概要および産学官連携の取り組みをご紹介するとともに、連携のご相談も受け付けて います。また、実用化もしくは商品化に向けて広く企業との連携を図りたい、あるいは生産現場で普及させたい技術や品種を掲載したパンフレット等をお配りします。さらに、スライドショー等を 使って農研機構内の各研究所の出展概要をご紹介します。

【マッチング希望】



東日本大震災からの復旧・復興に取り組んでいる農業者および農業 関係者が農研機構の研究成果を利活用することにより、復旧・復興 を促進します。

【マッチング希望】



農研機構内の各研究所の研究成果 (出展している成果を中心に)を 分かりやすくPRし、来場者のニーズや興味を引き出したいと考えています。もし、興味を持たれた出展(シーズ)があれば、該当するブー スに積極的に案内し、産学官連携につなげたいと思っています。

有機稲作でガッチリ大豊作! 栽培技術を支える土壌診断キットの開発に成功!

革新的土壌管理技術と診断キット研究開発コンソーシアム



生 74

●お問合先: TEL. 0263-92-6800 FAX. 0263-92-6808

〒390-1401 長野県松本市波田5632-1 ●所在地:

実 演 あり

試飲・試食

有機稲作というと、手間がかかり低収量というイメージがあるかもしれません。しかし上手に土づ くりを行えば、思ったより簡単に栽培できるものです。今回、土づくりの良否を診断するキットと その結果に応じた栽培技術を開発しました。本キットは有機栽培以外にも活用できます。その使 い方や、栽培技術の効果についてご紹介します。

【マッチング希望】





水稲作実施者や研究者に対して開発した土壌診断キットの周知を行 うとともに、キットの拡張・発展・技術移転に関してご助言・ご助力 をいただくことです。



1薬草を健康食品として商品化 2わかめTMRの効果をアピール 3アカガイの高効率生産を提案

食 02

(研)科学技術振興機構 JST復興促進センタ



1.(株)アミタ持続可能経済研究所 2.(一社)さとうみファーム 研究機関 3.(株)晃和工業

●お問合先: TEL. 022-395-5712 FAX. 022-395-5830 〒980-0811 宮城県仙台市青葉区一番町4-6-1 ●所在地: 仙台第一生命タワービルディング20階

OURL: http://www.jst.go.jp/fukkou/index.html

【出展内容】

- 1.【アミタ持続可能経済研究所】トウキ葉を利用した商品を紹介します。 2.【さとうみファーム】わかめTMR (発酵飼料)の牛への給餌事例を紹介します。
- 3. 【晃和工業】アカガイ (無脊椎動物)の人工種苗生産方法を用いた高効率増養殖システムをご

【マッチング希望】











【アミタ持続可能経済研究所】使用商品が全国に普及することと、被 災地や地方での雇用創出と産地形成を目指します。

【さとうみファーム】わかめTMR (発酵飼料)の小規模なプラント製 -作を目指します。

【晃和工業】水産関係、自治体へ人工種苗生産による安定供給可能 な管理型水産システムを提案します。

マイタケの新機能~ヘルペス治療効果に期待~

(株)雪国まいたけ/中部大学



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB

11月20日(金) 12:00~12:15

●お問合先: TEL. 025-778-0153 FAX. 025-778-1282 〒949-6695 新潟県南魚沼市余川89

OURI: http://www.maitake.co.jp/

我々はこれまでに、マイタケ抽出物の薬理活性について発表してきました。今回、マイタケの菌 糸培養液から調製したサンブルのヘルペス感染症治療効果について、感染症治療薬であるアシ クロビルと同等の効果が得られ、さらに薬剤耐性ウイルスに対しても有効性が示されたので、今 後、市販薬に代わる代替品としての利用が期待できます。

【マッチング希望】







今回、マイタケ子実体および菌糸培養液から調製した画分に抗ウイ ルス剤に匹敵するヘルペスウイルス治療効果があることを見出し、本画分を特に化粧品メーカーあるいは製薬企業に紹介して導入して いただき、ヘルペスに悩む方に広くお届けすることを目的としていま đ,

機能性ポリマーナノ光デバイスを用いた 超高感度検査システム

食 03

(公)大阪府立大学大学院 工学研究科

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB 11月20日(金) 12:25~12:40

●お問合先: TEL. 072-254-9284 FAX. 072-254-9284

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 ●所在地: OURL: http://www.osakafu-u.ac.ip/index.html

本展示では、食・環境・農業分野において有害物質やウイルス等をオンサイトで検出可能なナノ 光デバイス基盤技術について展示を行います。今回は、これまでの実績(医療診断等)について 展示を行い、アグリビジネスへ展開するためのニーズの把握および関連企業、研究機関とのマッ チングを行うことを目的としています。

【マッチング希望】









有害物質・菌などの混入を生産ライン中で安価・迅速に検出可能と なる、②食品中に混入した有害物質・ウイルス等を簡便に同定可能 となる、③環境(大気・土壌・環境水)中の有害物質等をオンサイト で検出可能となること等が挙げられます。

我々の技術シーズ事業化イメージは、①食品製造工程での不純物・



(国)北海道大学 産学・地域協働推進機構



プレゼンテーション

●セミナールームA 11月19日(木) 14:55~15:10

●お問合先: TEL. 011-706-9561 FAX. 011-706-9550

●所在地: 〒001-0021 北海道札幌市北区北21条西11丁目 北キャンパス総合研究棟3号館

OURL: http://www.mcip.hokudai.ac.ip/

【出展内容】

プンイノベーションによる食の研究開発拠点施設や食科学に関する情報や います。本ブースでは新規食品素材としてメガロ糖、Ω3不飽和脂肪酸、北方圏紅藻類のご紹介と 【出展内容】

●所在地: OURL:

試飲・試食

食 07

あり

本出展では、本学で研究等が行われている、大学ブランド「宮大Beef・Milk」や、本県の早期水 稲後作を利用した晩期大豆生産等、「地域ブランド魚 (みやざきサクラマス)」の生産、微生物燃料 電池や油糧微生物ラビリンチュラを利用したジェット燃料生産、本学産業動物防疫リサーチセン -の紹介や、前途研究のパネル展示、加工物の試食を行います。

〒889-2192 宮崎県宮崎市学園木花台西1丁月1番地

研究開発推進を担うプラットフォーム組織を創設し、「食と健康」研究の国際拠点形成を目指して 冷蔵温域のインジケータを展示します。

【マッチング希望】





「アンカー型イソマルトメガロ糖」、「酸化しないQ3高度不飽和脂肪 酸素材」は、機能性成分に関心を持つ企業との連携による製品化を、 「北方圏紅藻類」は生産者、加工業者、地域等との連携による商品 開発を、「温度管理の「見える化」技術」は流通業者との連携による 実証実験を目指します。

【マッチング希望】







宮崎大学農学部で行われている、

最新の研究シーズを照会します!!

●お問合先: TEL. 0985-58-7151 FAX. 0985-58-2884

http://www.miyazaki-u.ac.jp/

(国)宮崎大学

本学の研究内容について、商品化を検討しておられる企業の方に、 是非来場していただきたいと考えております。例えば、非食用の植 物性バイオマスからのバイオ燃料生産や、感染症診断検査キットの 製品化や、感染症疾病診断検査の受託事業、伝染病制御に関するリ スクマネジメント専門家養成事業等です。

高機能性ポリフェノール・プロアントシアニジンの化学研究を 基盤とした商品開発を行っています

(学)大阪電気通信大学工学部 環境科学科



食06

「ラズベリー・プロジェクト」

富山県農林水産総合技術センター/園芸研究所(株)/

べり一らぼ(大阪電気通信大学内 ベンチャー企業)/社会福祉法人ハニコウム園芸/ 研究機関 木村酒類販売(株)/グリーンガーデン(貸農園)

●お問合先: TEL. 072-824-1131 FAX. 072-824-0014 〒572-8530 大阪府寝屋川市初町 18-8 大阪電気通信大学

OURL: http://www.osakac.ac.jp/

から農業へという新たな取り組みを紹介させていただきます。

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA 11月19日(木) 15:45~16:00

●お問合先: TEL. 0265-77-1600 FAX. 0265-77-1600

です。今回は、加工後の精白米を用いて甘酒を試作しました。

栄養機能性を富化した高圧加工米とその応用開発

(国)信州大学大学院農学研究科

〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304 信州大学大学院農学研究科 機 ●所在地:

能性食料開発学専攻 機能性分子解析学研究室

●LIRI · http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/agriculture/graduate/master/f-foods.php

中高圧(100MPa)条件で、穀類に水を添加して、加温・加圧処理することにより、種皮や胚芽に

含まれるポリフェノール類や遊離アミノ酸等の栄養機能成分を可食部に移行させる技術を見出し ました。玄米への処理では糠中の成分に加えて、外部から胚乳への栄養機能成分の賦与も可能

【出展内容】

我々は、作物中に含まれる高機能性物質プロアントシアニジンの標準サンプルの合成・提供・機 能性証明研究を行ってきました。その過程で、微細な構造によって活性が異なることを証明しました。また、プロアントシアニジンを多く含むラズベリーに注目し商品開発に取り組みました。 化学

【マッチング希望】









8月末に、プロアントシアニジンを多く含むラズベリー抽出液(食品 添加物を想定)や、ラズベリーを使用した商品 (食品)の開発、その 販売・流通等を行う学内ベンチャー企業を立ち上げました。この企 業の発展を目指して、資金提供していただける方、支援者、共同研究 者を獲得したいと考えています。

試飲・試食

【出展内容】









高圧加工玄米は精米しても歩留まりが低下せず、精白米としての提 供が可能です。また、加圧下で処理するため、微生物による変敗も 抑止できます。そのため機能性を富化した精白米や米粉として活用 できます。コメの利活用に関心のある企業とのマッチングを希望し ます。

試飲・試食

日向の国 "宮崎" を代表する果物・日向夏(ヒュウガナツ)で 骨もバランス良い生活を!



一丸ファルコス(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA

11月20日(金) 13:15~13:30

●お問合先: TEL. 058-320-1017 FAX. 058-320-1060 〒501-0475 岐阜県本巣市浅木318番地1 ●所在地:

【出展内容】

農林水産省の競争的資金(平成25年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業 「医食農連携による日向夏搾汁残渣を用いた骨代謝改善素材、飲料の実用化開発」)の成果の一 部を公表します。今回の出展ではこれまでの研究内容に最新のデータを加え、日向夏みかんに期 待される機能性や開発について、大学と企業のコラボでご紹介します。

宮崎から日向夏を利用した研究成果の一部を紹介し、 日向夏の魅力についてたっぷり説明します。

食 09

宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学



●セミナールームA

11月20日(金) 13:40~13:55

●お問合先: TEL, 0983-27-1111 FAX, 0983-27-4584 〒889-1301 宮崎県児湯郡川南町大字川南20016-3 ●所在地:

OURI: http://www.kaivu.co.ip/

試飲·試食

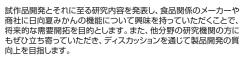
農林水産省の競争的資金 (平成25年度農林水産業・食品産業科学技術研究推進事業委託事業) の支援を受け、「医食農連携による日向夏搾汁残渣を用いた骨代謝改善素材、飲料の実用化開発」を行っています。本事業を通じていくつか有用なデータを得ましたので、ポスター展示と実際 にヒト試験用の飲料を来場者に試飲して頂き評価を集めます。

【マッチング希望】









【マッチング希望】



骨代謝改善飲料について説明を行い、特に女性を対象に試飲して頂 き意見を聞きたいです。食品関係(卸売業者)とのマッチングを希望 し、そこで様々な意見を聞き、今後の研究及び事業化へ向けての足 掛かりとします。

食

アレルギー症状抑制効果

食10

(国)愛媛大学

研究機関

四国乳業(株)/伊方サービス(株)/(株)ファイン/クロレラ本社(株)

プレゼンテーション

●セミナールームA

愛媛大学が開発したミカン果皮とヨーグルト成分の混合による

11月20日(金) 14:05~14:20

●お問合先: TEL. 089-927-9000 FAX. 089-927-9025 ●所在地: 〒790-8577 愛媛県松山市道後樋又10-13 OURL: http://www.ehime-u.ac.ip/index.html

【出展内容】

試飲・試食

愛媛大学の研究と地域の農産品のコラボレーションの成果である、柑橘果皮成分と乳タンパク質 との相乗的なアレルギー緩和効果を活用した商品開発 (ヨーグルト、錠剤、ゼリー、飴など)の研 究結果と製品群をご紹介します。

【マッチング希望】



コラボ製品の流通拡大や食品機能性に関する共同研究のご相談を

期待します。

低温・低ダメージ・低環境負荷のプラズマ殺菌技術で、 農産物・食品の品質保持を実現します。

佐賀大学/佐世保工業高等専門学校/琉球大学/ 大阪府立環境農林水産総合研究所

プレゼンテーション

11月19日(木) 10:45~11:00

●お問合先: TEL. 0952-28-8639 FAX. 0952-28-8651 ●所在地: 〒840-8502 佐賀県佐賀市本庄町 1番地

実 演

佐賀大学大学院工学系研究科電気電子工学専攻

【出展内容】

あり

種子や粉末状の食品材料、かんきつ類などの農産物に対して有効な、プラズマ殺菌消毒技術およ び処理装置を開発しました。本技術は、蒸気殺菌よりも低温での処理が可能であり、薬品の残存 が無く、風味や栄養素の劣化が少なく、細菌の薬剤耐性の発生が無く、乾燥環境下での殺菌処理 が可能など、既存の殺菌方法に無い特長を持っています。

【マッチング希望】



種苗メーカーの種子選別工程にプラズマ殺菌を導入し、種子を殺菌 して栽培時の病原体の発生を抑制します。かんきつ類を扱う選果場 で農産物にプラズマ殺菌処理を行い、カビ類の発生を抑制します。 食品加工メーカーで顆粒状食品材料にプラズマ殺菌処理を行い、製 品への細菌の混入と品質劣化を防ぎます。

北限ユズ果汁の瞬間的高圧搾汁による高付加価値化実証研究

食 12

沖縄工業高等専門学校



研究機関 **大阪サニタリー(株)**

研究・技術

●セミナールームB

11月19日(木) 11:10~11:25

●お問合先: TEL, 0980-55-4003 FAX, 0980-55-4012 〒905-2192 沖縄県名護市字辺野古905番地 ●所在地: http://www.okinawa-ct.ac.jp/ OURL:

【出展内容】

本研究は、岩手県陸前高田市産の「北限のユズ」を岩手県の特産品としての全国アピールを目的 としています。

果汁を搾るのに利用する瞬間的高圧は超音速で高圧が伝わり、加熱せず細胞や組織を破壊して 細胞内成分などを高効率に抽出する上、香り成分や機能性成分の抽出量増加が見込め、瞬間的 高圧発生のための消費エネルギーは極めて低コストです。









北限ユズ生産現場での搾汁工程で、前処理として瞬間的高圧処理を 行い、その後従来通りの搾汁を行うことで、香り成分や抗酸化活性な どの機能性成分の増加が見込まれ、高品質果汁の生産が期待されま す。

地域で収穫される農水畜産物の美味しさと健康成分および 保存性を増大させるUV乾燥貯蔵法

食 13

(学)八戸工業大学



●セミナールームB

11月20日(金) 14:05~14:20

●お問合先: TEL. 0178 -25-3111 FAX. 0178-25-6825 〒031-8501 青森県八戸市大字妙字大開88-1

•URI: http://www.hi-tech.ac.jp/

【出展内容】

試飲・試食

磁素活性を高める効果と殺菌効果があるUV-A照射を適用することで生鮮品のような風味を保 ち、健康成分と保存性を増大させるUV照射乾燥法の展開例として①ノンボイル乾燥牡蠣②と殺 直後の畜肉の熟成③減塩炊き込みご飯の素を展示します。さらに廃校を活用して地域発農水林 畜産資源の商品化を図る「実証試験塾」を紹介します。

【マッチング希望】





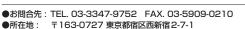


UV-A照射は、①乾燥野菜等の乾燥工程に設置し、機能性野菜・果 物の流通に②ホヤ、牡蠣、ホタテ等のノンボイル高級食材の製造工 程に③ハム等の畜肉製造、牛丼店の大型冷蔵庫に設置し、熟成期間 の短縮で経済と流通の効率化に④貯蔵用ショーケースや冷蔵庫に⑤ 全国各地の廃校活用に利用できます。

水なしで!!活きたままヒラメを消費地まで!!

食 14

(公)宮城大学·積水化成品工業(株)(大学、民間企業 共同出展)



小田急第一生命ビル23F 積水化成品工業 (株) http://www.sekisuiplastics.co.ip/

OURL:

【出展内容】

今までの活魚輸送では、魚を多量の水とともに輸送しており非常にコストがかかっていました。宮 城大学はヒラメを低温休眠させる技術を開発、積水化成品工業は輸送中のダメージを軽減する 容器を開発しました。両技術の融合により、ヒラメ活魚を水無で輸送することが出来るようになり

水産大学校は水産に関して、水産関連企業と連携した 教育研究活動の充実を目指しています。

食 15

(独)水産大学校



●お問合先: TEL. 083-286-5111 FAX. 083-286-2292 〒759-6595 山口県下関市永田本町二丁目7番1号 ●所在地:

http://www.fish-u.ac.jp/

試飲・試食

パネル(褐藻類の抗アレルギー効果、食物アレルギー対策技術、魚卵加工品の高品質化に向けた じら、うに、あゆ)の試食を行います。

【マッチング希望】



活魚の輸送でコスト低減を考えられている企業および飲食店との マッチングを希望します。

【マッチング希望】







本校は水産に関してのシーズを擁しているため、水産関連企業との マッチングを希望します。水産関連企業の中でも、特に食品加工、冷 凍技術、流通関連企業をマッチングの希望相手としています。

(学)東洋大学

供)オプトニクス精密 研究機関

プレゼンテーション

●セミナールームA

11月19日(木) 13:40~13:55

●お問合先: TEL. 03-3945-7564 FAX. 03-3945-7906 ●所在地: 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 OURL: http://www.tovo.ac.ip/site/ciit/

【出展内容】

実 演 あり

試飲・試食

共同研究企業である (株)オプトニクス精密が完成させた「金製コーヒーフィルター」を用いて淹 れたコーヒーに関する研究成果で、この金製フィルターは、ペーパーフィルターとは、コーヒーの 味が異なることを見いだしました。味の違いや機能性の違いについても、併せて展示します。ま た、味の違いを試飲していただく予定です。

【マッチング希望】





-ヒーの味や香り、また機能性に関する諸説はさまざまですが、 フィルターに着眼した研究報告はこれまでなく、この新たなコーヒー に関する知見をもとに、アグリビジネスの分野と異業種である微細 加工技術の技術シーズがマッチングし、新しい分野が拓けることを期 待しています。

(公)秋田県立大学

育て方教えます。ぜひご試食ください♪

プレゼンテーション

●セミナールームA

11月19日(木) 15:20~15:35

●お問合先: TEL. 018-872-1557 FAX. 018-872-1673 ●所在地: 〒010-0195 秋田県秋田市下新城中野字街道端西241-438

秋田から全国へ!機能性野菜や高糖度トマト、キイチゴの

URI: http://www.akita-pu.ac.ip/

【出展内容】

実 演 あ り 試飲・試食 あ り

①低カリウム、高鉄、高亜鉛など、機能性野菜の栽培方法について、実用化を検討されている方 への紹介を行います

②「タンデムリングミル型粉砕機」で粉砕したスギの微粉末を用いて、WPC(木材プラスチック 複合材)や木質飼料など建材以外の用途開発に取り組んでいます。

③キイチゴの栽培 (果実障害回避技術)から商品化までを紹介します。

【マッチング希望】







①植物工場と提携し、機能性野菜市場への流通が増える。 ②木材プラスチック複合材を用い、ルーバー向けに高耐久性エクス テリア製品が実用化できる。

③セルロース系木質飼料とエコフィードを素材とする発酵TMRが実 用化できる。

④卸業、小売業、加工業者の方と国産キイチゴを6次産業化できる。

農・工・医・歯・教育・法学系の連携による食品研究の新たな展開

食 18

(国)新潟大学 地域連携フードサイエンスセンタ



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームC

11月18日(水) 11:35~11:50

●お問合先: TEL. 025-262-6674 FAX. 025-262-6674 〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐2の町8050 http://www.agr.niigata-u.ac.jp/food-sc/ OURL:

3)超高圧食品加工技術に関する研究成果の紹介と製品の事例を展示します。

4) 「日本災害食」認証規格制度と製品事例のご紹介、試食を行います。

2)収穫果実の熟度判定器とシステムの開発をご紹介します。

5)食の産学官連携を進める当センターをご紹介します。

【出展内容】

1)米の機能性に関する研究成果を発表します

実 演 あり

試飲・試食

(株)コロンバンと共同提案

新規野菜を使った食べやすく・機能性を考えたスイーツを

食 19

(学)東洋大学

共同 研究機関

(株)コロンバン

●お問合先: TEL. 03-3945-7564 FAX. 03-3945-7906 〒112-8606 東京都文京区白山5-28-20 ●所在地: OURL: http://www.toyo.ac.jp/site/ciit/

【出展内容】

試飲·試食

種苗会社(株)トーホクと東洋大学 下村教授が共同開発したニンジン皇の非常に少ない新規ニン ジン「アロマレッド」を用いたニュータイプの洋菓子を提案します。現在、機能性について分析し たカボチャについても展示します。また、新規のニンジン「アロマレッド」とカボチャなど野菜を用 いた洋菓子の試食品があります。

【マッチング希望】

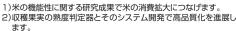












3)超高圧食品加工技術に関する研究成果で高圧加工の食品への応 用を進展します。

4)災害食の開発促進と国民の食の備えの充実を提案します。

【マッチング希望】











上記の特徴ある野菜を使ったスイーツを開発し、健康志向の強い、 新しい購買層の提案を目指しています。

食品加工・流通技術の研究・開発をはじめ、 事業者への施設の開放や販路拡大の支援を行っています

食 20

鹿児島県大隅加工技術研究センタ・



研究機関

鹿児島県農業開発総合センター/鹿児島県工業技術センター

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB

11月18日(水) 12:00~12:15

●お問合先: TEL. 0994-31-0311 FAX. 0994-31-0319 〒893-1601 鹿児島県鹿屋市串良町細山田4938 ●所在地: http://www.oosumi-kakou.com/

OURI:

実用規模で農産物の一次加工が可能な加工ライン実験施設や、一次加工・高次加工が可能な加 スポルスに、展生物の一人加工が可能が加工プロンスを加設して、人加工・高人加工が可能が出 工開発実験施設を保有しています。それらを活用した技術の研究・開発や、施設を利用者に開放 することにより、事業者が商品開発や試作品の販売を行うことも可能です。今回の出展は、共同 研究、技術移転、施設利用等の推進が目的です。

【マッチング希望】





技術の応用による新たな商品開発など、食品製造を行う企業との マッチング (鹿児島県が保有する技術シーズの周知)、食品の品質保持技術に関するマッチング (共同研究機関・技術移転先の発掘)を 期待しています。

未知化合物へチャレンジするメタボローム解析受託サービス

食 21

(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センタ



●お問合先: TEL. 0438-52-3580 FAX. 0438-52-3501 〒292-0818 千葉県木更津市かずさ鎌足2-5-23 ●所在地: http://www.biosupport.kazusa.or.jp/sub_center3/

私たちはメタボローム解析に関する研究&開発を行って参りました。この技術を社会に広く役立 てるためにメタボローム解析受託サービスを開始しています。 弊所のサービス内容をポスター やパンフレットで分かり易くお示しし、多くの皆様にサービス内容をご理解頂きたいと考えていま す。また解析相談にも積極的に対応いたします。

【マッチング希望】









(タボローム解析受託サービス事業から得られた社会的ニーズ情報 および収入を研究・開発にフィードバックし、より有用な技術・サー ビスを開発し社会に貢献します。

日本独自の新技術により、「冷蔵で長期保存できる新食感」の 高圧加工果実製品を実現しました。



(研)農研機構 食品総合研究所

●お問合先: TEL. 029-838-7152

〒305-8642 茨城県つくば市観音台2-1-12 ●所在地: OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/nfri/index.html

【出展内容】

試飲・試食

農林水産省の実用技術開発事業2014及び共同研究 (農研機構食総研、(一社)長野県農村工業 研究所、長野県工業技術総合研究所、石川県農林総合研究センター、岐阜県農業技術センター)での研究成果を展示します。高圧加工によるリンゴ、アンズ、ウメ、カキの果実シロップ漬等を展 示し、リンゴについては試食とアンケート調査を行います。

(公)長崎県立大学

共同 研究機関 長崎県農林技術開発センター/長崎大学/九州大学

活用した健康機能性を有する発酵茶

●お問合先: TEL. 095-813-5500 FAX. 095-813-5220 〒851-2195 長崎県西彼杵郡長与町まなび野 1-1-1 ●所在地:

三番茶葉、ビワ葉、ツバキ葉、未熟ミカンなどの未利用資源を

OURL: http://sun.ac.ip/

【出展内容】

試飲・試食

食 25

光

長崎県産農産物を活用した発酵茶を紹介します。

- ・ビワ葉発酵茶はビワ葉と緑茶三番茶葉を混合した発酵茶で、体脂肪や中性脂肪を低下させま す。
- ・ツバキ発酵茶はツバキ葉と緑茶三番茶葉を混合した発酵茶で、血糖値の上昇を抑制します ・摘果ミカン発酵茶は摘果ミカンと緑茶三番茶葉を混合した発酵茶で、脂質濃度を低下させます。

【マッチング希望】





高圧加工果実シロップ清は、冷蔵での長期保存が可能であるため、 収穫期外等での経年供給が可能であり、和洋菓子素材として、レスト ランで供されるパフェ等のトッピング素材として、各種の高圧加工果 実シロップ漬の事業展開を可能とし、国産果実加工品の新用途を開 拓できます。

【マッチング希望】



長崎県、長崎県立大学、長崎大学および九州大学が独自に開発した 機能性を有する発酵茶です。ビワは混合発酵茶とツバキ茶葉すでに 販売していますが、現在、機能性表示食品を目指した取り組みをして おり、摘果ミカン混合発酵茶とともに全国的に販売したいと考えて います。

機能性育種のパイオニア。種子から生産、加工、流通までを ·貫してブランド化に取り組みます。

食 24

(有)植物育種研究所

研究・技術

●セミナールームA

11月19日(木) 14:05~14:20

●お問合先: TEL. 0123-72-5680 FAX. 0123-72-5680 〒069-1511 北海道夕張郡栗山町中央2丁目45番地 ●所在地:

http://ikushu.com/ OURI:

【出展内容】

試飲・試食

機能性を持つ農林水産物・食品開発プロジェクト「ケルセチンを高含有するタマネギ」の実用化 を紹介します。特に機能性農産物を活用した地域ブランド化について生産者とともに商品を紹介 し、加工・流通・研究の連携先を探します。産地と食品企業が連携したこれまでにない農産物の 開発の事例「涙の出ないタマネギの開発」についても紹介します。

(国)岩手大学

ジビエの安全普及をビジネスに!

研究機関

岩手大学農学部附属動物医学食品安全教育研究センター

研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB

野生動物肉(ジビエ)中の病原体簡易迅速検査法の開発:

11月20日(金) 13:15~13:30

●所在地: 〒020-8550 岩手県盛岡市 ト田3-18-8

OURL: http://www.iwate-u.ac.jp/

【出展内容】

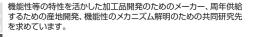
シカやイノシシなど、野生動物の駆除に伴う肉の利用が注目され、ジビエ料理として普及する可 能性があります。一方で、野生動物は衛生的には全く管理されておらず、一頭一頭の検査が重要 となります。この出展では、野生動物中の病原体を、検査技術のない一般人でも実行可能で、か つ、迅速に結果が得られる簡易検査法の原理と試作を提供します。

【マッチング希望】









【マッチング希望】









食品会社や、野生動物調査、野生動物の駆除とその利用を考える方 とのマッチングが考えられます。また、検査キット作製会社で、検査 対象を広めようと考えているところとのマッチングもありえると思い

地域結集型研究開発プログラム

「静岡発 世界を結ぶ新世代茶飲料と素材の開発」の事業成果

食 26

(公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンタ

研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA

11月19日(木) 14:30~14:45

●お問合先: TEL. 054-254-4513 FAX. 054-253-0019

〒420-0853 静岡県静岡市葵区追手町44-1 静岡県産業経済会館 2階 ●所在地:

OURI: http://www.ric-shizuoka.or.ip/fsh/

静岡県・静岡市地域結集型研究開発プログラム「静岡発世界を結ぶ新世代茶飲料と素材の開発」 では、おいしく安全で新しい機能性を持つ新世代茶飲料や素材の開発に取り組んで参りました。本出展においては、これまでの研究成果をバネル展示等により紹介するとともに、成果品である 「白葉茶」「高香味発揚茶」の試飲を行います。

優れた抗肥満効果を持つスダチ(徳島県特産品)果皮特有の 機能性成分「スダチチン」の抽出と精製

食 27

(公財)とくしま産業振興機構



●お問合先: TEL, 088-669-4757 FAX, 088-669-4759 〒770-8021 徳島県徳島市雑賀町西開 11-2 ●所在地:

OURL: http://www.our-think.or.jp/

【出展内容】

(公財)とくしま産業振興機構が中核機関として実施した文部科学省「徳島 健康・医療クラスター」 事業でのスダチ (徳島県特産)果皮特有の機能性成分「スダチチン」(ノビレチンと類似構造)の 優れた抗肥満効果報告を受け、池田薬草㈱と徳島大学・徳島県が共同で開発したスダチチン含 有スダチ果皮エキス末の量産化等の研究成果を展示します。

【マッチング希望】







「白葉茶」と「高香味発揚茶」は、高級茶であることから高級デパート や料亭などの新たな販路開拓を希望します。「テアフラビン」は、様々 な末端商品製造企業と連携し機能性食品等の商品化を目指します。

【マッチング希望】







スダチ果皮固有成分であるスダチチンはノビレチンと構造が類似し ており抗肥満効果等を期待することができます。スダチ果皮やその 抽出エキスに新たな利用価値が見出され、国民の健康増進に寄与で きる商品につながることを期待しています。

埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会

プレゼンテーション

●セミナールームC 11月18日(水) 10:45~11:00

●お問合先: TEL. 048-858-3137 FAX. 048-858-3137

●所在地: 〒338-0826 埼玉県さいたま市桜区下大久保255 埼玉大学内 研究機構棟411室

OURL: http://www.oh-mugi-power.com/

【出展内容】

試飲・試食 あり

「大麦粒・大麦粉」を使った応用食品例の展示、試食、試飲によりその良さを実感できます。

島根大学発 六次産品を紹介します。

(国)島根大学 農林水産業の六次産業化プロジェクトセンタ



プレゼンテーション

●セミナールームB 11月19日(木) 10:20~10:35

●お問合先: TEL. 0852-32-9715 FAX. 0852-32-9715 ●所在地:

http://www.rokuiika.shimane-u.ac.ip/rokuii0001.pdf OURL:

【出展内容】

試飲・試食 あり

島根大学の保有する食品シーズと柿ドリンク「晩夕飲力」などの六次産品、研究の取組みをパネ ルと実物で紹介します。

食

【マッチング希望】



「大麦粉·大麦粉 | を応用する食品開発に関心のある企業を呼び込み、 「大麦粒・大麦粉」応用食品の裾野を広げることです。

【マッチング希望】



鳥根大学六次産業化プロジェクトセンターが関わる六次産品(西条 柿とその加工品 (西条柿ドリンク 「晩夕飲力」、西条柿顆粒))の販売 先開拓、東京市場への販売拡大を考えています。



食30

大森ヘルスケア(株)



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB

11月19日(木) 11:35~11:50

●お問合先: TEL. 086-293-1144 FAX. 086-293-7373 〒701-0165 岡山県岡山市北区大内田828-2 ●所在地:

http://www.ohmori-net.co.jp/ OURL:

試飲・試食

6年目の岡山大学との共同研究も「ちしゃとう抗アレルギー作用」です。5月には順天堂大学で「ヒ ト」への臨床試験を実施し「アレルギー」だけでなく「血糖値降下」など多彩な効果が医学的に検

展示商品:サプリメントとして「100%粉末」主食となる「うどん」お菓子の「キャンディ」野菜不 足を補う「青汁」「健康ドリンク」

信頼される食文化の創造を目指す

食31

(株)食の科学舎

●お問合先: TEL. 011-223-3585 FAX. 011-223-3587

〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西 13丁目 4番地 タケダ札幌ビル7階

IIRI · http://shokunokagaku.com/

【出展内容】

試飲・試食 あり

北海道の農水産物の付加価値向上を目的とする研究・開発を、大学・研究 機関との共同研究を 通じて、新しい食の提案、新たな販路拡大を目指し、事業活動を進めています。 今回の展示会では、高齢化に伴い大きな注目を受けている課題の一つであるオーラルケア/虫歯予防に効果 がある海藻抽出成分 「レクチン | を紹介します。

【マッチング希望】







抗アレルギー剤の開発において、製薬関係メーカー様のご来場を お待ちしています。また、ドリンク剤や機能性飲料のメーカー様と のマッチングで、花粉症などのアレルギー症状で悩んでおられる何 千万人もの皆さんに、安心して摂取していただき、症状の緩和でお 喜びいただけることを祈念しています。

【マッチング希望】





虫歯予防に効果がある成分「レクチン」を活用した新製品の開発を 目指しています。

高アミロース米の利用価値と植物単細胞化による 野菜・果物・穀物の利用

健康生活素材(株)



●セミナールームA

11月19日(木) 13:15~13:30

●お問合先: TEL. 03-3388-1108 FAX. 03-3388-1109

〒165-0021 東京都豊島区池袋2-14-11 ローヤルハイツ 8F ●所在地:

OURI: http://www.kenko-sozai.co.ip/

国産高アミロース米の健康価値および利用および牛乳をより食してもらうための物性変化をさせ た新たな牛乳食品についてプレゼンテーションを希望します。日本ではモチモチ感のあるお米が 好まれますが、健康なお米を考えた場合、糖質をコントロールしなければならない高齢者にとって 高アミロース米が注目され重要なお米になると考えています。

国際的な食料・環境問題の解決に向けた 農林水産技術の研究開発

(研)国際農林水産業研究センター



●お問合先: TEL. 029-838-6313 FAX. 029-838-6316 〒305-8686 茨城県つくば市大わし1-1 ●所在地: http://www.jircas.affrc.go.jp/index.sjis.html

平成26年度の成果情報を中心に、展示を行います。

「トウモロコシとダイズの混作が乾燥ストレス軽減と生産性向上に寄与する」や「乾燥・低温ストレ ス環境下におけるイネの代謝関連遺伝子の転写制御の重要性」など、現地が抱える問題の解決の 可能性を研究しています。

【マッチング希望】







国産の高アミロース米および牛乳の物性変化の利用と発展に協力し ていただける食品加工会社、レストラン、お店の方のご来場をお待ち しております。

【マッチング希望】



開発途上地域の農林水産研究機関、国際農業研究機関等との連携・ 協力の下で研究を推進しています。開発途上地域の農林水産技術 の向上に貢献できる企業との連携を期待しています。

環 01

●お問合先: TEL. 029-873-3211 FAX. 029-873-1541

あり

森林計測、国産材利用、バイオマス利用、ナラ枯れ対策、

〒305-8687 茨城県つくば市松の里1

http://www.ffpri.affrc.go.jp/

実 演

「森林調査のための簡易レーザ計測装置」「肉だけじゃない、シカの資源活用」「ナラ枯れ対策技 術」「トレファクション (半炭化)による木質燃料の高性能化」「国産針葉樹を用いたコンクリート型 枠用合板」「国産材を原料としたセルロースナノファイバー」「木材の直接メタン発酵技術」など、 森林・林業・木材産業に関する最新の研究成果を紹介します。

八ヶ岳フォーラム 次世代施設園芸を進める炭素繊維CFRP ハウスなど新技術を展示

(特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム

ハヶ岳中央農業実践大学校/(公財)農村更生協会/NPO元氣農業開発機構/サクラ化学工業/ 研究機関 日立キャピタル/損保ジャパン/次世代農業/T·Sエコファーム/東湘物産/日本豊受自然農/御池鐵工所

プレゼンテーション

●セミナールームA 11月20(金) 15:20~15:35

●お問合先: TEL. 03-3826-5212 FAX. 03-3826-5217 ●所在地: 〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-41-9 フランス堂ビル3階

OURL: http://genkinougvou.asia/

【出展内容】

試飲・試食

民間企業が研究開発した技術を検証するために(公財)農村更生協会の後援を頂き、八ヶ岳中央 農業実践大学校の圃場で行うことにしております。企業の参加は10社となっており、炭素繊維を使って我が国の施設園芸、畜舎、鶏舎、牛舎等の建物を既存のものより低価格で提供。バイオマ ス発電、ソーラーシェアリングと新しい水耕栽培、地域活性化に繋がるレディガーリックの栽培技 術と試食、人畜無害の消臭・殺菌剤、環境浄化技術、各地で展開する自然農法の実践方法と農産 物から化粧品製造等の提案等を展示していきたいと思います。

【マッチング希望】





『我が国の農林水産業発展ごそ地方創生を成功させる』『地方に産 業をつくるために新しい技術を提唱』 「6次産業化を推進し、若い人 たちの年棒を確かなものにする。安心安全な農林水産物を生産し、 それを加工し、輸出に結びつける。そのために必要な技術を民間で 開発したものを結集してまいります。そのためには、多くの研究機 関、大学、企業の支援が必要となります。

温室効果ガスの削減とエネルギー回収効率の改善を目指し、新資源 の実用・事業化へ繋げます。農家・自治体・企業との実証試験や、機械・ 設備製造・電機系企業との共同研究を経て社会に役立つ利活用技

畜産から未来へー温室効果ガス削減技術ー

(研)農研機構 畜産草地研究所

●お問合先: TEL, 029-838-8249 FAX, 029-838-8606 E-mail. nilgs-koryu@naro.affrc.go.jp

●所在地: 〒305-0901 茨城県つくば市池の台2 OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/nilgs/

【出展内容】

温室効果ガス削減などに関する研究を紹介し、ブース内でミニ講演も設定します。炭素繊維に付 温生がアントアルルでは、日本ので レット燃料試作品の配布などを行います。

術を組み合わせた事業展開を描いています。

『日本古来の森を守り、日本の伝統を受け継いでいくために、若者にアピールするために、ボラン ティア活動を推進する。そして花のある暮らしを推進する。』ために新しい発想で花飾りを提案し ていますが、花の生産、輸出を支援するために研究機関と連携し、来年トルコで行う花の博覧会に 出展していきたいと思っています。新鮮な花飾りを提案してまいります。

〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-41-9 フランス堂ビル3階

-般社団法人 森花ジャパン・森と花と農業とのコラボレーション

(特非)元氣農業開発機構② 森花ジャパン

●お問合先: TEL. 03-3826-5212 FAX. 03-3826-5217

http://genkinougyou.asia/

OURL:

【出展内容】



我が国の花き生産と輸出に向け、新たな技法を提案し、更に森を守り・森の資源の有効活用をすることによる中山間地域の活性化を目 指すため、花き研究所と森林研究所などの関係研究機関とマッチン グを希望します。

【マッチング希望】







シカ資源利用について出展します。

(研)森林総合研究所



世界の食料問題と環境問題の克服に貢献する、 当研究所の最新の研究成果をご紹介します。

環 05

環 02

(研)農業環境技術研究所

●お問合先: TEL. 029-838-8148 FAX. 029-838-8199 〒305-8604 茨城県つくば市観音台3-1-3 ●所在地: http://www.niaes.affrc.go.jp/

【出展内容】

農業環境技術研究所では、土壌、水、大気などの環境資源の保全と持続可能な農業を実現するた め、地球温暖化対応、農業生産と生物多様性保全の両立、食の安全を脅かす有害化学物質のリスク低減など、農業と環境にかかわるさまざまな研究・技術開発を行っています。本フェアでは、最 近公開になった技術を中心に、パネルや実物の展示をします。



開発した技術の実用化を目指しています。

【マッチング希望】

●所在地:



出展テーマについて情報交換を行い、ユーザーの皆様のご意見を伺 いたいと思います。セルロースナノファイバーなど実用検討段階のものについては、企業との連携による製品化・事業化を目指してい ます。

熱プロコンソーシアム



農業・食品産業技術総合研究機構/北海道大学/北海道立総合研究機構花・野菜技術センター/サンポット(株) 産業技術総合研究所/ダイキン工業(株)/ジオシステム(株)/東京都農林総合研究センター/ (株)サイエンスクリエイト/(株)豊橋キャンパスイノベーション/埼玉県園芸試験場/福岡県農業総合試験場/ 研究機関

グボタシーアイ(株)/山口県農林総合技術センター/栃木県農業試験場/宮崎県総合農業試験場/岐阜大学/東京大学/フタバ産業/奈良県農業研究開発センター/三井造船(株)/静岡大学

プレゼンテーション

●セミナールームA

11月18日(水) 11:35~11:50

●お問合先: TEL. 029-838-8681 FAX. 029-838-8681 〒305-8666 茨城県つくば市観音台3-1-1 ●所在地:

http://www.naro.affrc.go.ip/vegetea/index.html

【出展内容】

農林水産省委託プロジェクト「施設園芸における熱エネルギーの効率的利用技術の開発」(熱プロ) 「施設園芸における効率的かつ低コストなエネルギー供給装置及び利用技術の開発」(熱CCo ブロ)で研究開発された、地中熱利用技術、局所加温技術、生体情報測定技術および自然エネル −を利用した実証栽培の研究成果について展示します。





農工融合型の技術やシステムを開発しています。すでに効果の実証 が進み、ぜひ製品開発を進めたいものや、生産現場に導入できるも のがあります。制御機器メーカー、環境機器メーカーやIT関連して 企業との連携を希望します。また個人的法人の生産者やJA、生産者

自然エネルギーの地産地消を推進します

環 09

(公)石川県立大学生物資源環境学部環境科学科



共同 研究機関 協同アルミ(株)

研究・技術

●セミナールームA 11月20日(金) 10:20~10:35

●お問合先: TEL, 076-227-7220 FAX, 076-227-7410 ●所在地: 〒921-8836 石川県野々市市末松 1-308 http://www.ishikawa-pu.ac.jp/

再生可能な自然エネルギー(水力や熱)の利活用に関する研究成果や技術開発を展示します。「農業用水を利用したマイクロ水力発電の開発」「地中熱エネルギーの効果」等の研究成果を踏まえ、 生産現場での導入方法を検討したいと思います。農業生産に資する分散型エネルギーシステム の具体的導入と実用化に向けた対策を見つけたいと考えています。

【マッチング希望】









水力や地中熱など地域資源を生かし分散型エネルギー 築するためには、技術開発・地域合意形成・市場規模の推定が必要 不可欠です。農業関係者のみならず機械や電機メーカーといった異 業種間の連携を密にし、農業生産の安定と向上に資するシステムを 確立し事業化に繋げたいと考えています。

排ガス中の炭酸ガスを回収・精製し、 低コストで高付加価値な農作物を得る革新的な新技術。

(公)大阪府立大学大学院 工学研究科



㈱公害防止機器研究所/鈴与商事(株) 研究機関

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA

11月20日(金) 14:30~14:45

●お問合先: TEL. 072-254-9299 FAX. 072-254-9911

〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 ●所在地:

OURI: http://www.chemeng.osakafu-u.ac.ip/student_company/chemical_reaction.html



ボイラーや発電機等の排ガス中のNOxは、一酸化窒素が主体で除去困難です。このNOxを吸着 させ完全除去する技術を構築しました。回収NOxは硝酸として肥料等に資源化できます。NOx完全除去により、安価に排ガス中の炭酸ガスを使い野菜や果実の成長促進、害虫駆除、果実の高糖 度化等が図れ、高付加価値な作物の生産に本技術は貢献します

【マッチング希望】







炭酸ガスは、植物の成長促進、収量アップ、害虫駆除、果実の高糖度 化に有効ですが、現在精製炭酸ガスを用いるためコストが高くなります。本技術によりNOxを完全除去し、安価に排ガスを用いた硝酸系 肥料製造や炭酸ガスの農事利用を図り、次世代型植物工場や地域分 散型農業システムが構築できます。

焼却しても温室効果ガス(GHG)にカウントされない バイオマス製品の紹介

(一社)日本有機資源協会



環 08

●お問合先: TEL. 03-3297-5618 FAX. 03-3297-5619 ●所在地: 〒104-0033 東京都中央区新川2-6-16 馬事畜産会館401

OURL: http://www.jora.jp/

【出展内容】

植物から作ったプラスチックは二酸化炭素を増やしません。日本の優れた技術は植物を原料とし た様々な製品を世界に先駆けて作り出しています。「バイオマスマーク」は植物由来の原料を使う ことだけでなく、環境商品として安全で安心して使えるかを審査して認定しています。 環境にやさ しいバイオマスマーク認定品を是非ご覧ください。

【マッチング希望】



筒状炎、渦流炎、円環流炎など独自の燃焼技術を用いて 開発した木質ペレットや竹用燃焼促進器

(株)イーコンセプト



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームB 11月18日(水) 10:20~10:35

●お問合先: TEL, 090-7574-3667 FAX, 0972-65-3415 〒875-0073 大分県臼杵市大字掻懐 1496番地の2 ●所在地:

OURI: http://eco-candle.biz/

大分大学等の支援により、筒状炎、渦流炎、円環流炎など独自の燃焼技術を用いて開発した、施設園芸農家向け木質バイオマスストーブを紹介。木質ペレットや竹、薪などを簡易な設備で効率 よく燃焼する燃焼促進器は、低コストで簡単に設置、使用が可能。従来機器のバックアップとして、 化石燃料を使わない加温器の導入をお考えの方にお勧めします。

【マッチング希望】





施設園芸農家向け木質バイオマスストーブ販売メーカーやJA、農業 生産組合などのユーザーへの使用に結び付く企業や団体とのマッチ ングにより、ロット単位での注文に結び付けたいと考えます。



地産地消型エネルギーによる独立型小規模バイオマス 熱電併給システムを用いた新規農業利用技術

(公)大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科



^{共回} (株)イクロス/村上精機(株)

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB

11月18日(水) 11:10~11:25

●お問合先: TEL. 072-254-9418 FAX. 072-254-9418 〒599-8531 大阪府堺市中区学園町 1-1 ●所在地: OURL: http://www.osakafu-u.ac.ip/index.html

育成環境の温度管理や食品加工に用いる化石燃料代でお困りの事業者の方・農業残渣物処理方 法でお困りの近郊農家の方・地域の山から出る間伐材の有効活用にお悩みの自治体・農場のハイテク管理機器や鳥獣被害対策機器の電源にお困りの方新技術で実用化段階にある小規模な地 産地消型エネルギーによる熱電併給システムについて展示を行います。

【マッチング希望】









農業廃棄物などの未利用バイオマスを地域内で有効活用するシステ ムの提案です。冬場の冷え込みが厳しい地域での暖房・融雪等の熱利用、夏場の用水路ポンプ、新たな植物工場運用での光源用電源、 空調管理、高精度モニタリングシステム等、非常に幅広い用途が想

東京大学発!!環境にやさしいバイオマス由来の プラスチック原料。



(株)ウッドプラスチックテクノロジー

●お問合先: TEL. 03-5844-3366 FAX. 03-5844-3367 〒113-0033 東京都文京区本郷4-1-7 近江屋第一ビル4F ●所在地:

OURL: http://www.wpt.co.jp/

【出展内容】

当社は東京大学農学生命科学研究科安藤教授の技術をもとにした東大発ベンチャ 工場から発生する木質バイオマスとプラスチックの複合材料でパレットや建設資材を開発・製造 販売しています。 籾殻など未利用バイオマスを活用した製品開発や農林水産業の各種未利用バ イオマスとプラスチックの複合製品の開発案件もご相談お受けします。

(国)北見工業大学

教育・研究を行っている。

プレゼンテーション

●セミナールームA 11月20日(金) 14:55~15:10

北見工業大学は寒冷地・第一次産業地帯の地の利を活かした

●お問合先: TEL. 0157-26-4161 FAX. 0157-26-4171 ●所在地: 〒090-8507 北海道北見市公園町 165番地

OURL: http://www.kitami-it.ac.ip/

【出展内容】

シイタケ上面栽培で生じる廃液(上面水)はラッカーゼ等の有用酵素とメディエータ様物質として のリグニン分解物を含んでいます。この廃液を利用し、環境汚染物質であるフェノール性内分泌 撹乱物質を効率よく浄化する技術を紹介します。本技術は、従来技術と比較し、低コストな汚染物 質浄化技術として期待できます。

【マッチング希望】







木質バイオマスや、籾殻を用いた新たな製品開発にご興味がある企 業や農林水産業の未利用バイオマスの発生側や、研究者とのマッチ ングをご希望や相談をお受けします。

【マッチング希望】



マッチングにより以下が実現し、本技術が社会に貢献する姿をイメー ジしています。

・シイタケ栽培廃液によるフェノール性環境汚染物質に汚染された 廃水や十壌の浄化

栽培廃液中のラッカーゼによる染料廃水処理や、新規色素造成へ の利用

ラッカーゼを含む栽培廃液による遅乾性漆の速乾性漆への変換



油脂酵母による付加価値油脂高生産システムの提案

環 15

(学)新潟薬科大学 産官学連携推進センタ



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームA

11月20日(金) 11:35~11:50

●お問合先: TEL. 0250-25-5402 FAX. 0250-25-5021 〒956-8603 新潟県新潟市秋葉区東島字山居265番地1 ●所在地:

http://www.nupals.ac.jp/liaison/ OURI:

【出展内容】

次の5項目を利用した油脂酵母による付加価値油脂高生産システムの提案を目的とし展示しま す。①油脂酵母油脂の付加価値、②油脂酵母の油脂合成・分解系解析技術の確立、③油脂酵母 の遺伝子工学的技術の確立、④培養工学的手法による油脂酵母の油脂高生産、⑤油脂高蓄積、 低蓄積変異株の取得とその利用

"サーマルモバイルシステム"

~熱エネルギー循環型社会システムの構築~

環 16

(国)信州大学 工学部 物質工学科 酒井研究室



●お問合先: TEL. 026-269-5405 FAX. 026-269-5424

〒380-8553 長野県長野市若里4-17-1

IIRI · http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/engineering/chair/chem 005/Index.htm

【出展内容】

熱エネルギーを貯める "蓄熱材"は、熱を 「空間」・「時間的」に輸送可能であること、リサイクル性 が高いことなどから、熱エネルギーシステムの革新的技術になりえます。我々は、有機系潜熱蓄 熱材の開発に取り組んでいます。本展示では、様々な場面、材料、用途に対応可能な「流動型蓄 熱材 |および「非流動型蓄熱材 |を紹介します。

【マッチング希望】









バイオマスを有効活用し、油脂酵母で油脂高生産を行います。 食用 油脂が出口の場合、油脂高蓄積変異株による油脂高生産をイメージ し、工業油脂が出口の場合、遺伝子工学的改変による油脂高生産株 による油脂高生産をイメージします。さらに油脂の脂肪酸組成の改 変による付加価値向上も考慮します。

【マッチング希望】







【農業】ビニールハウス温調・ビニールハウスの倒壊防止用融雪剤・ |展集|| に 一川バリス温調・ に 一川バリスの関係的近日間当前・ 花芽分化時の温度調節 【環境】 ヒートアイランド対策 【建築】空調用 媒体・断熱ボード・ 床暖房 【交通分野】 融雪・ 凍結防止剤・ 結露防止 剤【自動車】冷却水・空調【塗料】熱吸収塗料【化粧品】美容・保温パッ ク【物流】輸送中の温度管理

厄介者のクラゲを使い、おいしく、私たちの体に良い成分を 含む野菜を栽培する。

(国)神戸大学大学院海事科学研究科

●お問合先: TEL. 078-431-6343 FAX. 078-431-6343 〒658-0022 兵庫県神戸市東灘区深江南町 5-1-1 ●所在地:

http://www.maritime.kobe-u.ac.jp/

試飲・試食 【出展内容】

漁業、発電所等において被害を及ぼしているクラゲ(大型クラゲ、ミズクラゲ)は、野菜栽培等に おいて、有効に利用できる可能性があることをアピールします。

ソーラー売電とアシタバ栽培の意見書により農地転用が 許可される東大実証の成果を発表します。

環 18

(株)農学研センター



●お問合先: TEL, 029-272-4182 FAX, 029-272-4221 〒312-0033 茨城県ひたちなか市市毛 1087-1 ●所在地:

http://www.nougakuken.com/

【出展内容】

農業地域の問題点である低収入・低収益を解決する手段としてソーラーバネル設置による売電 収入と、アシタバ栽培により高収益を得る方法を東京大学実証研究成果として発表します。筑波 大学では新品種アシタバの機能性研究がなされ、成果をあげています。東京大学と筑波大学によ る研究成果を提示し、各方面での利用方法を提案し、詳しく説明します。

【マッチング希望】







クラゲ上澄み液を作物栽培における補助的液肥として、製品化でき るようになれば良いと考えますが、一般の農家の方が試験的に使用 し、効果を確かめるということでも良いのではないかと考えます。

【マッチング希望】



-ラーシェアリング+アシタバ栽培」のビジネスは高収益が20年 間にわたり安定的に保証される売電と、高品質アシタバ収穫が同時 にでき、高収入が達成される事で雇用創出と農業地域経済の活性化 に繋がります。結果として農業地域の問題点、農村・農業地域が抱 えている課題を解決します。

新規耐熱性マンナナーゼの発見と 食品の粘性低下などへの応用

(学)名城大学農学部



●お問合先: TEL. 052-838-1151

〒468-0073 愛知県名古屋市天白区塩釜口1丁目501 ●所在地:

OURL: http://www.meijo-u.ac.jp/

【出展内容】

我々は、従来のマンナナーゼとはマンナンの分解特性が異なる新規耐熱性マンナナーゼ (100°C 15分間処理後も60%以上活性が残存)を発見しました。この新規耐熱性マンナナーゼは、高い温度環境下で、マンナンの分解促進及びマンナンを含む食品等の粘性を自在に制御可能で、バイ オ燃料の生産、コーヒーの抽出及び食品開発等に応用可能です。

【マッチング希望】







①高い耐熱性を有する新規マンナナーゼを酵素として生産し販売。 ②マンナンを多く含むコーヒー豆等の抽出 (加工)工程において、粘性低下により抽出効率を向上。③ヘミセルロースを含むバイオマス材料の分解効率を向上。④マンノオリゴ糖の生産方法。等の技術を 提供します。



高知大学農学部から発信する食品・生産・環境の新時代 ~地(知)の拠点としての取り組み~

地 01

(国)高知大学 農学部



●お問合先: TEL. 088-844-8555 FAX. 088-844-8556

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2-17-47 高知大学地域連携推進センター

IIRI · http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/

試飲・試食 あり

柚子果皮残渣のマテリアルリサイクルおよび高知系褐毛和種への飼料利用を紹介するとともに、 私たちが育てた"柚子牛"肉を試食していただきます。また、「中小規模園芸ハウスを対象とした複 合工コ環境制御技術の確立」の成果発表を行うとともに、乳酸発酵による保存性、嗜好性、健康機 能の評価のための意見交換やご協力をお願いします。

【マッチング希望】









ユズ果皮残渣中成分の抽出システムの開発と機能付加価値製品への応用展開を行うとともに、"柚子牛"生産の持続的なマーケットを確立します。また、園芸用エコキュートの開発、製品化を行うとともに、 健康機能を期待した乳酸発酵による犬用ペットフードの開発と微生 物発酵茶の開発を行います。

沖縄地域に存在する熱帯生物資源を活用した研究成果

地 02

(国)琉球大学



http://www.u-ryukyu.ac.jp/

沖縄地域に存在する熱帯生物資源を活用した基礎・応用研究の成果を発表します。特に、保有シー ズを用いた共同研究相手先および保有シーズの技術移転先を見つけることを目的とします。

地域の農産物を用いた商品開発支援を中心に 商品化の川上から川下までサポートします

地 03

旭川食品産業支援センター



●お問合先: TEL. 0166-68-2824 FAX. 0166-68-2828

〒078-8804 北海道旭川市緑が丘東 1条3丁目 1-6 旭川リサーチセンター ●所在地:

http://www.arc-net.or.jp/arc-net/fosup/index.html

地域の農産物を用いた商品開発支援を中心とした事業を行っています。支援内容は、商品のイ メージを形にするところから、レシビ開発支援、工場のゾーニング、衛生管理、商品の衛生検査など、川下まで。別メニューでパッケージ開発支援なども行っています。企業さんの「夢」を「形」に することを目標にしています。

【マッチング希望】





共同研究相手先または技術移転先を見つけ、研究段階を進めること で最終的な製品化を目指しますので、研究内容 (シーズ)を参加者 へ理解して頂き、特許化、ライセンスアウトまで想定したマッチング を希望しています。

【マッチング希望】





支援した企業商品を紹介して、流通業者などが興味を持って、支援 企業との商談ができるとよいと思います。また、展示されている技 術を地域企業に紹介し、それがよりよい商品づくりにつながることを 期待しています。

地 05

(国)弘前大学 研究・イノベーション推進機構

●お問合先: TEL. 0172-39-3911 FAX. 0172-36-2105

果肉まで赤く着色するリンゴの新品種「紅の夢」を

手にとってご覧下さい。試食もあります!

〒036-8561 青森県弘前市文京町3番地 ●所在地:

試飲・試食 あり

地 04

- 1.弘前大学育成品種 赤い果肉リンゴの紹介 (パネル/リンゴ/試食/アンケート) 2.津軽海峡グルメコリドール構想に基づく「海の幸プラッター開発」の紹介(パネル/スパークリ ング酒)
- 3.黒ゴボウに関する機能性紹介(パネル/商品/試食/アンケート)
- 4.弘前大学白神酵母を用いた商品展開 (パネル/商品/試食/アンケート)

志摩市

●お問合先: TEL. 0599-44-0288 FAX. 0599-44-5262 〒517-0592 三重県志摩市阿児町鵜方3098番地22 ●所在地:

「新しい里海のまち 志摩」の地域資源を活用した

OURL: http://www.city.shima.mie.jp/

6次産業化の取り組みを紹介します。

【出展内容】

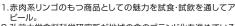
志摩市は、古くから朝廷へ食材を献上した「御食つ国(みけつくに)」と呼ばれ、自然豊かな地域 で生み出される農水産物が多くあります。学校法人立命館・国立大学法人三重大学との連携協 定により支援を受け農水商工連携により進めている6次産業化の取り組みの状況と成果を未利用 資源の活用の実践活動も含めて紹介します。

【マッチング希望】









- 2. 弘前大学食料科学研究所が地域の食のブランド化を進めている 事例紹介。
- 3.黒ゴボウを素材として採用した商品開発をしてくれる企業との マッチング
- 4. 弘前大学白神酵母を使った商品開発をしてくれる企業とのマッチ

【マッチング希望】





志摩市の魅力を6次産業化の製品とともに全国発信・販売していた だける事業者を希望します。また、地域の未利用資源を新たな食材 として製品化する事業者等を希望します。

富山県射水市(いみずし)では地域資源を活用した 6次産業化等の取り組みを支援しています。

地 06

射水市6次産業化ネットワーク推進協議会

●お問合先: TEL. 0766-82-1959 FAX. 0766-82-8222 〒934-8555 富山県射水市本町2-10-30

【出展内容】

試飲・試食

あり

ネットワークを構築し、6次産業化に取り組む農林水産業者がサクラマス、へちま、枝豆、竹炭、梨 といった富山県射水市(いみずし)が誇る地域資源を活用した商品を開発しました。

農工医連携事業の植物資源戦略研究として我々が取組む フィールド事業の最前線を紹介します。

地 07

(国)熊本大学



団

●お問合先: TEL. 096-342-3274 FAX. 096-342-3239 〒860-8555 熊本県熊本市中央区黒髪2-39-1

OURL: http://www.kumamoto-u.ac.jp/

【出展内容】

「薬草パーク構想 | の宣伝を兼ねて、現在取り組んでいる伝統的な在来種の研究について紹介し ます。さらに、産業化シーズの素となる未利用植物の栽培適地を評価する上で重要な研究として 「新アグロフォレストリーのための森林・有用植物資源の賦存量の評価・予測モデルの構築(基 盤研究(B)) |を紹介し、植物戦略事業について出展します。

【マッチング希望】



開発した新商品の展示や試食等を行うことにより、広く来場者の皆 様にアピールし、販路の拡大につながることを期待しています。

【マッチング希望】





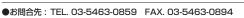


熊本大学薬学部キャンパス全体が、人と自然が自由に交流できる健 康増准構想の拠点となる観光型「薬草パーク構想」を推准。研究シー ズ(生活習慣病対策用農産物)を活用した機能性食品の開発と、病 気にならない健康づくりをイメージできる「薬草キャラバン」を開催 し、地元企業への産業推進に貢献します。

東京海洋大学の広域連携活動事業により創出された 研究成果の紹介をします。

地 08

(国)東京海洋大学



●所在地: 〒108-8477 東京都港区港南4-5-7 東京海洋大学7号館2F

産学・地域連携推進機構

OURL: http://olcr.kaivodai.ac.ip/

【出展内容】

東京海洋大学、岩手大学および北里大学によるSANRIKU (三陸)水産研究教育拠点事業の活動 紹介、研究成果、研究シーズを展示します。

国産農作物アロマと緩和医療

地 09

星薬科大学 先端生命科学研究所 生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室

SHIODAライフサイエンス研究所(株)/ 井同 研究機関 農業生産法人吉見メディカルファーム(株)

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA

11月18日(水) 14:55~15:10

●お問合先: TEL. 03-5498-5853 FAX. 03-5498-5853

〒142-8501 東京都品川区荏原2丁目4番41号 ●所在地:

先端生命科学研究所 生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室

OURL: http://www.hoshi.ac.jp/site/index.php

【出展内容】

国産の花や規格外農作物アロマを使った芳香療法をご紹介します。

【マッチング希望】







実用化に向けた共同研究先、あるいは事業化を推進できる事業担当 機関とのマッチングの実現を希望します。

【マッチング希望】







国産の花や規格外農作物を抽出し、その成分分析・機能評価を行い ます。

●セミナールームA 11月18日(水) 14:30~14:45

●お問合先: TEL. 0287-47-0057 FAX. 0287-47-0366 ●所在地: 〒329-2441 栃木県塩谷郡塩谷町大字船生7556

OURL: http://moril.mine.utsunomiva-u.ac.ip/sinrin/ensvuurin/ensvu.htm

【出展内容】

全国大学演習林で唯一の『緑の循環』認証会議 (SGEC)個別認証森林から産出されるヒノキ等 を通じて、持続可能な森林から生産される認証材の普及・啓蒙を図りたいと考えています。また 演習林から生産される高品質な認証材のプランド化を図り、演習林の知名度を高め、地域社会と 連携し還元することで地方の創生・活性化に貢献することを目的に展示します。

【マッチング希望】







(1) 2020年に開催される東京オリンピックで使用される競技施設 等に、認証森林から産出された国産材ヒノキやスギ等が積極的 に導入され、世界に日本の森林資源が適正に管理されているこ とをアピールすること。

(2)地域の資源として、地域の創生や活性化に繋がること。

ミツバチのためのお花畑作りで、地域の景観美化、 農地の荒廃抑制、再生農地作りを促進します

アグリビジネスフォーラム【玉川大学】



地 11

プレゼンテーション

●セミナールームC 11月18日(水) 14:00~16:00

●お問合先: TEL. 042-739-8054 FAX. 042-739-8663 ●所在地: 〒194-8610 東京都町田市玉川学園 6-1-1

OURL: http://www.tamagawa.ip/

【出展内容】

ミツバチは巣の周囲半径2kmの土地に咲く花々を利用して生きる生物で、養蜂業もこの土地の 資源を利用して成立します。この土地に「お花畑」を 創出する事で、ハチミツ生産、ミツバチの育 成、農薬被害の回避を通じた養蜂支援から、休耕地の肥沃化、耕作放棄地対策、観光資源化まで 地域振興に役立つ成果も期待できます。取組中の事例を紹介します。

【マッチング希望】





養蜂資源植物はそもそも地面がなければ育たないので、植栽自体が 地域に根ざした活動になります。その地域の養蜂家、果樹栽培や採 種のために交 配用ミツバチを必要とする農家、耕作放棄地対策を講 じる行政、さらに環境活動を行うNPOなどが参加しやすく、一定の 成果を得やすい地域振興活動になります。

地域との連携による実績と、今後の地域連携を目指した 研究シーズについて展示します。

地 12

アグリビジネスフォーラム【日本大学】



●セミナールームC

11月18日(水) 14:00~16:00

●お問合先: TEL. 03-5275-8139 FAX. 03-5275-8328

〒102-8275 東京都千代田区九段南4-8-24 日本大学会館 ●所在地:

http://www.nihon-u.ac.jp/ OURL:

試飲・試食 あり

地域との連携による、早採りコンブやニジマス等を利用した新規食品開発について、試食品等含 めて積極的にPRしたいと考えています。

地方自治体との連携により、『大学連携と地域づくり』を 目的とした教育・研究を進めています。

地 13

アグリビジネスフォーラム【東京農業大学】



研究・技術 プレゼンテーション ●セミナールームC

11月18日(水) 14:00~16:00

●お問合先: TEL. 03-5477-2532 FAX. 03-5477-2634 〒156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1 ●所在地:

http://www.nodai.ac.jp/ OURL:

【出展内容】

試飲・試食

地方自治体と包括連携を結び、教育・研究を進めるとともに、「地域づくり」をテーマにシンポジウ ムや総合プロジェクト研究を進めています。シンポジウムの成果を踏まえた教育・研究成果の展 示により、「ものづくり」「ひとづくり」「ことづくり」として、産・官・学連携のあり方と大学の教育 の役割について紹介します。

【マッチング希望】



地域連携による新規食品開発の経験と開発手法を基に、他地域の特 産品等を利用した新規食品開発に繋げることを希望しています。

【マッチング希望】







入り込み客の拡大による地域振興、都市と農山村の交流による産直 型の新たな農業の展開や遊休地の再耕作による地域再生、地域と学生たちが触れ合う体験学習、新たなコミュニティが生まれることによ る地域資源を活用した商品開発や伝統工芸品、伝統文化の保存等。

機能性野菜類の開発・栽培技術の研究、及び地域に密着した 植物工場のモデル化・実用化の追求

地 14

アグリビジネスフォーラム【明治大学】



研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームC

11月18日(水) 14:00~16:00

●お問合先: TEL. 044-934-7639 FAX. 044-934-7917 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1 ●所在地: OURI: http://www.meiii.ac.ip/tlo/index.html

完全人工光型植物工場においては、栽培面積の効率化、輸送コストの削減、新鮮な生産物の供給 などの観点から、都市近郊で事業を行うことに大きなメリットがあり、このメリットを活かした「都市近郊型植物工場モデル」の研究を行っています。展示ブースでは、植物工場基盤技術研究セン -における研究や、実績、今後の研究方針などを紹介します。

地域素材を活用したブランド化による連携事例の紹介と ヤーコンシロップを試食提供します。

地 15

アグリビジネスフォーラム【東海大学】

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームC

11月18日(水) 14:00~16:00

●お問合先: TEL, 0463-59-4364 FAX, 0463-58-1812 〒259-1292 神奈川県平塚市北金目4-1-1 ●所在地: OURI: http://www.u-tokai.ac.ip/research/

東海大学では、地域と連携を深めることで、地域貢献活動に取り組んでいます。本フェアでは、 「ヤーコンを素材とした地域ブランドの創造」、「自然環境や生態系の維持に配慮した、健康的で脂分の少ない牛肉(草原あか牛eco beef)の畜産」、「品種改良により南阿蘇村に適応させたブ ラックベリーの栽培と加工」を地域連携事例として紹介します。

【マッチング希望】





植物工場を事業化する際、事業者が苦労する事項の一つに「生産物 の栽培に関するノウハウがない」ことが挙げられます。明治大学では これまで数社と契約を結び、栽培ノウハウの提供を行うと同時に、事 業者が求める生産物の形に近づけるよう共同で開発を行っており、 新たな連携も歓迎します。

【マッチング希望】







- ①地域素材を製品化し、当該地域での新たな観光資源・新たなビジ ネスを発掘・展開します。 ②品種改良により、中山間地での栽培を可能とすることで農業地域
- の拡大を図ります。 当該地域での事例を踏まえて、他の地域でも同様に農業を通じた
- 地域振興の実施協力をします。

アグリビジネスフォーラム



共同 研究機関

東海大学/玉川大学/日本大学/東京農業大学/明治大学

プレゼンテーション

●セミナールームC

11月18日(水) 14:00~16:00

●お問合先: TEL. 044-934-7639 FAX. 044-934-7917 〒214-8571 神奈川県川崎市多摩区東三田 1-1-1

【出展内容】

首都圏で農学系学部を有する私立五大学が「アグリビジネスフォーラム」として共同出展します。 「地域」をキーワードとして、各大学が実施している地域と連携した研究や、地域に根付かせたい 研究について事例を交えて解説し、大学が地域とどのように関わりを持ち、食や農業についてど のような取り組みを行っているかを紹介します。

【マッチング希望】



各大学の取り組みに新たに参画する企業や、既に実用化に近い研究 の普及に繋がる連携ができることを希望しています。

「ものづくり・人づくり・地域貢献」産業界等との連携による 技術支援の取組をアピールします。

(独)高齢·障害·求職者雇用支援機構

●セミナールームB プレゼンテーション 11月20日(金) 14:30~14:45

●お問合先: TEL. 043-213-7303 FAX. 043-213-7378 ●所在地: 〒261-8558 千葉県千葉市美浜区若葉3丁月1番2号 高度職業能力開発促進センター内

OURL: http://www.jeed.or.jp/js/kousotsusya/polytech co/

【出展内容】

あり

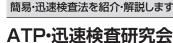
今回のフェアでは、地域特産の農作物や果物等の収穫・加工等の省力化や生産性の向上等を図 るための製品、システムの実用化に取り組む地域の中小企業等に対し、技術力強化等に関する支援を行う中で得られた研究成果物の出展の他、プレゼンテーションによりポリテクカレッジの「モ づくり力 | 「人材育成ノウハウ | の紹介を行います。

【マッチング希望】





地域の中小企業等が抱える技術力強化等の課題解決のため、総合制作実習、開発課題の課題制作のテーマとして、又は中小企業等との共同研究や受託研究の研究テーマとして取り組んでいます。新たなテーマについてご相談いただければ幸いです。





IIRI · http://www.keiran-niku.co.jp/atp/

実演
あり

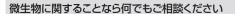
環境の衛生管理で普及が進むATPふき取り検査を中心に、

食品・医薬品製造施設や医療現場などを中心に普及が進んでいる環境衛生の検査法「ATPふき 取り検査」を中心に、各種簡易・迅速検査法の効果的な活用(活用の考え方)の最新動向を紹介し ます。また、簡易・迅速キットを用いた環境衛生検査に関する相談コーナーも設置します。当会が 作成しているATP検査法に関する教育ツールなども紹介しています。

【マッチング希望】



ATPふき取り検査法や各種迅速検査法は、既に食品・医薬品製造施 設や医療施設などの環境衛生検査で普及が進んでいますが、農業関 係者、食品製造・流通関係者、6次産業関係者、教育関係者、学識経 験者との情報交流やディスカッションを通じて、新たな効果的な活用 法を模索・確立したいと考えています。



人02

(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター

●お問合先: TEL. 03-3481-1933 FAX. 03-3481-8424 〒151-0066 東京都渋谷区西原2-49-10 ●所在地: http://www.nite.go.jp/nbrc/index.html

【出展内容】

NBRCは世界最大級の微生物遺伝資源機関として微生物の収集・保存・提供の業務を行ってい ます。保有する微生物、ゲノム情報及び分離方法等を提供し、商品開発や地域活性化事業を支援することを目的としています。今回の出展では、産業利用が可能な微生物やその遺伝子情報、 NBRCの取り組み例をご紹介します。

日本弁理士会

弁理士による無料特許相談を行います。

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB 11月18日(水) 12:50~13:05

●お問合先: TEL. 03-3519-2703 FAX. 03-3581-1205

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3-2-6 東京倶楽部ビル14階 ●所在地:

OURI: http://www.jpaa.or.jp/

1.日本弁理士会は、知的財産の創造から活用までをトータルにサポートします。パネル展示及び

的財産についてのご相談を受け付けます。

【マッチング希望】





- ★産業利用可能な微生物やその情報のご提供により、企業の商品開
- ★地方公設試験所及び地方自治体と連携した地域微生物資源の活 用を通じて、地域特産品開発等の地域産業活性化を支援します。
- ★生物遺伝資源バックアップサービスご利用により、BCP対策の万 全化を支援します。

【マッチング希望】

知的財産の創造から活用までをトータルにサポートします。





人 01

时





人 03

不良土壌、高温等、多様な環境下で生産性を上げるための 研究開発成果を紹介します。

(研)科学技術振興機構



プレゼンテーション

●セミナールームC 11月18日(水) 12:50~13:50

●お問合先: TEL. 03-3512-3524 FAX. 03-3222-2064 ●所在地: 〒102-0076 東京都千代田区五番町7 K's五番町

OURL: http://www.ist.go.ip/

【出展内容】

農林業における生産性の向上やバイオマスの利活用を推進する基盤となる技術開発研究成果や 研究内容をご紹介いたします。少ないミネラル栄養量で育つ植物や、不良土壌でも表欠乏にならず育ち、鉄を貯めるイネなど、今後の展開が期待される成果が出ています。また、当機構で行って いる産学連携・技術移転事業についても紹介いたします。

【マッチング希望】









例えば、世界の耕地面積の約3分の1を占める石灰質アルカリナ壌 でも順調に生育するトウモロコシの開発など海外種苗会社での利用 や、農薬企業に於ける植物生育調節剤や寄生植物防除剤などの開発 につながることを期待しています。

産業支援機関、大学、金融機関、産学官連携従事者の 全国的なネットワーク

全国イノベーション推進機関ネットワーク



●お問合先: TEL. 03-3518-8973 FAX. 03-3518-8970 ●所在地: 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台一丁目8番11 東京YWCA会館オフィス棟8階

OURL: http://www.innovation-network.jp/

全国各地で地域発イノベーションの推進を担う産業支援機関、大学、金融機関、産学官連携従事 本国自己とには、ボーバ・ンコンの元はでは「日本本文法を開始、人です。配成では、在于日は近次に 者の全国的なネットワークを構築し、地域活性化を推進しています。当ネットワークの活動概要お よび会員メリットをご紹介する他、毎年実施している「イノベーションネットアワード」で、農林水 産大臣賞をはじめ各賞を受賞した先進事例の紹介も行います。

【マッチング希望】



私共の強力なネットワークを活用し、地域発イノベーションをおこし ましょう。ぜひお立ち寄りください。

○地域産学連携活動の総合的支援

○人材育成・産学連携業務の専門職化○産学連携学の確立

人06

(特非)産学連携学会

●お問合先: TEL. 050-5539-6604 FAX. 042-490-5727 〒182-0026 東京都調布市小島町 1-11-6 エンケ102 ㈱キャンパスクリエイト調布ブランチ内

http://j-sip.org/ IIRI ·

【出展内容】

産学連携学会は、産学連携に携わるすべての方々を対象とする学会です。学会の目的や活動をパ ネルで展示するとともに、学会が発行している論文集「産学連携学」、年次大会の予稿集、産学連 携の本格的な体系書「産学連携入門」を手に取ってご覧いただけます。

全国のコーディネーターが、農林水産・食品分野の 産学連携を支援!

人 07

地域産学連携コンソーシアム



(公社)農林水産・食品産業技術振興協会/(特非)グリーンテクノバンク/ 東北地域農林水産・食品ハイテク研究会/(特非)東海地域生物系先端技術研究会/

(特非)近畿アグリハイテク/(特非)中国四国農林水産・食品先進技術研究会/九州バイオリサーチネット

●お問合先: TEL. 03-3586-8644 FAX. 03-3586-8277 〒107-0052 東京都港区赤坂 1-9-13 三会堂ビル7階

(公社)農林水産・食品産業技術振興協会 産学連携事業部

OURI: http://agri-renkei.jp/

【出展内容】

実 演

あり 試飲・試食

あり

全国7つの産学連携団体により「事業化を加速する産学連携支援事業 | を実施しています。 農林 水産・食品分野のコーディネーターを全国に配置し、マッチング支援、外部資金取得支援、事業 化支援等を精力的に行っています。全国各地におけるコーディネート活動の事例、支援先の技術 シーズ・研究成果についてパネル・現物等で紹介します。

【マッチング希望】



産学連携学の確立及び産学連携自体を発展させることにより、我が 国の学術や技術の発展を促進し、もって地域が特色ある活動を活発に行う豊かで個性と活性に富んだ社会を作り上げることに寄与する ことを目的としています。

【マッチング希望】











基礎・応用段階のシーズについては研究機関等の方に関心を持っ て頂き、共同研究等に繋げていきたいと考えています。実用段階の シーズについては民間企業、生産者等の方に関心を持って頂き、技 術の実用化・普及等に繋げていきたいと考えています。

6次産業化促進技術対策事業や競争的研究資金委託業務の サポートで研究支援。

80人

(公社)農林水産・食品産業技術振興協会

●お問合先: TEL. 03-3586-8644 FAX. 03-3586-8277

〒107-0052 東京都港区赤坂一丁目9番13号 三会堂ビル ●所在地:

http://www.jataff.jp/

【出展内容】

当協会の産学連携に関する事業についてのパネルの展示、産学連携に関するパンフレットの配布 を行います。

得られた成果を展示します。研究相談も行います。

民間企業等に研究開発を委託する制度を紹介し、

人 09

(研)農研機構 生物系特定産業技術研究支援センタ

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームB

11月18日(水) 15:25~15:55

●お問合先: TEL, 048-669-9170 (048-669-9172) FAX, 048-666-9266 〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2 基礎技術研究館 3階 ●所在地:

OURI: http://www.naro.affrc.go.ip/brain/shien/index.html

基礎から応用・実用化までの研究開発を支援するため、当センター(生研センター)が実施して 金融ののいけ、実所になくの明元用がセス度があったが、ヨニットニットニットといいる研究資金業務の概要と主な研究成果を展示します。また、企業等の方々からのご希望に応じて、国立研究開発法人等の試験研究機関との共同研究のあっせん・相談を承っています。

【マッチング希望】







基礎・応用段階のシーズについては研究機関等の方に関心を持って 頂き、共同研究等に繋げていきたいと考えています。

実用段階のシーズについては民間企業、生産者等の方に関心を持っ て頂き、技術の実用化・普及等に繋げていきたいと考えています。

【マッチング希望】











現在実施中の事業課題またはすでに終了した事業の成果の中で、民 間企業のニーズを踏まえ、共同研究が実現しそうな課題を積極的に PRするとともに、企業等からの相談に対応する。また、事業化あるいは更なる研究開発につなげていくために、応募することができる 研究資金の紹介等を行います。

19A

20A

(国)広島大学大学院生物圏科学研究科

●お問合先: TEL. 082-424-4376 FAX. 082-424-2459 〒739-8528 広島県東広島市鏡山 1-4-4 http://www.hiroshima-u.ac.jp/gsbs/

環境に即した持続可能な食料生産を目指しています。

いと考えております。

【出展内容】

●所在地:

広島大学で選出されたインキュベーション研究拠点である「日本型(発)畜産・酪農技術開発セ

ンター」で実施中の研究内容について紹介します。 ・内分泌環境を制御する新しい家畜の飼養管理法

ブタの革新的繁殖技術(冷蔵保存用精液希釈液、凍結精液作製技術)

・哺乳類やトリにおける抗菌ペプチドの役割と応用



当学会へ妥当性検証の依頼をいただくことをお待ちしています。

【マッチング希望】



-般企業や団体と共同研究を実施して、新たな家畜生産システムの 構築を目指します。

【出展内容】

〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町5-32 ベイフロント横浜 ●所在地: http://www.dna-kanteigakkai.or.jp/

●お問合先: TEL, 045-441-9344 FAX, 045-441-9344

援が必要となりますのでご支援願います。

18_B

19_B

(特非)元氣農業開発機構③ (株)次世代農業

㈱次世代農業が研究開発を進めているレディガーリック

研究・技術 プレゼンテーション

●セミナールームA 11月18日(水) 15:20~15:35

1-DAY出展

●お問合先: TEL. 03-3826-5212 FAX. 03-3826-5217

●所在地: 〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-41-9 フランス堂ビル3階

OURL: http://genkinougyou.asia/

試飲・試食 あり

屋内で生産するレディガーリック。この生産方式と生産されたものから黒ニンニク、シロップ、オ イル、黒ニンニク入りのパン、ライ油などで6次化を推進します。試食してもらい、次の開発に役

立てていきます。

【マッチング希望】



レディガーリックの生産は地方に産業をつくるための新しい技術で す。6次産業化を推進し、若い人たちの年棒を確かなものにし、加工し輸出に結びつけていくためには、多くの研究機関、大学、企業の支

【マッチング希望】

IIRI ·

【出展内容】





山形県といえば、つや姫、さくらんぼ、牛肉etc 新技術・研究成果・研究内容を紹介します。

山形県農業総合研究センタ-

品加工技術の開発など、山形ならではのものもあります。

●所在地: 【出展内容】

【マッチング希望】

●お問合先: TEL. 023-647-3510 FAX. 023-647-3507 〒990-2372 山形県山形市みのりが丘6060-27

「つや姫」栽培管理技術と環境保全型農業技術の開発、さくらんぼ等の新品種・栽培管理技術の 開発、病害虫・土壌肥料に関する研究、優良種雄牛の造成、肉用牛・乳用牛飼養管理技術の開発、 やまがた地鶏の改良、飼料生産技術及び環境負荷低減技術の開発、豚飼養管理技術の開発、食

起こしにつなげたいです。

(研)農研機構 中央農業総合研究センタ

http://www.naro.affrc.go.jp/narc/index.html

あり

今年は国際土壌年です。土壌の健全性の確保や

肥料節約のため、土壌養分を測ってみませんか!

●お問合先: TEL. 029-838-8829 FAX. 029-838-8837

実 演

法の実演・体験や技術紹介パンフレットの配布を行います。

〒305-8517 茨城県つくば市観音台3-1-1

(研)、地方公設試験場、行政機関、農林水産業及び食品加工業に関 する事業者など幅広い方々を対象に、当センターで開発した新技術、

研究成果と研究内容について御紹介し、共同研究や受託研究の掘り

農業者(またはその組織する団体)の方々へ、実物展示等を交えて 詳しく技術をご紹介し、土壌診断を自ら実施し、その結果に基づく施 肥を行う習慣の普及・定着が図られる事例を確立する端緒を開きた





DNA鑑定学会はDNAを活用した鑑定技術の支援や普及を 行っております。

(特非)DNA鑑定学会

現在発生している様々な社会問題を解決するための一つの手段として、新テクノロジーのDNA 鑑定があります。しかし、技術的な歴史が浅いため、その手法、妥当性の検証、さらに社会で利用 するためには多くの課題があります。当学会では、これらの課題を解決するために、規則や基準な どを設けて課題解決の活動を行っています。

(特非)元氣農業開発機構④ オービットエナジーグループ



●お問合先: TEL. 03-3826-5212 FAX. 03-3826-5217 ●所在地: 〒125-0041 東京都葛飾区東金町1-41-9 フランス堂ビル3階

OURL: http://genkinougyou.asia/

【出展内容】

以下について、写真、パンフレットで紹介します。

- ・発電装置のリース&電気の販売
- ・弱酸性次亜塩素酸水「Hydro Function HF-60⁴」農業用ボイラー
- ・バイオマスボイラ
- ・太陽光月光集光"ルグライト" ・ハイブリット燃料製造装置
- 発電用ボイラー

【マッチング希望】













世界の飢餓対策等に貢献するCGIARの活動に関し、 我が国の研究プロジェクトを紹介します。

世界に貢献する我が国の国際農業研究 ~CGIARを通じて~



●お問合先: TEL. 03-3502-7467 FAX. 03-5511-8788

〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1 OURL:

http://www.s.affrc.go.jp/docs/research_international/iris-aff/

network/detail.htm#cgiar

【出展内容】

国際農業研究協議グループ (CGIAR)は、傘下に15の研究センターと1万人近い研究者・スタッ フを擁し、質の高い国際農業研究を通じて、貧困と飢餓の削減、人間の健康と栄養の改善、生態 系の強じん性 (resilience)の強化に取り組んでおり、農林水産省も拠出金事業によりこれら取組を支援しています。また、CGIAR傘下の研究機関は、その研究成果を普及し、住民の所得向上に 貢献するため、民間企業等と連携したアグリビジネスの創出にも取り組んでおり、これらの取組を 紹介します。

【マッチング希望】





国際農業研究協議グループ (CGIAR)では、日本企業等との連携を 期待しています。

表彰受賞者の受賞事例を紹介します。

主02

民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び 若手農林水産研究者表彰

表彰

11月18日(水) 12:50~15:00

●お問合先:農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究企画課 育成班 TEL. 03-3501-9886 FAX. 03-3507-8794

〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1 ●所在地:

http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/151007_2.htm (民間表彰) http://www.s.affrc.go.jp/docs/press/151007_1.htm (若手表彰)

【出展内容】

農林水産省は、農林水産業その他関連産業に関する研究開発に関して優れた功績をあげた民間 企業、農林漁業者及び若手研究者に対して、表彰を実施しています。本ブースでは、今年度の受 賞者で、特に顕著な業績をあげた事例を紹介させていただきます。

被災地の復興を加速させる農業・農林水産分野の 先端的な技術の実証研究を紹介します。

主03

食料生産地域再生のための先端技術展開事業



●お問合先:農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 先端技術実証班

TEL. 03-6744-7043 (直通) FAX. 03-3593-2209

●所在地: 〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1 OURL:

http://www.s.affrc.go.ip/docs/sentan giivutu.htm

【出展内容】

試飲・試食 あり

東日本大震災の被災地域を新たな食料生産地域として再生するため、「食料生産地域再生のため の先端技術展開事業」において、被災地域で地元農業者や漁業者等の協力を得ながら、先端技術 を組合せ、最適化し体系化するための大規模な実証研究を行っています。展示ブースでは実証研 究の内容と研究成果を展示、試食品の提供、映像、パネルでご紹介します。

【マッチング希望】



【マッチング希望】



主 09

農林水産業におけるロボット研究開発等の取組みについて 紹介します。

主 04

農林水産業におけるロボット技術開発実証事業

●お問合先:農林水産省 農林水産技術会議事務局 研究推進課 産学連携室 産学連携企画班

TFI 03-6744-7044 (直涌)

●所在地: 〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

OURL: http://www.s.affrc.go.jp/

【出展内容】

平成26年度の補正予算において、高齢化や人手不足の解消、生産性の向上などの課題解決に向 けて、農林水産業の現場にとって使いやすいロボット技術の開発等により進めているロボット研究開発のパネルでの概要紹介や展示ブースで同事業により取り組まれているロボット試作機の実物 展示を行います。

異分野融合共同研究(ICT)

異分野融合共同研究「情報工学との連携による

●お問合先: TEL. 048-669-9190 FAX. 048-666-9267 〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2 ●所在地:

農林水産分野の情報インフラの構築」について紹介します。

OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/brain/shien/index.html (生研センター)

http://interactjp.org/(情報インフラ研究プラットフォーム)

【出展内容】

異分野融合共同研究「情報工学との連携による農林水産分野の情報インフラの構築」において は、拠点研究機関である名古屋大学と8つの補完研究機関が相互に連携して研究を行うことで、近年発展目覚ましい ICT を活用し、中規模農家の方々のメリットにつながる各種の栽培管理支援 システム・コンテンツ等の開発を行い、日本農業全体の底上げに貢献します。本出展では、研究 の概要やこれまでに得られた研究成果等について、パネルや実物等により紹介します。また、19 日にセミナー『スマート農業の実現に向けて』にて講演を行いますので、こちらもあわせてご覧く

【マッチング希望】



【マッチング希望】



異分野融合共同研究「農林水産物由来の物質を用いた 高機能性素材等の開発」について紹介します。

主06

異分野融合共同研究(高機能性素材の開発)

●お問合先: TEL. 048-669-9190 FAX. 048-666-9267 〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2

OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/brain/shien/index.html (生研センター)

【出展内容】

異分野融合共同研究「工学との連携による農林水産物由来の物質を用いた高機能性素材等の開 発」においては、信州大学と8つの補完研究機関が相互に連携して研究を行うことで、農林水産物 由来の残渣等を利用して各種ナノ素材を調製し、それを先進的なナノカーボンと融合する "ナノ・ナノ"コンビネーション (nano・nano combination)による新規機能材料の創成が期待できま す。特に、ナノ構造を制御して高度な機能発現を実現し、複合材料やエネルギーデバイスなど広 第7年 からいます。本出展では、研究の概要やこれまでに得られた研究成果等について、映像やパネル等により紹介します。ま た、18日にメインステージにて講演を行いますので、こちらもあわせてご覧ください。

異分野融合共同研究「理学・工学との連携による 革新的ウイルス対策技術の開発」について紹介します。

主 07

異分野融合共同研究(ウイルス対策)



●お問合先: TEL, 048-669-9190 FAX, 048-666-9267 〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2 OURL: http://www.okayama-u.ac.jp/user/ibunyapj/index.html

遺伝子組換えカイコを使って作られた光るシルクや

バイオテクノロジーが切り拓く未来

●お問合先:農林水産省 農林水産技術会議事務局 技術政策課 技術安全室

〒100-8950 東京都千代田区霞が関 1-2-1

が切り拓く未来」として講演を行いますので、是非ご参加ください。

TEL. 03-3502-7408 FAX. 03-3507-8794

本ブースでは、遺伝子組換えカイコを利用して作られた世界初の蛍光シルクやクモ糸シルク、こ

れを使って作られた医療品・化粧品、ゲノム編集技術等による農作物育種の応用研究等について、 製品やパネルを使って展示します。20日(金)12:30~14:00には、「バイオテクノロジー

ゲノム編集技術による作物育種等を紹介します。

(「ウイルス」研究プラットフォーム)

【出展内容】

異分野融合共同研究「理学・工学との連携による革新的ウイルス対策技術の開発」においては、 国際化の進展等に伴う植物や動物に係るウイルスの被害を防止するための革新的ウイルス対策 技術の開発及びその実用化を目的とし、拠点研究機関である岡山大学と5つの補完研究機関が相互に連携して、①抗ウイルス農薬、②動物用医薬品、③抵抗性植物品種等の開発や④生産現場 において迅速かつ正確にウイルスを検知する技術の開発等について、研究を進めています。本出 展では、研究の概要やこれまでに得られた研究成果等についてパネル等により紹介します。また、 19日にメインステージにて講演を行いますので、こちらもあわせてご覧ください。



【マッチング希望】



「知」の集積と活用の場の構築へ~オープン・協創・貢献による 農林水産・食品産業の発展に向けて

主 08

「知」の集積と活用の場

《農林水産技術会議事務局筑波産学連携支援センター》

●お問合先: TEL. 029-838-7126 FAX. 029-838-7131 〒305-8601 茨城県つくば市観音台2-1-9 ●所在地:

《(一財)日本総合研究所》

●お問合先: TEL. 03-5275-1615 FAX. 03-5275-1569 ●所在地: 〒102-0082 東京都千代田区一番町10-2 一番町Mビル

URI: http://www.s.affrc.go.jp/docs/knowledge/knowledge/index.htm

【出展内容】

「「知」の集積と活用の場」は、日本がこれまで培ってきた幅広い分野の知識・技術・人材を導入・

ました。フェアでは、支援センターの業務紹介とともに、研究成果データベースの紹介を行います。

●所在地:

【出展内容】



-般の方々に遺伝子組換えカイコ等を利用した製品の開発状況 や、ゲノム編集技術を使った農作物育種などの最先端バイオテクノ

ロジーを御紹介します。

融合させ、国際競争力を高めるイノベーションを促進することで、新しい成長産業モデル創出につ なげる取組です。この取組を実現するため、各分野で活躍する民間企業、大学等の多様なステクホルダーから構成されるネットワークに是非ご参画ください。 筑波産学連携支援センターは、10月に改組され、「知」の集積と活用の場の一翼を担う組織となり

【マッチング希望】



農林水産分野のみならず、異分野・異業種との定期的な相互交流、 情報交換を推進していきます。

主 10

異分野融合共同研究(日本食の評価)

●お問合先: TEL. 048-669-9190 FAX. 048-666-9267 〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2 ●所在地:

http://www.naro.affrc.go.jp/brain/shien/index.html (生研センター) OURL:

http://nihonshoku.jp/(「日本食」研究プラットフォーム)

【出展内容】

異分野融合共同研究「医学・栄養学との連携による日本食の評価」においては、拠点研究機関で にしつつ、②日本食の栄養成分が健康や疾患、運動機能にどのような影響を及ぼすのか、さらに

研究課題について紹介します。

事業化促進研究

●お問合先: TEL. 048-669-9180 FAX. 048-666-9266

民間活力を活かした事業化促進研究にかかる

〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2 (生研センター) ●所在地:

OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/brain/

【出展内容】

農林水産業における生産現場や民間の技術開発ニーズ及び消費者ニーズに基づき、優れた技術の事業化に向けた研究開発を行おうとする民間企業等に研究実施を委託して、その成果の製品 化・新事業の創出を促進しています。本ブースでは、これまでに採択された研究課題について、 パネル等で紹介します。

ある京都大学と7つの補完研究機関が相互に連携して、①日本食とはどのようなものかを明らか は③調理による効果やおいしさの正体とは何か、などについて研究を行っています。本出展では 研究の概要やこれまでに得られた研究成果等について映像やパネルにより紹介します。また、18 日にメインステージにて講演を行いますので、こちらもあわせてご覧ください。

【マッチング希望】



【マッチング希望】



ICT・RTを活用した新たな技術体系など 農林水産業の技術体系開発の取組と成果を紹介します。

主 12

革新的技術緊急展開事業

●お問合先: TEL. 048-669-9190 FAX. 048-666-9267

〒331-8537 埼玉県さいたま市北区日進町 1-40-2 (生研センター)

OURL: http://www.naro.affrc.go.jp/brain/

【出展内容】

試飲・試食 あり

民間・大学・都道府県公設試験場・独法・研究開発法人等の有する先端的な技術について、産 学官が研究コンソーシアムを組んで、実際の農林水産業の経営の現場において実証研究を実施 しています。水田輪作、畑輪作、畜産、園芸作、林業、水産業と、農林水産業の全般にわたり、かつ 地域的にも北海道から沖縄までをカバーした64研究課題に取り組んでいます。展示ブースでは その一部をピックアップしてパネルやビデオ、実物の展示を行うとともに、期間中毎日セミナーを 開催して研究の取組と成果を紹介します。

林業の成長産業化に向けた林業分野における 技術革新の取組について紹介します。

辛 13

林業分野における技術革新

●お問合先: 林野庁 研究指導課 技術開発推進室

TEL. 03-3501-5025 FAX. 03-3502-2104 ●所在地: 〒100-8952 東京都千代田区霞が関 1-2-1

OURL: http://www.rinya.maff.go.jp/j/ken sidou/ikusyu/index.html

【出展内容】

林野庁では、林業の成長産業化に向け、木材生産の省力化・効率化や木質バイオマスのマテリ アル利用などを加速化するための技術開発に取り組んでいます。本ブースでは、ロボット技術 等を活用した高性能林業機械の開発や国産スギ由来のセルロースナノファイバーの製造実証 (11/18セミナー)、国産早生樹による製品開発などの事例を紹介します。

【マッチング希望】



新技術を核として開発された技術体系や要素技術を導入してみよう とする産地や生産法人の皆さんへの情報交換や技術移転を希望し ています。

【マッチング希望】



『大学は美味しい』とは、全国の大学の「食」に関する 研究成果を一般消費者に製品で紹介します。

主14

大学はおいしい

●お問合先: TEL. 0258-66-8184 FAX. 0258-66-0447 〒954-0181 新潟県長岡市脇川新田町字前島 970-294 ●所在地:

http://www.npo-project88.net/

試飲・試食

NPO法人プロジェクト88が全国の大学の協力を得て、研究開発した食材そのものが持つ栄養価 に特化した製品、健康を意識した機能性食品などを展示・試食を行い、その「製品」について大学 発の研究開発を発進していきます。

低コスト生産技術・機械、ICT活用、農業経営における 新ビジネスモデル実証等の取組を紹介。

主 15

農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業



●お問合先:農林水産省経営局 経営政策課 経営広報G

TEL. 03-6744-0577 FAX. 03-3502-6007

●所在地: 〒100-8950 東京都千代田区霞が関1-2-1

http://www.maff.go.jp/j/keiei/keiei/sentan_model/sentan_model.html

「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」では、意欲ある農業法人等と先端 技術を有する経済界の企業等が連携して行う、低コスト生産技術体系の確立、ICTを活用した効 率的生産体制の確立、低コストの農業機械の開発、農業経営における新しいビジネスモデルの実 証など、先端モデル農業の確立に向けた取組 (連携プロジェクト)を支援しています。連携プロジェクトの内容は、経済界の技術・ノウハウを農業界に導入しようとするものであって、これまで農業 界では実用化されていないものを対象としています。3年程度で実用化を目指すものとし、その 成果を広く普及することを要件としています。当展示では、「農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業」において実証中の先端技術・ノウハウ・ビジネスモデル、及び事業内容 を紹介します。

【マッチング希望】



全国の大学の研究成果を食品企業等との共同研究や製品化・技 術移転を進めております。新規の連携企業を広く募集しております。



出展者一覧〈50音順〉



ページ

	小間No.	出展者名	ページ	:	小間No.	出展者名	ページ
- 1		あ行		:	20B	(特非)元氣農業開発機構④ オービットエナジーグループ	P.54
	生28	アイシン共聴開発(株)・(国)東京海洋大学	P.31	:	食32	健康生活素材(株)	P.44
	食17	(公)秋田県立大学	P.42	:	#04	公共牧場・繁殖農家支援研究チーム	D 07
	地16	アグリビジネスフォーラム	P.51	:	生04	(代表機関:農研機構畜産草地研究所)	P.27
		アグリビジネスフォーラム【玉川大学】	P.50	:	地01	(国)高知大学 農学部	P.48
		アグリビジネスフォーラム【東海大学】	P.50	:	環17	(国)神戸大学大学院海事科学研究科	P.47
		アグリビジネスフォーラム【東京農業大学】	P.50	:	地17	(独)高齢·障害·求職者雇用支援機構	P.51
				:		(研)国際農林水産業研究センター	P.44
		アグリビジネスフォーラム【日本大学】	P.50	:		(独)国立高等専門学校機構①	P.27
	地14	アグリビジネスフォーラム【明治大学】	P.50	:			
	地03	旭川食品産業支援センター	P.48	:		(独)国立高等専門学校機構②	P.27
	生49	(学)麻布大学 研究推進·支援本部	P.34	:	生08	(独)国立高等専門学校機構③	P.28
	生03	(株)アドダイス・はつはな果蜂園	P.26	:			
	生15	(一社)ALFAE	P.29	:		さ行	
	環10	(株)イーコンセプト	P.46	:	食28	埼玉大麦食品普及・食のモデル地域実行協議会	P.44
	環09	(公)石川県立大学生物資源環境学部環境科学科	P.46	:	食11	佐賀大学/佐世保工業高等専門学校/	P.41
	生35	イチゴ種子繁殖型品種研究コンソーシアム	P.32	:	DQ III	琉球大学/大阪府立環境農林水産総合研究所	1.41
	食08		P.40	:	生37	山陰EOD連携研究会	P.32
		(国)茨城大学農学部	P.30	:	人06	(特非) 産学連携学会	P.52
		異分野融合共同研究(ICT)	P.55	:	主11	事業化促進研究	P.56
		異分野融合共同研究(ウイルス対策)	P.55	:	食26	(公財)静岡県産業振興財団 フーズ・サイエンスセンター	P.43
				:	生10	次世代閉鎖型畜舎開発研究組合	P.28
		異分野融合共同研究(高機能性素材の開発)	P.55	:	地05	志摩市	P.49
		異分野融合共同研究(日本食の評価)	P.56	:		島根県産業技術センター/(学)早稲田大学	
	地06	射水市6次産業化ネットワーク推進協議会	P.49	:	生27	産学官研究推進センター/大福工業(株)	P.31
	食25	(国)岩手大学	P.43	:	431	(国)島根大学 低カリウムメロンプロジェクトチーム	P31
	環13	(株)ウッドプラスチックテクノロジー	P.47	:		(国)島根大学 農林水産業の六次産業化	
	生24	(国)宇都宮大学	P.30	:	食29	プロジェクトセンター	P.44
	地10	(国)宇都宮大学農学部附属演習林	P.50	:	452	(公)首都大学東京	P.35
	人01	ATP·迅速検査研究会	P.51	:		(独)種苗管理センター	P.37
	生13	(合)NAL	P.28	:		(株)食の科学舎	P.44
		(国)愛媛大学	P.41	:			
	2.0	(学)大阪電気通信大学工学部 環境科学科		:		(有)植物育種研究所	P.43
	食06	「ラズベリー・プロジェクト」	P.40	:		食料生産地域再生のための先端技術展開事業	
	444	(地独)大阪府立環境農林水産総合研究所	P.34	:	環16	(国)信州大学 工学部 物質工学科 酒井研究室	P.47
		(公)大阪府立大学植物工場研究センター 葉菜プロジェクト		:	食07	(国)信州大学大学院農学研究科	P.40
		(公)大阪府立大学大学院 工学研究科	P.39	:	環06	(研)森林総合研究所	P.45
				:	生07	(研)水産総合研究センター	P.27
		(公)大阪府立大学大学院 工学研究科	P.46	:	食15	(独)水産大学校	P.41
		(公)大阪府立大学大学院 生命環境科学研究科		:	人02	(独)製品評価技術基盤機構バイオテクノロジーセンター	P.51
	食30	大森ヘルスケア(株)	P.44	:	主01	世界に貢献する我が国の国際農業研究~CGIARを通じて~	P.54
	生23	(国)岡山大学農学部	P.30	:		攻めのイチゴ生産&活力創造ワサビ輪作実証	
	生66	(学)岡山理科大学 猪口研究室 エコアグリ会	P.37	:	生34	コンソーシアム(代表:山口県農林総合技術センター)	P.32
	食12	沖縄工業高等専門学校	P.41	:	生26	攻めの東海施設園芸コンソーシアム	P.31
	生17	(国)帯広畜産大学	P.29	:	人05	全国イノベーション推進機関ネットワーク	P.52
	生09	オリオン機械(株)	P.28	:			
				:		た行	
- 1		か行		:	±14	大学はおいしい	P.56
ı	人04	(研)科学技術振興機構	P.52	:		地域産学連携コンソーシアム	P.52
	食02	(研)科学技術振興機構 JST復興促進センター	P.39	:		「知」の集積と活用の場 事務局	P.55
	生11	革新的技術(カンキツ)コンソーシアム	P.28	:			
		革新的技術緊急展開事業	P.56	:		千葉県農林総合研究センター	P.31
		革新的土壌管理技術と診断キット研究開発コンソーシアム		:		(国)千葉大学	P.33
		鹿児島県大隅加工技術研究センター	P.42	:		(特非)DNA鑑定学会	P.53
				:	地08	(国)東京海洋大学	P.49
		(国)鹿児島大学 農学部	P.31	:	生12	(国)東京大学 国際情報農学研究室/水利環境工学研究室	P.28
		(公財)かずさDNA研究所 生体物質解析センター		:	生65	(公財)東京都農林水産振興財団	P.37
	生58	(公財)かずさDNA研究所 DNA解析センター	P.36	:	±00	東京都農林総合研究センター	1.07
	生67	(独)家畜改良センター	P.37	:	生55	(国)東京農工大学	P.35
	生39	神奈川県	P.33	:	生01	(学)東京理科大学	P.26
	環14	(国)北見工業大学	P.47	:	食16	(学)東洋大学	P.42
	生43	(国)岐阜大学	P.33	:	食19	(学)東洋大学	P.42
	生02	(国)九州大学農学研究院	P.26	:		(公財)とくしま産業振興機構	P.43
	生53	(学)京都産業大学	P.35	:		栃木県	P.34
		(国)京都大学 農業システム工学研究室	P.32	:		とちぎフードイノベーション推進協議会	P.30
		(国)熊本大学	P.37	:		(株) 巴商会	P.33
		(国)熊本大学	P.49	:			P.35
				:	±34	(国)富山大学	r.35
		KFT農法研究会	P.32	:		4-19	
		(株)ケーナインラボ	P.35	:		な行	
		(特非)元氣農業開発機構① 八ヶ岳フォーラム		:		(公)長崎県立大学	P.43
		(特非)元氣農業開発機構② 森花ジャパン	P.45	:	生21	軟弱野菜自動収穫ロボット実用化研究開発コンソーシアム	P.30
	18B	(特非)元氣農業開発機構③ (株)次世代農業	P.53		食18	(国)新潟大学 地域連携フードサイエンスセンター	P.42

小間No.	出展者名	ページ
環15	(学)新潟薬科大学 産官学連携推進センター	P.47
人03	日本弁理士会	P.51
環08	(一社) 日本有機資源協会	P.46
環07	熱プロコンソーシアム	P.46
環18	(株)農学研センター	P.47
主15	農業界と経済界の連携による先端モデル農業確立実証事業	
環05	(研)農業環境技術研究所	P.45
生63	(研)農業生物資源研究所	P.37
生56	(研)農研機構 果樹研究所	P.36
生70	(研)農研機構 近畿中国四国農業研究センター	P.38 P.36
生59 食22	(研)農研機構 作物研究所 (研)農研機構 食品総合研究所	P.43
生05	,	P.43
人09	(研)農研機構生物系特定産業技術研究支援センター	
環04	(研)農研機構 畜産草地研究所	P.45
生61	(研)農研機構 中央農業総合研究センター	P.36
19A	(研)農研機構 中央農業総合研究センター	P.53
生71	(研)農研機構 動物衛生研究所	P.38
生69	(研)農研機構 東北農業研究センター	P.38
生68	(研)農研機構 北海道農業研究センター	P.38
生73	(研)農研機構 本部	P.38
生72	(研)農研機構 本部 (震災復興研究)	P.38
生60	(研)農研機構 野菜茶業研究所	P.36
80人	(公社)農林水産·食品産業技術振興協会	P.52
主04	農林水産業におけるロボット技術開発実証事業	P.55
	は行	
主09	バイオテクノロジーが切り拓く未来	P.55
食13	(学)八戸工業大学	P.41
生45	(国)浜松医科大学/宮城県農業·園芸総合研究所/ 沖縄県病害虫防除技術センター	P.34
生19	PUIP 大学知財群活用プラットフォーム	P.29
地04	(国)弘前大学 研究・イノベーション推進機構	P.49
生48	広島県立総合技術研究所農業技術センター	P.34
生38	(国)広島大学	P.33
20A	(国)広島大学大学院生物圏科学研究科	P.53
生47	(学)法政大学	P.34
		1.04
t#09	星薬科大学 先端生命科学研究所	
地09	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室	P.49
地09 食04		
	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構	P.49
食04	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行	P.49 P.40
食04 生18	生命科学先導研究センター ベブチド創業研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科	P.49 P.40 P.29
食04 生18	生命科学先導研究センター ベブチド創業研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所	P.49 P.40
食04 生18	生命科学先導研究センター ベブチド創業研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株)	P.49 P.40 P.29
食04 生18 生06 食14	生命科学先導研究センター ベブチド創業研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展)	P.49 P.40 P.29 P.27
食04 生18 生06 食14 食09	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40
食04 生18 生06 食14 食09	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40 P.40
食04 生18 生06 食14 食09	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40
食04 生18 生06 食14 食09 食05 主02	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40 P.40
食04 生18 生06 食14 食09 食05 主02	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び 若手農林水産研究者表彰	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40 P.40 P.54
食04 生18 生06 食14 食09 食05 主02	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国) 北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国) 三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公) 宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国) 宮崎大学/(学) 崇城大学 (国) 宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び 若手農林水産研究者表彰 (学) 名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40 P.40 P.54
食04 生18 生06 食14 食09 食05 主02 環19	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び 若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ般循環プロジェクトチーム(富山県立大学)	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54
食04 生18 生06 食14 食09 食05 主02 環19	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) [早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター]	P.49 P.40 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54
集18 生06 食14 食09 食05 主02 環19	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室(国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ整循環プロジェクトチーム(富山県立大学) [早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター]	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.40 P.54 P.30
集18 生18 生06 食14 食09 食05 主02 環19	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室(国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.30
集18 生06 食14 食09 食05 主02 環19 生22	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.53 P.53
食04 生18 生06 食14 食09 食05 主02 環19	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室(国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.53 P.53 P.36 P.39
集18 生06 食14 食09 食05 主02 環19 生22	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.53 P.53
集18 生18 全06 食14 食09 食05 主02 環19 生22	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) [早稲田大学、いみす野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター] や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学 (株)雪国まいたけ/中部大学	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.53 P.53 P.36 P.39
集18 生18 全06 食14 食09 食05 主02 環19 生22	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学 (株)雪国まいたけ/中部大学 ユビギタス環境制御システム研究会	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.48 P.30 P.53 P.36 P.39 P.29
集18 生18 全06 食14 食09 食05 主02 環19 生22	生命科学先導研究センター ベブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学 (株)雪国まいたけ/中部大学 ユビギタス環境制御システム研究会	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.48 P.30 P.53 P.36 P.39 P.29
集18 集206 食14 食09 食05 主02 環19 生22	生命科学先導研究センター ペブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) [早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター] や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学 (株)雪国まいたけ/中部大学 ユビキタス環境制御システム研究会 (公)横浜市立大学	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.48 P.30 P.53 P.36 P.39 P.29
生18 生18 生06 食14 食09 食05 主02 環19 生22 18A 生57 食01 生16	生命科学先導研究センター ペブチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ穀循環プロジェクトチーム(富山県立大学) [早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター] や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学 (株)雪国まいたけ/中部大学 ユビキタス環境制御システム研究会 (公)横浜市立大学 5行	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.30 P.33 P.36 P.39 P.29 P.33
生18 生06 食14 食09 食05 主02 環19 生22	生命科学先導研究センター ペブチド創薬研究室 (国) 北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国) 三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公) 宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国) 宮崎大学/(学) 崇城大学 (国) 宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学) 名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社) 地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター (国) 山梨大学 (株) 雪国まいたけ/中部大学 ユビキタス環境制御システム研究会 (公) 横浜市立大学 5行 (研) 理化学研究所	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.30 P.33 P.36 P.39 P.33
生18 生06 食09 食05 主02 環19 生22 18A 生57 食01 生16 生40 生40	生命科学先導研究センター ペプチド創薬研究室 (国)北海道大学 産学・地域協働推進機構 ま行 (国)三重大学大学院生物資源学研究科 宮城県農業・園芸総合研究所 (公)宮城大学・積水化成品工業(株) (大学、民間企業 共同出展) 宮崎県農協果汁(株)/(国)宮崎大学/(学)崇城大学 (国)宮崎大学 (国)宮崎大学 民間部門農林水産研究開発功績者表彰及び若手農林水産研究者表彰 (学)名城大学農学部 もみ殻循環プロジェクトチーム(富山県立大学) 【早稲田大学、いみず野農業協同組合、射水市、北陸ボートサービス(株)、(社)地域環境資源センター】 や行 山形県農業総合研究センター (国)山梨大学 (株)雪国まいたけ/中部大学 ユビキタス環境制御システム研究会 (公)横浜市立大学 5行 (研)理化学研究所 (学)立命館大学	P.49 P.29 P.27 P.41 P.40 P.54 P.30 P.53 P.36 P.39 P.33 P.35 P.29 P.35



http://agribiz-fair.jp/

Agribusiness Creation fair 2015 アグリビジネス創出フェア

OFFICIAL GUIDEBOOK

発 行 日 2015年11月18日

発 行 元 アグリビジネス創出フェア2015事務局(株式会社フジヤ内) 〒135-0061 東京都江東区豊洲5-6-36 SIA豊洲プライムスクエア3F TEL: 03-3533-5223 FAX: 03-5548-2838

E-mail: agribiz-ex@fujiya-net.co.jp

編集・制作 アグリビジネス創出フェア2015事務局

ホクエツ印刷株式会社

